

# トヨタの概況 2003

データで見る世界の中のトヨタ



**TOYOTA**

## はじめに

本年も広報資料「トヨタの概況」をお届けいたします。

昨年当社は、国内外での積極的な商品投入、中国・天津での乗用車生産開始をはじめとする現地生産の拡大などにより、グループ全体で初めて600万台を上回る世界販売を達成することができました。

環境への対応につきましては、昨年12月、自社開発の燃料電池を搭載した燃料電池ハイブリッド車「トヨタFCHV」の限定販売を開始いたしました。ハイブリッド車につきましては、昨年末、当社のハイブリッド車の累計販売台数は国内外合せ13万台を突破しました。また、モータースポーツでは昨年初めてF1に参戦いたしました。

当資料では、調和ある成長を目指す当社の基本理念・2010年グローバルビジョン、研究・開発、世界各地域での事業展開、環境や安全への対応、また社会貢献活動など当社の企業活動を幅広く紹介いたしました。当社の企業活動をご理解いただく一助としていただければ幸いです。

2003年4月

トヨタ自動車株式会社 広報部

当資料はTOYOTA INTERNET DRIVEにもPDF形式で掲載しています。頁イメージのままダウンロードしてご覧いただけます。

<http://www.toyota.co.jp/gaikyo/>

# トヨタの概況 2003・総目次

会社概要 ●	
アウトライン ●	2
基本理念 ●	3
主な新製品 ●	6
技術開発の歴史 ●	7
研究・開発 ●	8
生産・販売・輸出 ●	
海外生産拠点等一覧 ●	10
地域別生産・販売台数 ●	12
北米での活動 ●	13
中南米での活動 ●	14
ヨーロッパでの活動 ●	15
アフリカでの活動 ●	16
アジアでの活動 ●	17
オセアニアでの活動 ●	18
中近東での活動 ●	19
海外子会社等からの完成車・部品輸出 ●	20
国内の生産・販売体制 ●	21
車名別国内生産台数 ●	23
地域別・車名別輸出台数 ●	24
車名別国内登録台数 ●	25
国内販売車両一覧 ●	26
環境対策 ●	30
安全対策 ●	33
ITS ●	36
ウェルキャブ ●	38
GAZOO ●	39
モータースポーツ ●	40
自動車部品 ●	41
トヨタレンタリース ●	42
U-Car (中古車) ●	43
住宅事業 ●	44
金融事業 ●	45
主な出資会社 ●	
国内出資会社 ●	46
海外出資会社 ●	49
社会貢献活動 ●	52
沿 革 ●	56
データ編 ●	59

■会社概要

会社名	トヨタ自動車株式会社 (TOYOTA MOTOR CORPORATION)
創立	1937年(昭和12年)8月28日

注) 2002年3月末現在、従業員数は就業人員数を記載。

従業員数	66,820人 (連結会社合計 246,702人)
資本金	3,970億円

■連結ベース

■経営状況

(1億円未満切捨)

	平成13年3月期 (平成12年4月~平成13年3月)	平成14年3月期 (平成13年4月~平成14年3月)	平成14年9月中間期 (平成14年4月~平成14年9月)
売上高	134,244億円	151,062億円	78,866億円
経常利益	9,722億円	11,135億円	7,940億円
当期純利益	4,712億円	6,158億円	5,537億円
株主資本当期純利益率	6.8%	8.5%	—
設備投資 <sup>※1</sup>	8,608億円	9,403億円	4,798億円
研究開発	4,799億円	5,925億円	2,940億円
連結子会社数	445社	564社	579社
持分法適用会社数	51社	50社	50社

注) ※1 リース車両除く。

■単独ベース

■経営状況

(1億円未満切捨)

	第97期 (平成12年4月~平成13年3月)	第98期 (平成13年4月~平成14年3月)	第99期前半期 (平成14年4月~平成14年9月)
売上高	79,035億円	82,849億円	42,047億円
経常利益	6,217億円	7,689億円	4,817億円
当期純利益	3,335億円	4,702億円	3,822億円
株主資本当期純利益率	6.0%	8.3%	—

■車両生産・販売・輸出台数(暦年)

		2001年(平成13年)				2002年(平成14年)			
		トヨタ	ダイハツ	日野	合計	トヨタ	ダイハツ	日野	合計
生産台数	国内	3,354,424	638,887	53,326	4,046,637	3,485,162	599,541	54,170	4,138,873
	海外	1,780,603	20,854	—	1,801,457	2,155,221	19,914	—	2,175,135
	合計	5,135,027	659,741	53,326	5,848,094	5,640,383	619,455	54,170	6,314,008
販売台数	国内	1,715,152	541,991	34,360	2,291,503	1,680,479	504,630	33,215	2,218,324
	海外	3,546,701	70,669	18,695	3,636,065	3,838,281	88,173	22,925	3,949,379
	合計	5,261,853	612,660	53,055	5,927,568	5,518,760	592,803	56,140	6,167,703
日本からの輸出		1,665,719	64,627	18,695	1,749,041	1,816,785	76,109	22,925	1,915,819

注) 国内生産: 完成車+KD(国内ラインオフベース)。  
国内販売: 登録+届出(海外生産車含む)。  
輸出: 完成車+KD。  
海外生産: KDを除く海外生産(現地ラインオフベース)。

■世界の主要自動車メーカーの自動車販売台数(2002年) (単位:千台)

会社名	販売台数
GM	8,537
フォード	6,980
トヨタ	6,168
VW	4,984
ダイムラー・クライスラー	4,540
PSA ブジョー・シトロエン	3,267
ホンダ	2,834
日産	2,736
ルノー	2,404
フィアット	1,910

注) 1.GMはボグゾール、オペル、サーブ、いすゞを含む。  
2.フォードはジャガー、ボルボ、ランドローバー、アストンマーチンを含む。  
3.トヨタはダイハツ、日野を含む。  
4.VWはアウディ、セアト、スコダ、ベントレー、ランボルギーニを含む。  
5.ダイムラー・クライスラーは三菱を含む。  
6.ルノーはダチア、ルノー・サムスン・モーターズを含む。  
7.フィアットはアルファロメオ、ランチアを含む。

資料: 各社資料

■生産実績

車種(新車)	国	平成13年3月期 (平成12年4月~平成13年3月)	平成14年3月期 (平成13年4月~平成14年3月)	平成14年9月中間期 (平成14年4月~平成14年9月)
		国内	4,097,704台	4,029,259台
	海外	1,177,509台	1,374,957台	894,220台
	合計	5,275,213台	5,404,216台	2,867,765台
	住宅	3,600戸	3,095戸	1,505戸

■販売実績

車種(新車)	国	平成13年3月期 (平成12年4月~平成13年3月)	平成14年3月期 (平成13年4月~平成14年3月)	平成14年9月中間期 (平成14年4月~平成14年9月)
		国内	2,322,838台	2,217,002台
	海外	3,204,025台	3,567,915台	1,994,611台
	合計	5,526,863台	5,784,917台	3,018,762台
	住宅	3,666戸	3,685戸	1,462戸

■生産実績

車種(新車)	国	第97期 (平成12年4月~平成13年3月)	第98期 (平成13年4月~平成14年3月)	第99期前半期 (平成14年4月~平成14年9月)
		国内	3,422千台	3,364千台
	海外	1,751千台	1,833千台	1,090千台

■販売実績

車種(新車)	国	第97期 (平成12年4月~平成13年3月)	第98期 (平成13年4月~平成14年3月)	第99期前半期 (平成14年4月~平成14年9月)
		国内	1,816千台	1,720千台
	輸出	1,704千台	1,708千台	891千台
	住宅	3,596戸	3,095戸	1,470戸

(単位:台)

■世界の主要自動車メーカーの売上高(2002年) (単位:百万円)

会社名	売上高
GM	22,835,512
フォード	19,879,390
ダイムラー・クライスラー	18,738,262
トヨタ	15,106,297
VW	10,931,103
ホンダ	7,362,438
PSA ブジョー・シトロエン	6,807,923
日産	6,196,241
ルノー	4,568,162
フィアット	2,784,321

注) 連結ベース。日本メーカーは2002年3月期。それ以外は2002年12月末決算。  
為替レートは決算期の期中平均(1ドル=122.3円、1ユーロ=125.7円)。  
資料: 日本メーカーは決算報告書。その他は各社資料。為替レートは欧州中央銀行、日本銀行。

トヨタは、21世紀が社会にとって真に豊かなものであることを願い、人や社会、地球環境、世界経済との調和を図りつつ、モノづくり、車づくりを通して、お客様、株主、社員、取引先の方々等、関わりある多くの人々とともに成長していくことを目指しています。

■基本理念、ビジョン、会社方針の位置づけ



■トヨタ基本理念

- |   |  |
|---|--|
| 1. 内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民をめざす。     | 5. 労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる。 |
| 2. 各国、各地域の文化、慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する。            | 6. グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長をめざす。                 |
| 3. クリーンで安全な商品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて、住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む。      | 7. 開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する。    |
| 4. 様々な分野での最先端技術の研究と開発に努め、世界中のお客様のご要望にお応えする魅力あふれる商品・サービスを提供する。 |  |

■長期方針

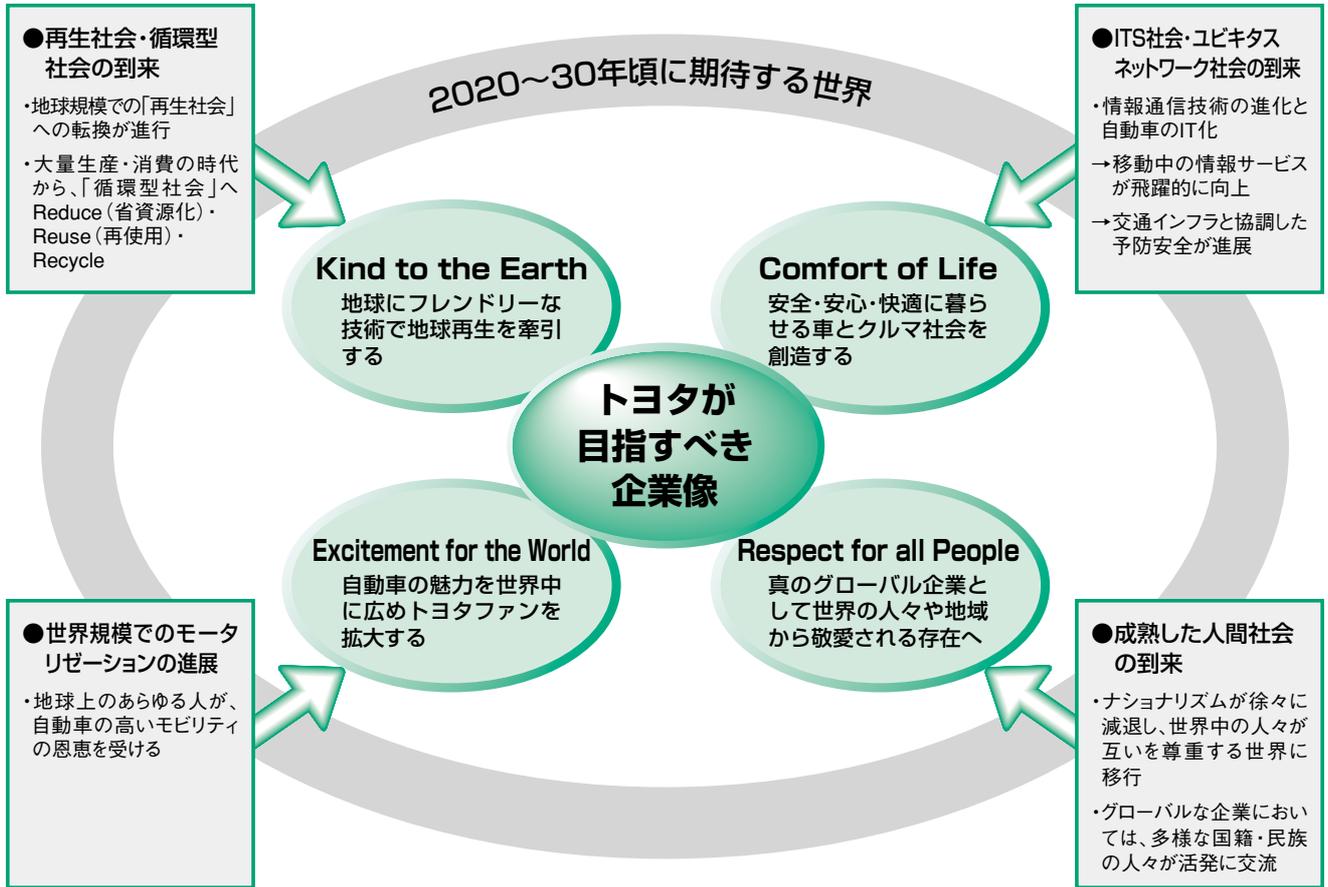
1. 地球環境保全を使命とし、安全・快適・利便性を提供することで、自動車事業の成長を図る
2. 将来の成長に向けた自動車に次ぐコア事業の開発・育成と既存事業の見直し
3. 経営環境の構造的変化に対応した、新たなグループ体制づくりと人を育てる文化の継承
4. 需要変動・為替変動に対応しうる安定的収益構造の構築
5. 国際社会における企業市民としての社会活動の充実

■2003年度会社方針

1. 世界トップレベルを目指したグループ総合力の強化
2. 台数増と収益改善の両立を目指したグローバル事業戦略の取り組み強化
3. 競争力向上の基礎となるマネジメントの再強化
4. グループの総力を結集した100期収益確保

2010年グローバルビジョンの概要

●トヨタが目指すべき企業像



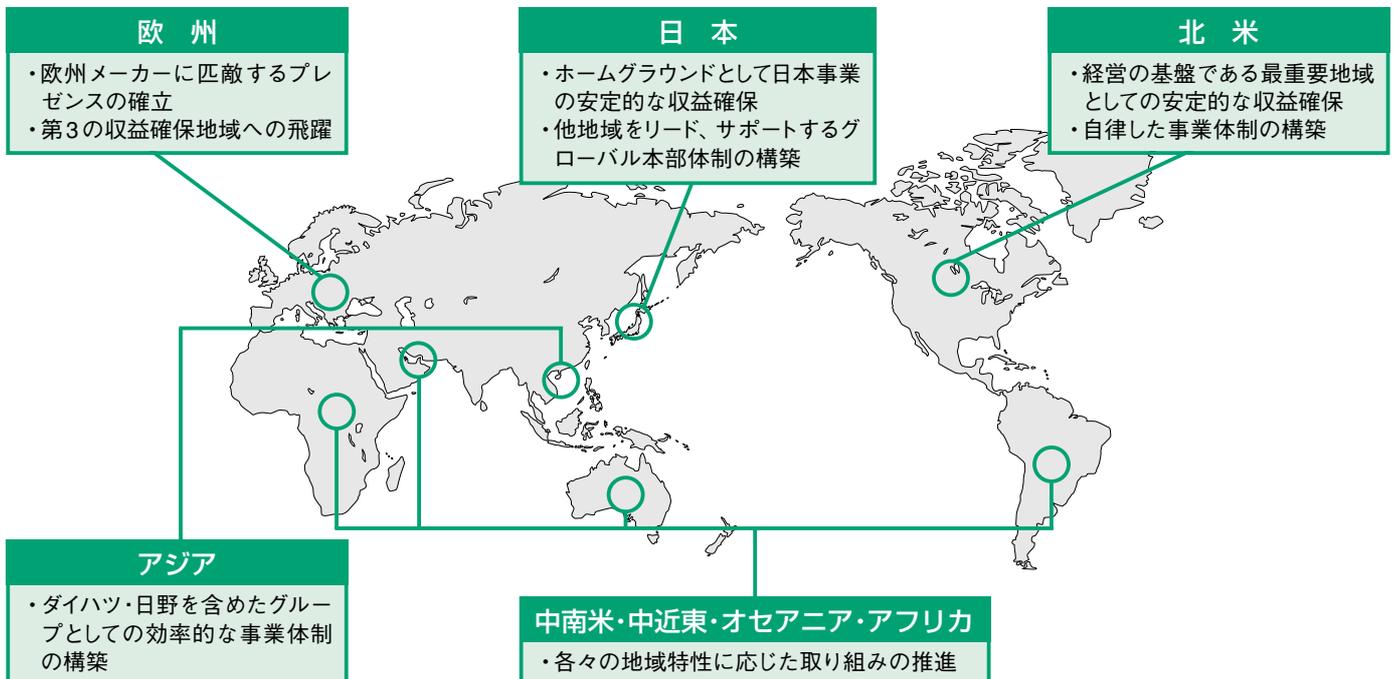
●2010年グローバルビジョン

**Innovation into the Future**

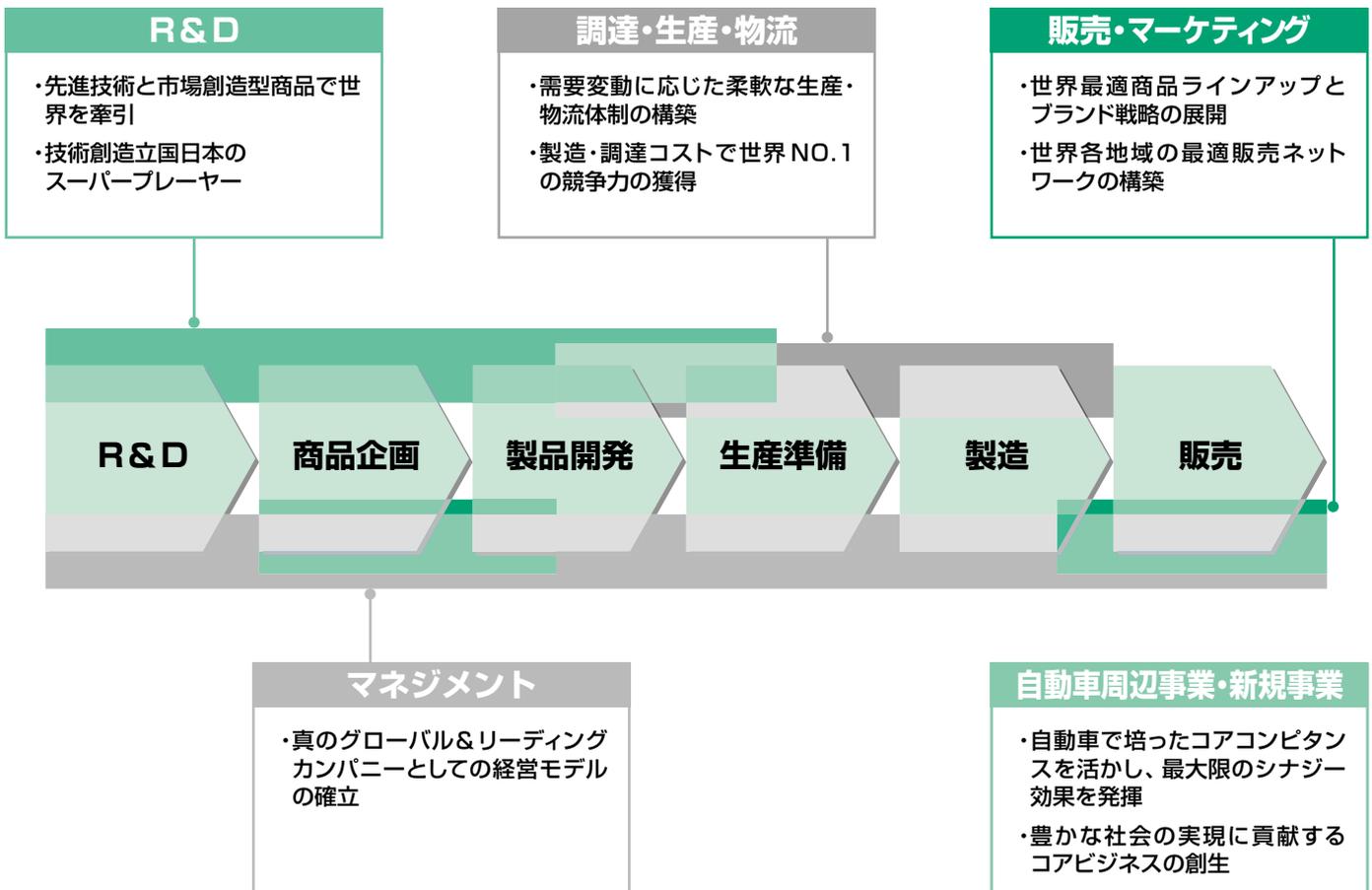
～ 豊かな社会創りに情熱をかけて ～

創業以来の精神である「モノづくり、車づくりを通して社会に貢献する」ということの意味を今一度かみしめ、強い情熱と高い志を持って、『豊かな新世紀社会を実現する』ために邁進する。

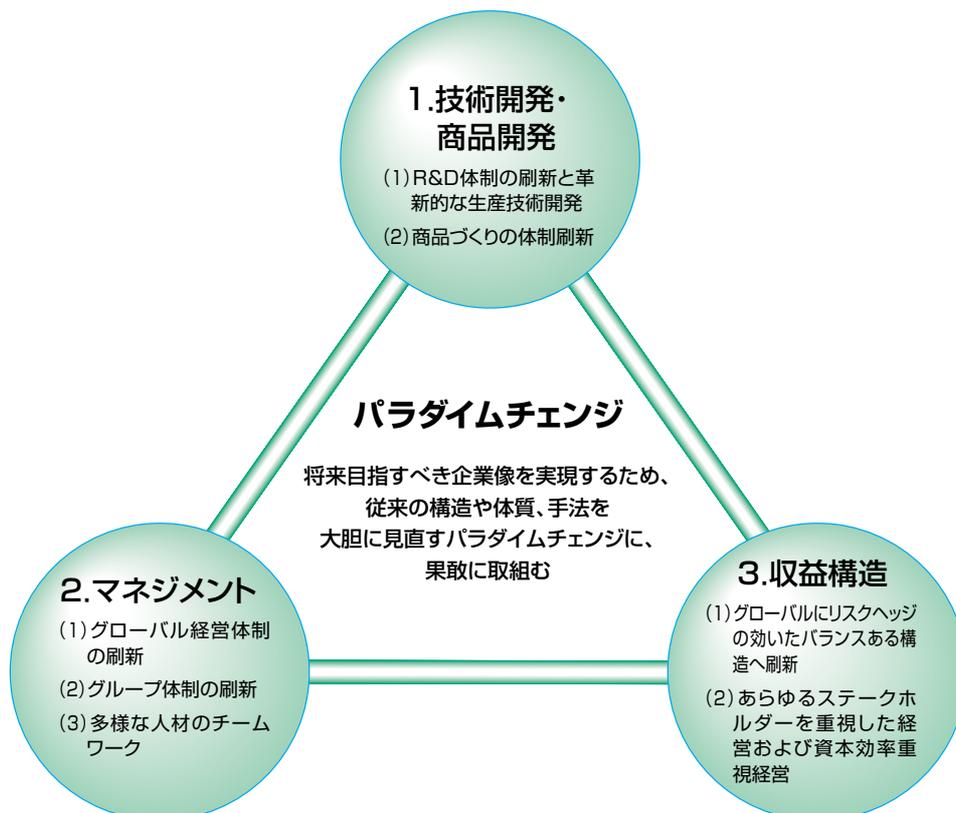
〈地域軸ビジョン〉



〈機能軸ビジョン〉



●目指すべき企業像を実現するためのパラダイムチェンジ



主な新製品

発売時期		製品
2002年	4月	トヨタホーム鉄骨ユニット工法住宅「シンセ・スマートステージ」
	5月	新感覚のスタイリッシュ2BOX「イスト」
		ナビゲーション、オーディオ新モデル(計16機種)
		新型最上級ミニバン「アルファードG」「アルファードV」
7月	新型コマーシャルバン:コンパクトクラスの「プロボックス」、ミディアムクラスの「サクシード」	

発売時期		製品
2002年	8月	GMと共同で企画・デザインした新ジャンルのクルマ「ヴォルツ」
	10月	異業種合同プロジェクト“WILL”の新型車「WILLサイファ」
		新情報ネットワークサービス「G-BOOK」車載端末をWILLサイファに装備 トヨタホームトヨタSW工法住宅「Vie α トラデージ」
12月	燃料電池ハイブリッド車「トヨタFCHV」を限定販売	
2003年	1月	コンパクトなサイズの新型7人乗り乗用車「ウィッシュ」



●2002年4月  
鉄骨ユニット工法住宅「シンセ・スマートステージ」



●2002年5月  
新感覚のスタイリッシュ2BOX「イスト」



●2002年5月  
DVDナビ TV MD CDチューナー(V)



●2002年5月  
最上級ミニバン「アルファードG」



●2002年7月  
コマーシャルバン「プロボックス」(コンパクトクラス)



●2002年7月  
コマーシャルバン「サクシード」(ミディアムクラス)



●2002年8月  
新ジャンルのクルマ「ヴォルツ」



●2002年10月  
異業種合同プロジェクト“WILL”の「WILLサイファ」



●2002年10月  
新情報ネットワークサービス「G-BOOK」車載端末  
(WILLサイファに装備)



●2002年10月  
トヨタSW工法住宅「Vie α トラデージ」



●2002年12月  
燃料電池ハイブリッド車「トヨタFCHV」  
(限定販売)



●2003年1月  
コンパクトなサイズの7人乗り乗用車「ウィッシュ」

# 技術開発の歴史

トヨタは、お客様のニーズにお応えしながら環境にやさしく、安全性、走行性、快適性、信頼性などの要素を高度にバランスさせた自動車の開発に努めています。

■ トヨタの技術開発の歴史 (1985～, 凡例: ▲……環境対策関連技術 ●……安全対策関連技術)

年	1985～89	1990～1999	2000～
エンジン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・油圧駆動ファン</li> <li>・ハイメカDOHCエンジン(シザースギア)</li> <li>・ミッドシップ</li> <li>・セラミックターボ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲スモークレスディーゼルエンジン</li> <li>▲電子制御スロットル</li> <li>▲ディーゼルスモークコントロールシステム(DSCS)</li> <li>▲連続可変バルブタイミング機構(VVT-i)</li> <li>▲4弁直噴ディーゼル</li> <li>▲コモンレール式直噴ディーゼターボエンジン(D-4D)</li> <li>▲高効率直噴ガソリンエンジン(D-4)</li> <li>▲燃料電池電気自動車(FCEV)</li> <li>▲トヨタハイブリッドシステム(THS)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲連続可変バルブタイミング&amp;可変リフト機構(VVTL-i)</li> <li>▲TOYOTA STOP AND GO SYSTEM</li> <li>▲燃料電池ハイブリッド車(FCHV-4, FCHV-5)</li> <li>▲燃料電池ハイブリッド車(トヨタFCHV)</li> <li>▲トヨタハイブリッドシステム(THS-C, THS-M)</li> <li>▲トヨタインテリジェントアイドリングストップシステム</li> </ul>
駆動・制動 足廻り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●4WS</li> <li>●アクティブコントロールサスペンション</li> <li>●トラクションコントロール(TRC)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6速M/T</li> <li>●フレックスロックアップシステム</li> <li>●アクティブ4WS</li> <li>●車両安定性制御システム(VSC)</li> <li>●ブレーキアシスト</li> <li>●Super CVT</li> <li>●車両総合制御システム(i-four)</li> <li>●ARS</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランフラットタイヤ</li> <li>●新工法タイヤ</li> <li>●電子制御ブレーキシステム(ECB)</li> <li>●プリクラッシュブレーキアシスト</li> <li>▲電気式4輪駆動システム(E-Four)</li> </ul>
ボディ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SRSエアバッグ</li> <li>●ガルウイングドア</li> <li>●超音波雨滴除去ドアミラー</li> <li>●サイドドアビーム</li> <li>●サイドウインドワイパー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●UVカットアガラス</li> <li>●はっ水ドアガラス</li> <li>●新衝突安全ボディ(GOA)</li> <li>●SRSカーテンシールドエアバッグ</li> <li>●SRSサイドエアバッグ</li> <li>●フォースリミッター付きシートベルト</li> <li>▲塗装補修バンパーリサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パワーバックドア</li> <li>●助手席デュアルステージSRSエアバッグ</li> <li>●運転席デュアルステージSRSエアバッグ</li> <li>●プリクラッシュシートベルト</li> <li>●電動開閉式メタルトップシステム</li> <li>●前後席SRSカーテンシールドエアバッグ</li> <li>●運転席SRSニーエアバッグ</li> <li>●歩行者傷害軽減ボディ</li> </ul>
電子・電気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルシグナルプロセッサ</li> <li>・CRT付エレクトロマルチビジョン</li> <li>・CDインフォメーション</li> <li>●クリアランスソナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マルチゾーンオートエアコン</li> <li>●GPSナビゲーション</li> <li>●ヘッドアップディスプレイ</li> <li>●CCD式バックモニター</li> <li>●GPSボイスナビゲーション</li> <li>▲燃焼圧センサー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートキーシステム</li> <li>●インテリジェントAFS</li> <li>●音声ガイダンス機能付バックガイドモニター</li> <li>●G-Book</li> <li>●フロント&amp;サイドモニター</li> <li>●マイナスイオン発生装置</li> <li>●AC100Vコンセント</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外装塗料(MIOカラー、グラファイトカラー、アーゼンタムマイカ)</li> <li>▲メタル担体触媒</li> <li>●樹脂製燃料タンク</li> <li>●マグネシウム合金ヘッドカバー</li> <li>●複合機能ファブリック</li> <li>▲新冷媒エアコン</li> <li>●デオドラント機能付きファブリック</li> <li>▲リーンバーン用新三元触媒</li> <li>●コンポジットプロペラシャフト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ディーゼル酸化触媒</li> <li>▲内装用高性能樹脂(TSOP-5)</li> <li>▲パラジウム三元触媒</li> <li>▲ディーゼル触媒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ディーゼル車用新触媒システム(DPNR)</li> <li>▲ケナフ材パッケージトレイトリム、ドアトリム</li> <li>▲植物系生分解樹脂(バイオプラスチック)</li> <li>▲CO<sub>2</sub>冷媒電動ヒートポンプ式エアコン</li> </ul>

## ■ 2002年度に発表した主な新技術(発表時期)

パワーバックドア(2002/5)、プリクラッシュセーフティシステム(2003/1)、インテリジェントAFS(2003/2)、フロント&サイドモニター(2003/2)

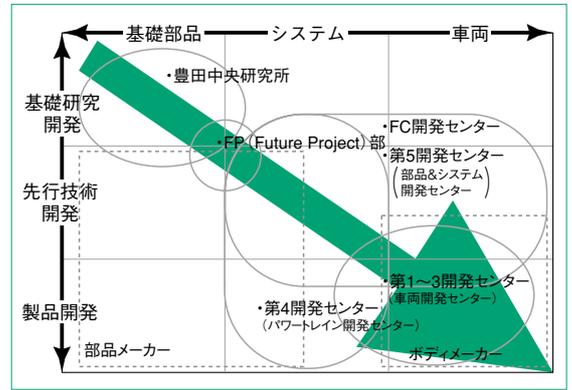
# 研究・開発

## トヨタの開発体制

トヨタでは、次の各開発フェーズを通して研究・開発に取り組んでいます。この3つの開発フェーズが連携・融合し合うことで、最少の時間で、先進的、高品質で魅力的な車が継続的に開発されていきます。

1. 「基礎研究開発」  
開発の方向性を探るフェーズ。車の基本となるベーシックな部分の研究開発。
2. 「先行技術開発」  
コンポーネント、システムなどの技術的ブレークスルーを必要とする開発フェーズ。高度な技術開発を他社に先駆けて進めるために、最新のコンポーネントやシステム研究に専念。
3. 「製品開発」  
新型車両の開発を中心に担当。

トヨタグループの開発体制



トヨタテクニカルセンター U.S.A. (株) (トーランス)



カルティデザインリサーチ (株)



アリゾナ試験場



トヨタテクニカルセンター U.S.A. (株) (アナーバー)



TMEM研究開発グループ (テクニカルセンター)

## アメリカ

トヨタテクニカルセンター U.S.A. (株)	所在地 (本社)	ミシガン州アナーバー(分室:ミシガン州プリマス、カリフォルニア州トーランス、ガルデナ、アリゾナ州ウィットマン、ワシントンD. C.)
	設立年月	1977年6月
	出資比率	トヨタ80%、アイシン精機、デンソー各5%、米国トヨタ10%
	従業員数	575人
	主な活動	アメリカの部品・材料の試験や評価から、排出ガスの検定や技術的の調査まで車両の研究・開発を実施。特に、北アメリカ向けのトヨタ製品のデザイン研究開発の分野で益々重要な役割を担っています。
カルティデザインリサーチ(株)	所在地	カリフォルニア州ニューポートビーチ市
	設立年月	1973年10月
	出資比率	トヨタ80%、米国トヨタ20%
	従業員数	53人
	主な活動	トヨタ初の海外でのデザイン開発拠点で、日米のデザイナーにより新デザインを共同調査・開発。第二世代のセリカ、エスティマ(アメリカ名、プレビア)、ソアラ(アメリカ名、レクサスSC430)、タコマ、プリウス、ソアラのデザインを開発。1991年5月に先進的な外観、内装、カラーデザイン開発用の建物が完成、設備も一新。

■ヨーロッパ

TMEM研究開発グループ (テクニカルセンター)	所在地	ベルギー ザベンタム州 (分室：イギリス ダービー州とドイツ ケルベン州)
	設立年月	1987年9月
	従業員数	185人
	主な活動	トヨタのヨーロッパでの事業サポート、ヨーロッパの環境面における車両・材料の評価、トヨタ車の認証、技術の調査・研究
トヨタヨーロッパ デザインディベロップメント(有) (ED <sup>2</sup> )	所在地	フランス コートダジュール
	設立年月	1998年11月 (稼働2000年4月)
	従業員数	36人
	主な活動	外観・内装・カラーデザインの開発研究、モデル製作、デザイン調査
トヨタモータースポーツ(有) (TMG)	所在地	ドイツ ケルン
	設立年月	1993年7月
	従業員数	650人
	主な活動	F1カーの開発、F1レースへの参加



士別試験場



東京デザイン研究所



トヨタヨーロッパ  
デザインディベロップメント(有)  
(ED<sup>2</sup>)



トヨタモータースポーツ(有)  
(TMG)



トヨタテクニカルセンター  
(本社内)

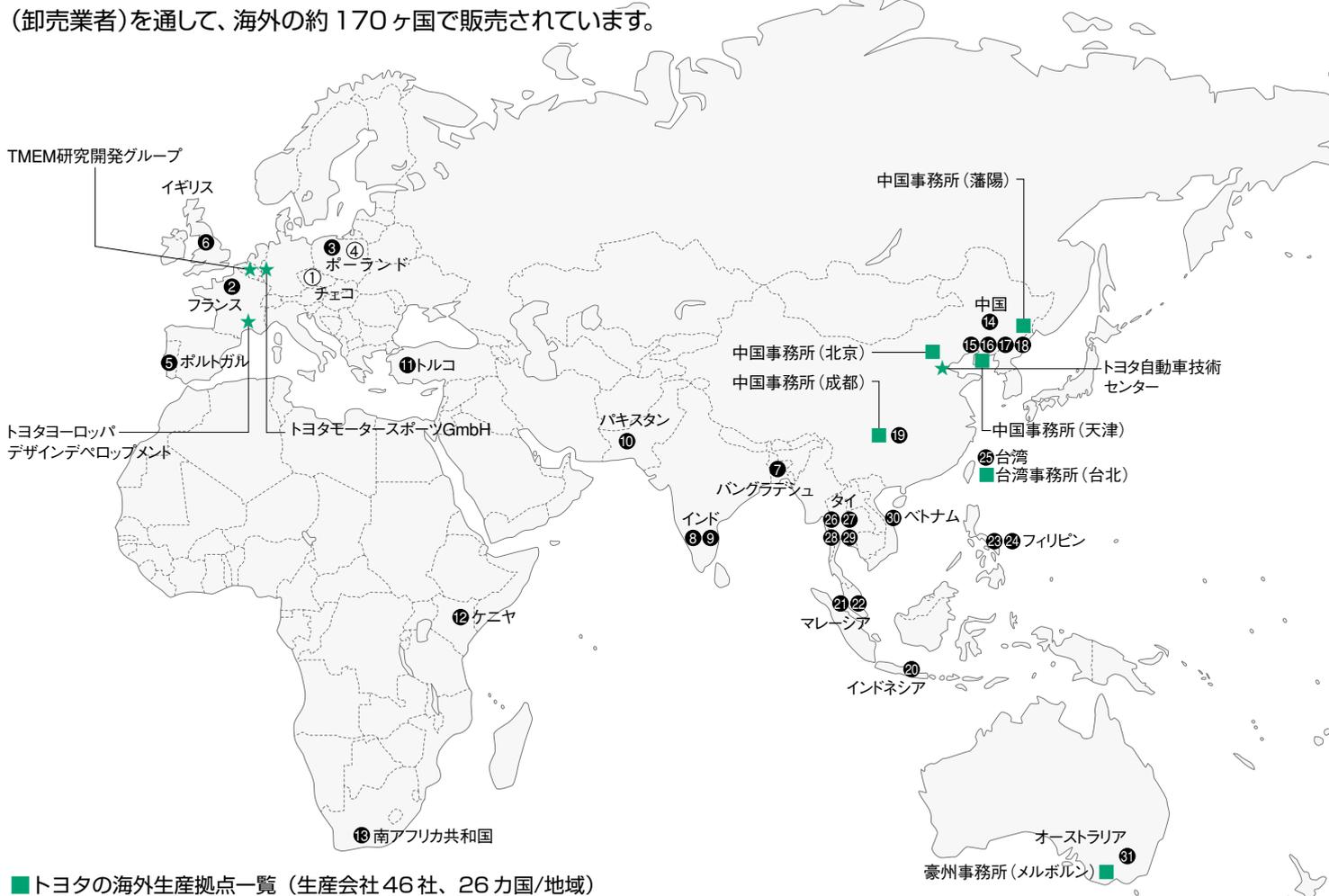


東富士研究所

■日本

トヨタテクニカルセンター (本社内)	所在地	愛知県豊田市トヨタ町
	主な活動	デザイン、プロトタイプの研究開発とその企画、車両の評価等
東京デザイン研究所	所在地	東京都八王子市
	設立年月	1989年9月 (1999年4月、港区三田から八王子に移転・統合)
	主な活動	先進的なスタイリングのデザイン研究・開発
東富士研究所	所在地	静岡県裾野市御宿
	設立年月	1966年11月
	主な活動	車両の新技術開発及びエンジンの新技術研究
士別試験場	所在地	北海道士別市温根別町
	設立年月	1984年10月
	主な活動	車両の高速総合性能、各種寒冷地試験及び評価

2002年末現在、トヨタには26カ国/地域に46の海外生産拠点と、6カ所の海外事務所、20カ所の海外駐在員室がある(卸売業者)を通して、海外の約170ヶ国で販売されています。



トヨタの海外生産拠点一覧(生産会社46社、26カ国/地域)

国/地域	会社名	資本	
欧州	① チェコ Toyota Peugeot Citroën Automobile Czech (2005年予定)	▲	
	② フランス Toyota Motor Manufacturing France S.A.S.	●	
	③ ポーランド Toyota Motor Manufacturing Poland SP.zo.o	④ Toyota Motor Industries Poland SP.zo.o (2005年予定)	▲
		⑤ ポルトガル Salvador Caetano I.M.V.T., S.A.	▲
	⑥ イギリス Toyota Motor Manufacturing (UK) Ltd.	●	
	中近東	⑦ バングラデッシュ Aftab Automobiles Ltd.	★
⑧ インド Toyota Kirloskar Motor Ltd.		▲	
		⑨ Toyota Kirloskar Auto Parts Private Ltd.	▲
⑩ パキスタン Indus Motor Company Ltd.		▲	
⑪ トルコ Toyota Motor Manufacturing Turkey Inc.		▲	
アフリカ	⑫ ケニア Associated Vehicle Assemblers Ltd.	★	
	⑬ 南アフリカ共和国 Toyota South Africa Motors (Pty) Ltd.	▲	
アジア	⑭ 中国 天津津豊汽車底盤部件有限公司	▲	
	⑮ 中国 天津豊田汽車発動機有限公司	▲	
	⑯ 中国 天津豊田汽車伝動部件有限公司	▲	
	⑰ 中国 天津豊田汽車鍛造部件有限公司	●	
	⑱ 中国 天津豊田汽車有限公司	▲	
	⑲ 中国 四川豊田汽車有限公司	▲	
	⑳ インドネシア P.T. Toyota-Astra Motor	▲	
	㉑ マレーシア Assembly Services Sdn. Bhd.	㉒ T & K Autoparts Sdn. Bhd.	▲
		㉓ フィリピン Toyota Autoparts Philippines Inc.	▲
	㉔ フィリピン Toyota Motor Philippines Corporation.	▲	

※ ●:100%トヨタ資本(含む関連企業) ▲:Joint Venture(合弁会社) ★:100%地場資本

り、ワールドワイドに事業展開しています。また、トヨタ車は、160以上のインポーター（輸入業者）／ディストリビューター

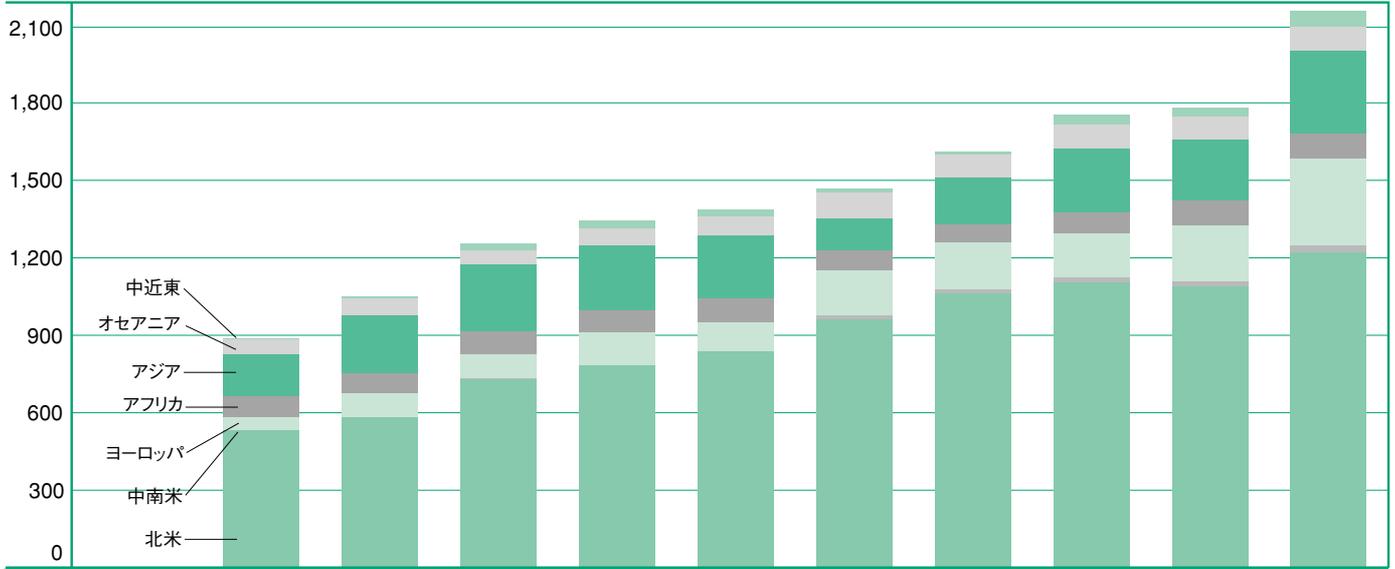


地域	インポーター ディストリビューター	生産拠点
北米	5	11
中南米	41	4
ヨーロッパ	27	6
アフリカ	48	2
アジア(日本を除く)	12	17
オセアニア	15	1
中近東	18	5
海外合計	166	46

国／地域		会社名	資本
アジア	台湾	②⑤ 國瑞汽車股份有限公司	▲
	タイ	②⑥ Siam Toyota Manufacturing Co., Ltd	▲
		②⑦ Hino Motors Thailand Co., Ltd.	▲
		②⑧ Toyota Auto Body Thailand Co., Ltd	▲
		②⑨ Toyota Motor Thailand Co., Ltd.	▲
	ベトナム	③⑩ Toyota Motor Vietnam Co., Ltd.	▲
オセアニア	③① Toyota Motor Corporation Australia Ltd.	●	
北米	カナダ	③② Canadian Autoparts Toyota Inc. (CAPTIN)	●
		③③ Toyota Motor Manufacturing Canada Inc. (TMMC)	●
	アメリカ	③④ Bodine Aluminum, Inc.	●
		③⑤ New United Motor Manufacturing, Inc. (NUMMI)	▲
		③⑥ TABC, Inc.	●
		③⑦ Toyota Motor Manufacturing Alabama, Inc. (2003年予定)	●
		③⑧ Toyota Motor Manufacturing, Kentucky, Inc. (TMMK)	●
		③⑨ Toyota Motor Manufacturing, Indiana, Inc. (TMMI)	●
		④⑩ Toyota Motor Manufacturing, West Virginia, Inc. (TMMWV)	●
		④① Toyota Motor Manufacturing, Texas, Inc. (TMMTX) (2006年予定)	●
		④② Toyota Motor Manufacturing de Baja California S.de R.L.de C.V. (TMMBC) (2004年予定)	—
中南米	アルゼンチン	④③ Toyota Argentina S.A.	▲
	ブラジル	④④ Toyota do Brasil Ltda.	▲
	コロンビア	④⑤ Sociedad de Fabricacion de Automotores S.A.	▲
	ベネズエラ	④⑥ Toyota de Venezuela Compania Anonima	▲

トヨタの地域別海外生産台数の推移

(単位：千台)



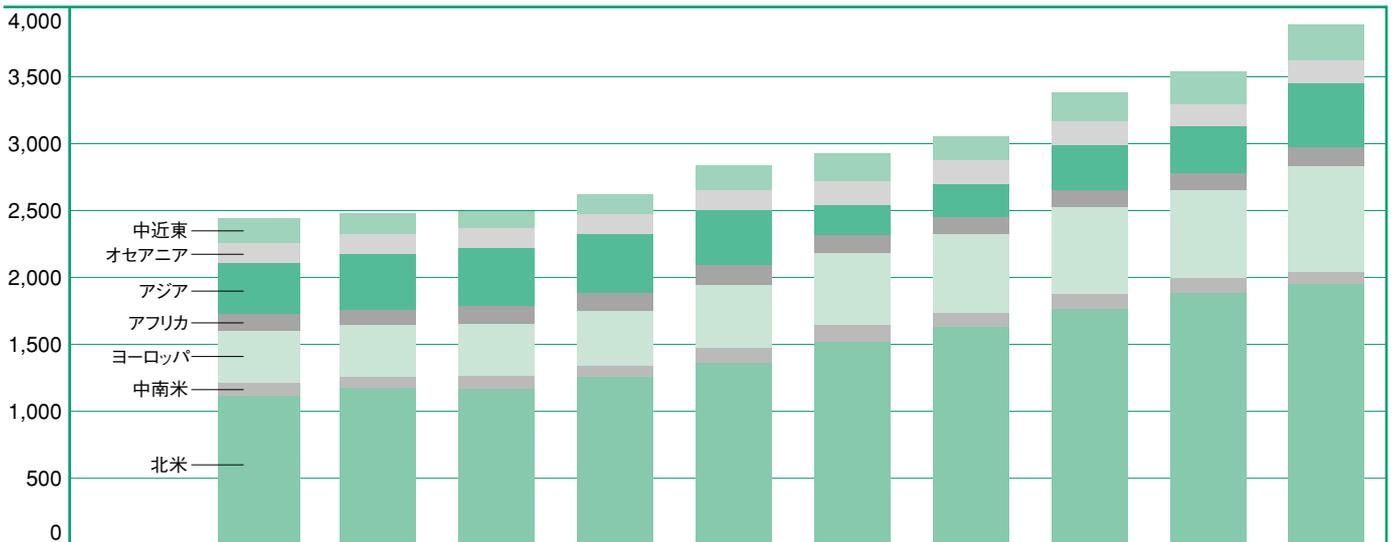
地域	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
北米	532.8	581.3	729.9	783.0	838.3	962.8	1,061.9	1,104.0	1,088.5	1,205.3
中南米	2.6	3.7	3.7	3.2	3.8	15.3	16.8	19.6	17.8	28.1
ヨーロッパ	49.5	93.5	95.5	124.4	108.8	175.7	181.5	173.3	216.9	344.6
アフリカ	81.1	76.7	87.7	85.1	91.2	74.1	68.4	77.5	77.5	79.8
アジア	161.9	222.7	259.0	255.1	246.7	124.8	182.1	248.4	254.3	345.7
オセアニア	58.7	68.5	54.1	67.6	77.6	100.4	91.0	92.4	94.6	86.6
中近東	2.1	4.8	23.3	27.7	23.8	14.4	9.4	36.1	31.0	65.1
海外生産合計	888.7	1,051.3	1,253.3	1,346.0	1,390.1	1,467.6	1,611.0	1,751.4	1,780.6	2,155.2
国内生産合計	3,561.8	3,508.5	3,171.3	3,410.1	3,502.0	3,165.8	3,118.2	3,429.2	3,354.4	3,485.2
全世界合計	4,450.5	4,559.8	4,424.6	4,756.1	4,892.1	4,633.4	4,729.2	5,180.6	5,135.0	5,640.4

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。

資料:トヨタ自動車

トヨタの地域別海外販売台数の推移

(単位：千台)



地域	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
北米	1,116.4	1,174.1	1,169.2	1,251.5	1,356.7	1,516.0	1,631.3	1,766.3	1,893.6	1,940.8
中南米	90.3	78.9	96.0	82.2	115.1	125.0	99.9	105.6	107.5	96.9
ヨーロッパ	393.8	389.3	384.1	411.9	471.2	540.9	592.3	655.8	666.0	755.6
アフリカ	121.7	113.8	136.2	135.5	143.6	129.7	123.2	121.8	126.5	139.8
アジア	386.3	413.7	433.0	444.8	417.9	229.5	252.9	339.3	342.2	455.0
オセアニア	147.1	152.6	145.0	144.2	148.2	176.5	171.8	176.7	162.2	182.2
中近東	184.8	159.3	132.8	151.7	185.0	212.4	186.6	217.2	248.6	267.9
海外販売合計	2,440.4	2,481.6	2,496.2	2,621.8	2,837.6	2,930.0	3,058.1	3,382.7	3,546.7	3,838.3
国内販売合計	2,065.7	2,040.9	2,060.1	2,135.3	2,005.9	1,711.0	1,664.4	1,771.7	1,715.2	1,680.5
全世界合計	4,506.1	4,522.5	4,556.3	4,757.1	4,843.5	4,641.0	4,722.5	5,154.4	5,261.9	5,518.8

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。

資料:トヨタ自動車



■北米市場の概況(2002年)

2002年には販売奨励金が積極的に投入され、各自動車メーカーの1台あたりの販売奨励金は平均1,830ドルと2001年に比べ17.5%増加しました。さらに対所得額比率でも新車価格は過去24年間で最も購入しやすいものとなり、販売台数は1,680万台と歴代4番目の記録となりました。

■トヨタの概況(2002年)

トヨタ車の販売台数は194万台と北米市場への参入以来、最多となりました。カムリは過去6年のうち5度、アメリカの最量販車となりました。レクサスはアメリカにおける最量販ラグジュアリーブランドのタイトルを3年連続で獲得しました。6月にトヨタはメキシコのパハ・カリフォルニア州でトラック荷台工場建設(2004年生産開始予定)の起工式を行いました。7月にトヨタは北米での自動車生産累計1,000万台突破を発表しました(生産開始から16年目、北米への投資額130億ドル)。12月末現在、北米では1,050万世帯が少なくとも1台のトヨタ車を保有しています。カローラとプリウスはともにベストコンパクトカーとしてJDパワー社の表彰を受けました。

生産・販売・輸出  
北米での活動

■北米におけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位:千台)

	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
生産台数	532.8	581.3	729.9	783.0	838.3	962.8	1,061.9	1,104.0	1,088.5	1,205.3
販売台数	1,116.4	1,174.1	1,169.2	1,251.5	1,356.7	1,516.0	1,631.3	1,766.3	1,893.6	1,940.8
内アメリカ	1,033.2	1,088.1	1,083.4	1,179.8	1,230.1	1,368.3	1,475.4	1,619.2	1,741.3	1,756.1

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2002年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	従業員数	生産台数(2002)
カナダ	① Canadian Autoparts Toyota Inc.(CAPTIN)	1985.2	アルミホイール	226	—
	② Toyota Motor Manufacturing Canada Inc.(TMMC)	1988.11	カムリソナーラ、カローラ、マトリックス、エンジン	3,442	218,018
アメリカ	③ Bodine Aluminum, Inc.	1993.1	アルミ鋳物	889	—
	④ New United Motor Manufacturing, Inc.(NUMMI)	1984.12	カローラ、タコマ、ヴォルツ	5,777	310,300
	⑤ TABC, Inc.	1971.11	荷台、触媒コンバータ、プレス部品	549	—
	⑥ Toyota Motor Manufacturing, Alabama, Inc.(TMMAL)	2003(予定)	エンジン	108	—
	⑦ Toyota Motor Manufacturing, Kentucky, Inc.(TMMK)	1988.5	アバロン、カムリ、シエナ、エンジン	7,378	490,591
	⑧ Toyota Motor Manufacturing, Indiana, Inc.(TMMI)	1999.2	タンドラ、シクォイア	4,064	186,573
	⑨ Toyota Motor Manufacturing, West Virginia, Inc.(TMMWV)	1998.11	エンジン トランスミッション	879	—
	⑩ Toyota Motor Manufacturing, Texas, Inc.(TMMTX)	2006(予定)	タンドラ	2,000(予定)	—
メキシコ	⑪ Toyota Motor Manufacturing de Baja California S.de.R.L.dec.V(TMMBC)	2004(予定)	トラック荷台	—	—

注) 生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。  
NUMMIの生産台数はGMのChevrolet Prizm(59,552台)を含まない。

■販売拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	従業員数	販売台数(2002)
カナダ	Toyota Canada Inc.	1964	493	152,800
メキシコ	Toyota Motor Sales de Mexico.S.de.R.L.dec.V.	2001	16*1	3,800
アメリカ	Servco Pacific Inc. (Hawaii)	1958	960*1	1,756,100
	Toyota Motor Sales, U.S.A., Inc.	1957	5,943	
プエルトリコ	Toyota de Puerto Rico Corp.	1994	107*1	28,100

\*1 2002年6月現在。

■その他の拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動	従業員数
カナダ	Toyota Credit Canada Inc.	1990	自動車の販売金融	114
アメリカ	Calty Design Research, Inc.	1973	自動車デザイン	51
	Toyota Motor North America, Inc.	1996	北米でのトヨタの渉外・広報機能の統括およびTMS、TMMNAの持株会社	72
	Toyota Motor Credit Corporation	1982	自動車の販売金融、保険	2,657
	Toyota Motor Manufacturing, North America, Inc.	1996	北米製造会社の統括	841
	Toyota Technical Center, U.S.A., Inc.	1977	自動車技術の研究開発	634
メキシコ	Toyota Services de Mexico, S.A. de C.V.	2001	自動車の販売金融	12
プエルトリコ	Toyota Credit de Puerto Rico Corp.	1996	自動車の販売金融	36



■中南米市場の概況(2002年)

ブラジル、ベネズエラおよびアルゼンチンの総市場は前年比でそれぞれ7%、41%、52%の減少となりました。

■トヨタの概況(2002年)

この地域におけるトヨタ車販売は前年比で10%減少し、96,900台でした。5月にブラジルトヨタが中南米市場の戦略車として新型カローラの生産を始めました。同車は10月、ベネズエラトヨタでも生産開始され、2003年からは中南米諸国20カ国以上へ輸出されます。市場環境の厳しさにもかかわらず、ブラジルでの販売は好調で25,600台となりました。新型カローラが小型車市場で最量販車となったことが寄与しました。

ベネズエラは市場低迷にもかかわらず、10.9%のシェアを維持し、14,000台の販売となりました。

アルゼンチンでも市場は大幅に縮小しましたが5,600台を販売し、シェアは5.7%となりました。ハイラックスは5年連続でナンバー1ピックアップのタイトルを獲得しました。9月には海外で生産するピックアップトラック/多目的車および主要部分の世界規模での新供給体制が発表されました(IMVプロジェクト)。この計画でアルゼンチンはこの地域の生産・供給拠点となります。

■中南米におけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
生産台数	2.6	3.7	3.7	3.2	3.8	15.3	16.8	19.7	17.8	28.1
販売台数	90.3	78.9	96.0	82.2	115.1	125.0	99.9	105.6	107.5	96.9

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2002年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	従業員数 <sup>*1</sup>	生産台数(2002)
アルゼンチン ①	Toyota Argentina S.A.	1997.3	ハイラックス	893	11,173 (11,173)
ブラジル ②	Toyota do Brasil Ltda.	1959.5	カローラ	1,570	16,074 (16,074)
コロンビア ③	Sociedad de Fabricacion de Automotores S.A.	1992.3	ランドクルーザー、ハイラックス	731	7,333
ベネズエラ ④	Toyota de Venezuela Compania Anonima	1981.11	カローラ、ダイナ、ランドクルーザー、テリオス <sup>*2</sup> 、エンジン	1,126	7,823 (849)

注) 生産台数のうち( )内は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。  
※1 販売関連の従業員を含む。※2 ダイハツブランドで生産台数に含まず。

■販売拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	従業員数	販売台数(2002)
アルゼンチン	Toyota Argentina S.A.	1994	893 <sup>*1</sup>	5,175
ブラジル	Toyota do Brasil Ltda.	1958	1,570 <sup>*1</sup>	25,583
チリ	Toyota Chile S.A.	1980	68	8,000
コロンビア	Distribuidora Toyota Ltda.	1967	192	3,600
	Sociedad de Fabricacion de Automotores S.A.	1991	731 <sup>*1</sup>	
コスタリカ	Purdy Motor S.A.	1957	388	4,200
ドミニカ	Delta Comercial, C por A.	1962	235	3,200
エクアドル	Casabaca S.A.	1959	124	1,700
	Importadora Tomebamba S.A.	1964	193	
エルサルバドル	Distribuidora de Automoviles, S.A. de C.V.	1953	1,368	2,700
グアテマラ	Cofino Stahl y Compania Ltda.	1964	856	6,000
ホンジュラス	Corporacion Flores, S.A.	1955	610	2,000
ニカラグア	AUTO NICA, S.A.	1964	152	1,700
	F. Alf. Pellas, S.A.	1963	602	
パナマ	Ricardo Perez, S.A.	1956	567	5,600
ペルー	Toyota del Peru S.A.	1967	72	3,400
ベネズエラ	Toyota de Venezuela Compania Anonima	1958	1,126 <sup>*1</sup>	14,000

注) 販売拠点は2002年に1,000台以上を販売した拠点を記載。  
※1 生産関連の従業員を含む。

■その他の拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動	従業員数
アルゼンチン	Toyota Credit Argentina S.A.	1998	自動車の販売金融	26
ブラジル	Banco Toyota do Brasil S.A.	1999	自動車の販売金融	66
ベネズエラ	Toyota Services de Venezuela, C.A.	2001	自動車の販売金融	30



■ヨーロッパ市場の概況(2002年)

ヨーロッパの自動車市場(EU、スイス、ノルウェー、ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア)は1,680万台と2001年並みの高水準を維持しています。イギリスはヨーロッパ5大市場のなかでは唯一、前年比4%の拡大となりましたが、ヨーロッパ最大の市場であるドイツやその他13市場は経済低迷により縮小傾向にあります。

■トヨタの概況(2002年)

トヨタ車の販売台数は前年比で13%増の755,600台となり、6年連続で年間販売台数の記録を更新しました。市場シェアも0.6%増の4.4%となりました。乗用車部門ではトヨタは3年連続で9位にランクされています。フィンランド、ノルウェーおよびギリシャではトヨタは乗用・商用含めてシェアトップを維持しています。スペインとハンガリー以外ではトヨタは市場シェアが最も大きい日本ブランドです。1月にはトルコのアダパザリ工場でヨーロッパ市場向けのカローラセダンとワゴンの生産を開始し、2月からは輸出も開始されました。4月にはトヨタ自動車とブジョー・シトロエンがチェコの合弁工場(年間生産能力は300,000台の予定)の起工式を行いました。

■ヨーロッパにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位:千台)

	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
生産台数	49.5	93.5	95.5	124.4	108.8	175.7	181.5	173.3	217.0	344.6
販売台数	393.8	389.3	384.1	411.9	471.2	540.9	592.3	655.8	666.0	755.6

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2002年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	従業員数	生産台数(2002)
フランス①	Toyota Motor Manufacturing France S.A.S.(TMMF)	2001.1	ヤリス(ヴィッツ)エンジン	2,631	135,406 (135,406)
ポーランド②	Toyota Motor Manufacturing Poland SP.zo.o.(TMMP)	2002.4	トランスミッション	314*1	—
③	Toyota Motor Industries Poland SP.zo.o.(TMIP)	2005 (予定)	エンジン	350 (予定)	—
ポルトガル④	Salvador Caetano I.M.V.T., S.A.	1968.8	ダイナ、ハイエース、オプティモ	758*2	3,587 (169)
イギリス⑤	Toyota Motor Manufacturing (UK) Ltd.	1992.12	アベンシス、カローラ、エンジン	4,426	209,016 (209,016)
チェコ⑥	Toyota Peugeot Citroën Automobile Czech (TPCA)	2005 (予定)	(小型乗用車)	3,000 (予定)	—

注) 生産台数のうち( )内は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。  
\*1 TMMPの従業員数はフル生産時の予定数。\*2 販売関連の従業員を含む。

■その他の拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動	従業員数
ベルギー	Toyota Motor Europe (TME)	2002	TMME、TMEMの持株会社及び欧州でのトヨタの渉外・広報機能の統括	32
	Toyota Motor Marketing Europe n.v./s.a. (TMME)	1990	欧州販売会社の統括及び自動車、部品、用品の販売マーケティング企画	1,200
	Toyota Motor Engineering & Manufacturing Europe n.v./s.a. (TMEM)	1998	欧州製造会社の統括及び欧州でのトヨタの研究・開発	600
チェコ	Toyota Financial Services Czech s.r.o.	2000	自動車の販売金融	14
フィンランド	Toyota Finance Finland Oy	1995	自動車の販売金融	23
ドイツ	Toyota Motorsport GmbH	1993	F1カーの開発とF1レース参加	650
	Toyota Kreditbank GmbH	1988	自動車の販売金融	187
フランス	Toyota Europe Design Development S.A.R.L.(ED <sup>2</sup> )	2000	自動車のデザインの研究・開発	32
	Toyota France Financement*1	1997	自動車の販売金融	58
オランダ	Toyota Motor Finance (Netherlands) B.V.	1987	関係会社への融資	—
ノルウェー	Toyota Kreditbank Norge*1	1997	自動車の販売金融	18
ポーランド	Toyota Bank Polska S.A.	2000	自動車の販売金融	22
イギリス	Toyota Financial Services (UK) PLC	1988	自動車の販売金融	140
ハンガリー	Toyota Financial Services Hungary Rt.	2002	自動車の販売金融	6
イタリア	Toyota Financial Services Italy*2	1997	自動車の販売金融	48
スウェーデン	Toyota Financial Services Sweden	2000	自動車の販売金融	17
デンマーク	Toyota Financial Services Denmark A/S	2002	自動車の販売金融	6

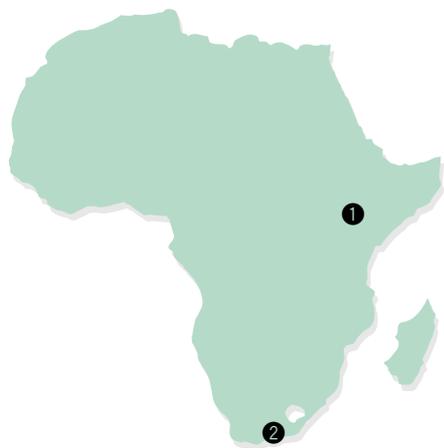
注) \*1 Toyota Kreditbank GmbHの支店。  
\*2 Toyota Financial Services (UK) PLCの支店。

■販売拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	従業員数	販売台数(2002)
オーストリア	Toyota Frey Austria Ges.m.b.H.	1970	91	16,500
ベルギー	Toyota Belgium S.A./N.V.	1966	174	32,700
チェコ	Toyota Motor Czech spol.s.r.o	1994	61	5,100
デンマーク	Toyota Denmark A/S	1963	98	23,300
フィンランド	Toyota Auto Finland Oy	1995	159	23,400
フランス	Toyota France S.A.	1971	140	68,000
ドイツ	Toyota Deutschland G.m.b.H.	1971	407	100,100
ギリシャ	Toyota Hellas S.A.	1987	203	29,800
ハンガリー	Toyota Motor Hungary Kft	1991	51	10,000
アイルランド	Toyota Ireland	1972	112	23,900
イタリア	Toyota Motor Italia S.p.A.	1990	171	122,000
オランダ	Louwman & Parqui B.V.	1964	160	32,900
ノルウェー	Toyota Norge AS	1973	120	16,900
ポーランド	Toyota Motor Poland Co., Ltd.	1991	97	23,700
ポルトガル	Salvador Caetano I.M.V.T., S.A	1968	758*1	18,300
スペイン	Toyota España, S.L.	1992	95	32,100
スウェーデン	Toyota Autoimport AB	1968	113	16,400
スイス	Toyota AG	1966	91	19,800
イギリス	Toyota (GB) PLC	1965	485	121,400
キプロス	Dickran Ouzonian&Co.,Ltd	1989	79	2,100
アイスランド	P.Samuelsson hf.	1980	113	2,100
スロベニア	Toyota Adria d.o.o	1998	33	3,800
西ロシア	OOO "TOYOTA MOTOR"	2002	45	8,100

注) 販売拠点は2002年に2,000台以上を販売した拠点を記載。\*1 生産関連の従業員を含む。



■アフリカ市場の概況(2002年)

南アフリカの自動車総市場は前年比5%減少し、350,000台となりました。金利が持続的に上昇し、個人消費が低迷したことが影響しました。また第4四半期の商用車販売は悪天候による農業従事者の購買力の低下のため減少しました。

■トヨタの概況(2002年)

アフリカにおける総販売台数は前年比で10.5%増の139,800台となりました。下半期の新型カローラやブラドの導入が功を奏しました。

南アフリカでのトヨタのシェアは22.9%で、23年連続でトップを維持しています。10月の新型カローラ導入によってトヨタ車の販売台数は80,200台となりました。エジプトでもトヨタのシェアは11.6%、ナイジェリアでは国際連合等国際機関への販売も含め18.3%という高いシェアを保っています。

■アフリカにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
生産台数	81.1	76.7	87.7	85.1	91.2	74.1	68.4	77.5	77.5	79.8
販売台数	121.7	113.8	136.2	135.5	143.6	129.7	123.2	121.8	126.5	139.8

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2002年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	従業員数	生産台数(2002)
ケニア ①	Associated Vehicle Assemblers Ltd.	1977.8	ダイナ、ハイエース、ハイラックス、ランドクルーザー	274	667
南アフリカ共和国 ②	Toyota South Africa Motors (Pty) Ltd.	1962.6	カローラ、ダイナ、ハイエース、ハイラックス、TUV、大型トラック、エンジン	6,882 <sup>*1</sup>	81,555 (79,873)

注) 生産台数のうち( )内は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

\*1 販売関連の従業員を含む

■販売拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	従業員数	販売台数(2002)
アルジェリア	Jalco S.P.A.	1993	66	5,100
カナリア諸島	Toyota Canarias S.A.	1973	153	6,400
エジプト	Toyota Egypt S.A.E.	1979	156	7,800
ガボン	Toyota Gabon	1964	70	1,100
モロッコ	Toyota Du Maroc S.A.R.L.	1996	123	2,300
ナイジェリア	Toyota (Nigeria) Ltd.	1996	57	4,100
レユニオン	Compagnie Marseillaise de Madagascar Automobile	1977	135	1,400
南アフリカ共和国	Toyota South Africa Motors (Pty) Ltd.	1961	6,882 <sup>*1</sup>	80,200
ケニア	Toyota East Africa Ltd.	1999	308	1,100
スーダン	Golden Arrow Co.,Ltd.	1963	108	1,400
タンザニア	Toyota Tanzania Ltd.	1963	273	1,000

注) 販売拠点は2002年に1000台以上販売した拠点を記載。

\*1 生産関連の従業員を含む

■その他の拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動	従業員数
南アフリカ共和国	Toyota Financial Services South Africa(Pty)Ltd.	2000	自動車の販売金融	54



■アジア市場の概況(2002年)

アジア市場は前年に比べ14%拡大しました。タイとベトナムでは30%以上拡大しましたが、シンガポールは15%減少しました。概してアジア市場は回復基調にありますが、回復のペースは国ごとに様々です。アジア市場は1996年のピーク時の91%まで回復しましたが、その回復率はインドネシアが96%、タイが69%、フィリピンが53%、マレーシアが121%でした。

■トヨタの概況(2002年)

アジアでのトヨタの販売台数は455,000台と過去最高で、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナムの6カ国で1位となりました。またトヨタはタイ、フィリピン、シンガポール、台湾で前年よりシェアを拡大しました。10月にトヨタは中国で生産された初のコンパクトセダン、ヴィオスを発売しました。ヴィオスはアジア市場向けに特別にデザイン・開発されたものです。中国における年間販売台数は30,000台を目標としています。

■アジアにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
生産台数	161.9	222.7	259.0	255.1	246.7	124.8	182.1	248.4	254.3	345.7
販売台数	386.3	413.7	433.0	444.8	417.9	229.5	252.9	338.9	342.2	455.0

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2002年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	従業員数	生産台数(2002)	国/地域	会社名	生産開始	生産品目	従業員数	生産台数(2002)
中国	① 天津津豊汽車 底盤部件有限公司	1997.6 <sup>*1</sup>	ステアリング、 プロペラシャフト	408	—	フィリピン	⑩ Toyota Autoparts Philippines Inc.	1992.9	トランスミッション、 等速ジョイント	624	—
	② 天津豊田汽車 発動機有限公司	1998.6	エンジン	700	—		⑪ Toyota Motor Philippines Corp.	1989.2	カムリ、カローラ、 TUV、エンジン	1,244 <sup>*2</sup>	21,169 (18,450)
	③ 天津津豊汽車 伝動部件有限公司	1998.5	等速ジョイント	267	—	台湾	⑫ 國瑞汽車 股份有限公司	1986.1	カムリ、カローラ、 ターセル、TUV、 ハイエース	2,648	89,220 (89,220)
	④ 天津豊田汽車 鍛造部件有限公司	1998.12	鍛造部品	80	—		タイ	⑬ Siam Toyota Manufacturing Co., Ltd.	1989.7	エンジン	943
	⑤ 天津豊田汽車 有限公司	2002.10	ヴィオス (中国名：威馳)	880	2,147	⑭ Hino Motors Thailand Co., Ltd.		1969.8	ダイナ	1,019	575
	⑥ 四川豊田汽車 有限公司	2000.12	コースター	670	2,840 (2,840)	⑮ Toyota Auto Body Thailand Co., Ltd.		1979.5	プレス部品	92	—
インドネシア	⑦ P.T. Toyota- Astra Motor	1970.5	カムリ、カローラ、 ダイナ、ソルレーナ、 TUV、エンジン	4,971 <sup>*2</sup>	84,864 (75,989)	⑯ Toyota Motor Thailand Co., Ltd.	1964.12	カムリカローラ、 ハイラックス、 ソルレーナ、 ソルレーナヴィオス	4,095 <sup>*2</sup>	140,246 <sup>*3</sup> (128,698)	
マレーシア	⑧ Assembly Services Sdn. Bhd.	1968.2	カムリ、カローラ、 ハイエース、 ハイラックス、 ランドクルーザー、 TUV、エンジン	1,818	28,000 (23,119)	ベトナム	⑰ Toyota Motor Vietnam Co., Ltd.	1996.8	カムリ、カローラ、 ハイエース、 ランドクルーザー、TUV	486 <sup>*2</sup>	7,138 (5,272)
	⑨ T & K Autoparts Sdn. Bhd.	1992.7	ステアリングギア、 サスペンション ロワーボールジョイント	234	—						

注) 生産台数の( )内は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

\*1 トヨタの資本参加した年月。\*2 販売関連の従業員を含む。\*3 オーストラリア向CKDを含む。(11,453台)

■販売拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	従業員数	販売台数(2002)
ブルネイ	NBT (Brunei) Sdn. Bhd.	1973	130	2,300
中国	Toyota Motor (China) Limited	1994	83	46,000
	(Hong Kong) Crown Motor Ltd.	1966	867	12,000
インドネシア	P.T. Toyota-Astra Motor	1972	4,971 <sup>*1</sup>	83,000
韓国	Toyota Motor Korea Co., Ltd. (TMKR)	2001	27	3,000
マレーシア	UMW Toyota Motor Sdn. Bhd.	1982	1,825 <sup>*2</sup>	27,000
フィリピン	Toyota Motor Philippines Corp.	1989	1,244 <sup>*1</sup>	25,000
シンガポール	Borneo Motors (Singapore) Pte. Ltd.	1967	503	18,000
台湾	Hotai Motor Co., Ltd.	1949	519	95,000
タイ	Toyota Motor Thailand Co., Ltd.	1964	4,095 <sup>*1</sup>	130,000
ベトナム	Toyota Motor Vietnam Co., Ltd.	1996	486 <sup>*1</sup>	7,500

注) 販売拠点は2002年に1,000台以上を販売した拠点を記載。

\*1 生産関連の従業員を含む。\*2 UMWはマルチベンダーで、従業員数は全ての部門を含む。

■その他の拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動	従業員数
シンガポール	Toyota Motor Asia Pacific Pte. Ltd.	1990	アジア各国への部品供給 とアジアでの販売サポート	157
タイ	Toyota Leasing Thailand Co., Ltd.	1993	自動車の販売金融	370
マレーシア	UMW Toyota Capital Sdn. Bhd.	2001	自動車の販売金融	92
台湾	Hotai Finance Corporation	2002	自動車の販売金融	144
	Hotai Leasing Corporation	2002	自動車のリース	77



■オセアニア市場の概況(2002年)

オーストラリアの総市場は過去最高となり、前年比で7%増の824,000台に達しました。人気を集めたピックアップタイプやスポーツユーティリティタイプが販売台数増加に寄与しました。

■トヨタの概況(2002年)

オーストラリアではトヨタの販売台数は前年比で12%増加し、過去最高の160,000台を記録しましたが、2位となりました。ニュージーランドではトヨタの販売台数は15年連続で1位でした。

■オセアニアにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
生産台数	58.7	68.5	54.1	67.6	77.6	100.4	91.0	92.4	94.6	86.6
販売台数	147.1	152.6	145.0	144.2	148.2	176.5	171.8	176.6	162.2	182.2

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2002年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	従業員数	生産台数(2002)
オーストラリア ①	Toyota Motor Corporation Australia Ltd.	1963.4	アバロン、カムリ、エンジン	4,286*1	86,558

注) 生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。  
\*1 販売関連の従業員を含む。

■販売拠点

(2002年末現在)

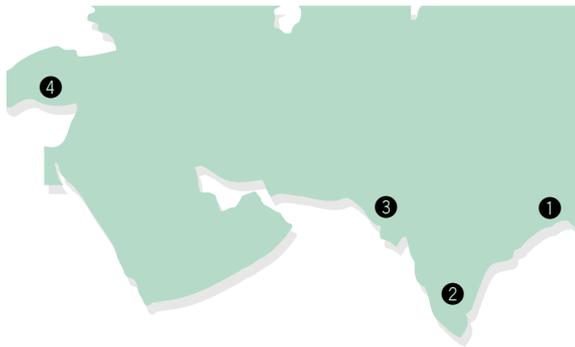
国/地域	会社名	販売開始	従業員数	販売台数(2002)
オーストラリア	Toyota Motor Corporation Australia Ltd.	1959	4,286*1	160,975
グアム	Atkins Kroll, Inc.	1975	176	1,857
ニュージーランド	Toyota New Zealand Ltd.	1966	177	16,234
パプアニューギニア	Toyota Tsusho (PNG) Ltd.	1962	712	932

注) 販売拠点は2002年に1000台以上販売した拠点を記載。  
\*1 生産関連の従業員を含む。

■その他の拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動	従業員数
オーストラリア	Toyota Finance Australia Ltd.	1982	自動車の販売金融	284
ニュージーランド	Toyota Finance New Zealand Ltd.	1988	自動車の販売金融	39



■中近東市場の概況(2002年)

インドでは乗用車市場が高水準を維持し、販売台数は前年比4%増の718,000台となりました。

湾岸諸国では、円安や原油価格が強含みで推移したことにより、日本の自動車メーカーは堅調な販売を記録しました。

■トヨタの概況(2002年)

インドではクオリスの供給不足によりトヨタの販売台数は25,000台にとどまり、前年より減少しました。

湾岸諸国では、トヨタはカムリやカローラの販売が好調だったことから、当初見込みを上回りました。

■中近東におけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
生産台数	2.1	4.8	23.3	27.7	23.8	14.4	9.4	36.1	31.0	65.1
販売台数	184.8	159.3	132.8	151.7	185.0	212.4	186.6	216.9	248.6	267.9

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2002年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	従業員数	生産台数(2002)
バングラデシュ ①	Aftab Automobiles Ltd.	1982.7	ランドクルーザー	110	319 <sup>※2</sup>
インド ②	Toyota Kirloskar Motor Ltd.	1999.12	クオリス	2,029 <sup>※1</sup>	26,030
パキスタン ③	Indus Motor Company Ltd.	1993.3	カローラ、ハイラックス	814 <sup>※1</sup>	9,887 <sup>※2</sup>
トルコ ④	Toyota Motor Manufacturing TURKEY Inc.	1994.9	カローラ	1,144	39,039

注) 生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

※1 販売関連の従業員を含む。

※2 生産台数は現地調達率40%未満(F.O.B.価格ベース)の台数。

■販売拠点

(2002年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	従業員数	販売台数(2002)
バーレーン	Ebrahim Khalil Kanoo W.L.L.	1967	470	6,100
インド	Toyota Kirloskar Motor Ltd.	1999	2,029 <sup>※1</sup>	25,244
イラン	Irtoya Co.	1994	125	2,026
イスラエル	Union Motors Ltd.	1991	130	13,707
クウェート	Mohamed Naser Al-Sayer & Sons Est.Co.W.L.L.	1956	847	18,322
オマーン	Saud Bahwan Automotive	1975	2,400	28,010
パキスタン	Indus Motor Company Ltd.	1990	814 <sup>※1</sup>	13,166
カタール	Abdullah Abdulghani & Bros. Co. W.L.L.	1964	621	8,579
サウジアラビア	Abdul Latif Jameel Import & Distribution Co., Ltd.	1955	2,500	105,012
シリア	Al Saady Trading Co.,Ltd.	1993	91	2,350
トルコ	Toyotasa Toyota Sabanci Marketing and Sales Inc.	2000	131	9,166
U.A.E.	Al-Futtaim Motors	1955	800	28,850
イエメン	Automotive & Machinery Trading Center	1956	178	1,966

注) 販売拠点は2002年に1,000台以上を販売した拠点を記載。

※1 生産関連の従業員を含む。

■海外子会社等からの完成車輸出（2002年）

（単位：台）

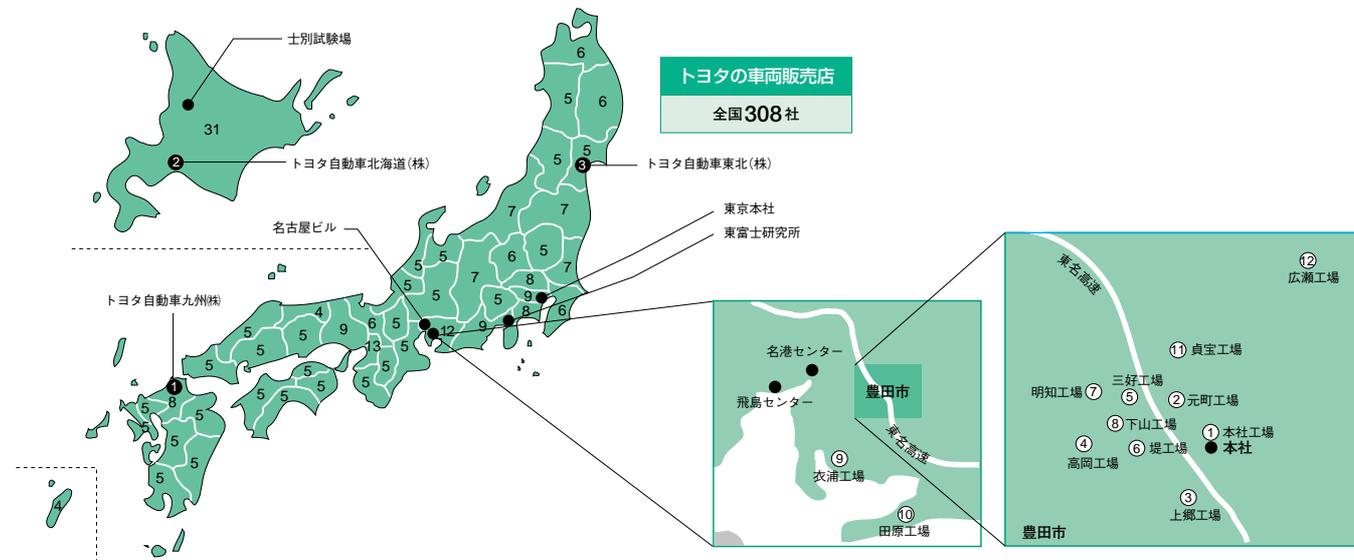
生産国／地域（生産会社）	車種	輸出先	輸出台数
カナダ (TMMC)	カローラ	アメリカ、プエルトリコ、メキシコ	61,239
	カムリソラーラ	アメリカ、プエルトリコ	31,435
	マトリックス	アメリカ、プエルトリコ、メキシコ	69,435
アメリカ (NUMMI) (TMMK)	タコマ	カナダ、プエルトリコ	2,700
	カムリ、アバロン	台湾、カナダ、中近東(アバロン)、 日本(アバロン、日本名プロナード)、プエルトリコ(カムリ)	8,116
	シエナ	カナダ、ハワイ、プエルトリコ	9,695
	タンドラ、シクォイア	カナダ、オセアニア 他	7,432
アルゼンチン (TMMI)	ハイラックス	ブラジル、ウルグアイ	7,568
ブラジル (TDB)	カローラ	アルゼンチン	1,096
コロンビア (SOFASA)	ハイラックス、ランドクルーザー、プラド	エクアドル、ベネズエラ	8,159
ベネズエラ (TDV)	ランドクルーザー、カローラ	コロンビア、エクアドル	431
フランス (TMMF)	ヤリス(ヴィッツ)	欧州	121,000
ポルトガル (SC)	オプチモ(コースター)	イギリス、スペイン、ドイツ 他	69
トルコ (TMMT)	カローラ	欧州、中近東	33,400
イギリス (TMUK)	アベンシス、カローラ	欧州(カローラ、アベンシス)、中近東、アフリカ、 中南米(アベンシス)	168,331
南アフリカ (TSAM)	カローラ、ハイエース、ハイラックス、 TUV、ダイナ、大型トラック	ジンバブエ、マラウイ、モザンビーク、ザンビア、 ナイジェリア 他	1,971
インドネシア (TAM)	TUV	ブルネイ 他	175
タイ (TMT)	ハイラックス、ソルーナ	パキスタン、フィリピン、ブルネイ、シンガポール、オーストラリア	11,801
オーストラリア (TMCA)	カムリ、アバロン(ニュージーランドのみ)	ニュージーランド、タイ、フィジー、パプアニューギニア、 ブルネイ、中近東、南アフリカ 他	49,323

■海外子会社等からの部品等輸出（2002年）

（単位：ユニット）

生産国／地域（生産会社）	品名	輸出先	輸出規模	
カナダ (CAPTIN)	アルミホイール	日本	891,000	
アメリカ (TMMK)	AZエンジン	日本、カナダ	51,000	
	MZエンジン	日本、カナダ、オーストラリア	45,000	
	カムリ部品	オーストラリア	7,000	
	アバロン部品	オーストラリア	220,000	
	(TMMWV)	ZZエンジン部品	カナダ	157,000
		MZエンジン	日本	22,000
	(TABC)	触媒	日本、カナダ	310,000
		コンバータ	日本、カナダ	21,000
(Bodine)	デフキャリアカバー	日本	22,000	
ブラジル (TDB)	リヤアクスルアセンブリ	アルゼンチン	11,000	
イギリス (TMUK)	ZZエンジン用ピストン、コンロッド	日本、トルコ、ベネズエラ、ブラジル、南アフリカ	—	
	SZエンジン	フランス	68,000	
	ハイエース用部品	日本	—	
南アフリカ (TSAM)	アルミホイール	欧州	—	
	触媒コンバータ	日本、欧州、トルコ	—	
	マニホールド	ブラジル、ベネズエラ	—	
	タイミングチェーンカバー	ブラジル、ベネズエラ	—	
	5Aエンジン部品 (ブロック、クランク、カム、ヘッド)	日本	31,000 ~34,000	
	(TFAP) (天津豊田汽車伝動部(南))	等速ジョイント	日本	92,000
(TTFC) (天津豊田汽車鍛造部(南))	機械加工部品	フィリピン	9,000	
(TTFC) (天津豊田汽車鍛造部(南))	鍛造粗形材	日本、フィリピン	2,200,000	
インドネシア (TAM)	5Kエンジンブロック	日本	6,000	
	7Kエンジン	日本、台湾、フィリピン、マレーシア、ベトナム	51,000	
	TUV用CKD部品	マレーシア、フィリピン、ベトナム、台湾、南アフリカ	41,000	
マレーシア (T&K)	マニュアルステアリングギア	タイ、フィリピン、インドネシア、南アフリカ	20,000	
	パワーステアリングギア	タイ、フィリピン、インドネシア、台湾、ベトナム、南アフリカ、 インド、パキスタン	232,000	
	サスペンションローワーボールジョイント	タイ、インドネシア、台湾、パキスタン	88,000	
	(ASSB)	TUV・カローラ・ソルーナ用部品	タイ、インドネシア、フィリピン、台湾、ベトナム	—
ポルトガル (SC)	樹脂部品、ゴム部品等	—	—	
	エキゾーストパイプ	欧州	3,500	
ポーランド (TMMP)	トランスミッション	フランス、イギリス	25,000	
フィリピン (TAP)	トランスミッションアッシ	タイ、インドネシア、ベトナム、インド、マレーシア、台湾、南アフリカ	122,000	
	等速ジョイント	タイ、インドネシア、台湾、日本、ベトナム、パキスタン、マレーシア	148,000	
	トランスミッションケース用アルミ粗材、ギア部品	インドネシア	54,000	
	(TMP)	TUV用プレス部品等	台湾、インドネシア、ベトナム、南アフリカ、マレーシア	336,000
台湾 (国瑞)	TUV用プレス部品、組立部品	インドネシア、フィリピン、インド、南アフリカ、マレーシア	—	
	カローラ部品	タイ、ベトナム、マレーシア、パキスタン、フィリピン、南アフリカ、 インド、インドネシア、南米	—	
	カムリ部品	タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム、 オーストラリア	—	
	NBC部品	中国、タイ	—	
タイ (STM)	2Lエンジン、5Lエンジン部品	マレーシア、インドネシア、日本、フィリピン、インド、南アフリカ	56,000	
	5A、ZZ、AZエンジン部品	オーストラリア、台湾、フィリピン、マレーシア、インドネシア	—	
	カム粗材	日本	91,000	
	ブロック材	日本	45,000	
(TMT)	ボディ部品、樹脂部品、ゴム部品、 ランプ類等	フィリピン、マレーシア、日本 他	—	

国内の主要事業所・販売・サービスの体制



国内の生産・販売体制

国内の生産拠点

名称	事業内容・生産品目	完成年月	土地面積	建物面積	従業員数
①本社工場	ランドクルーザー・トラック・バスのシャーシ、鍛造部品、駆動関係部品	1938.11	55万m <sup>2</sup>	45万m <sup>2</sup>	3,000人
②元町工場	クラウン、プレビス、プログレ、マークII、プリウス	1959. 8	161	83	6,100
③上郷工場	エンジン	1965.11	93	54	3,500
④高岡工場	カロラ、アレックス、イスト、bB、プラッツ、ファンカーゴ、ヴィッツ	1966. 9	143	71	5,300
⑤三好工場	駆動関係部品、小物部品	1968. 7	38	17	1,700
⑥境工場	ウィンダム、カムリ、ピスタ、オーパ、プレミオ、アリオン、カルディナ、ウィッシュ	1970.12	107	60	5,500
⑦明知工場	エンジン、足廻り鋳物部品、足廻り機械部品	1973. 6	58	27	1,900
⑧下山工場	エンジン、排出ガス対策部品	1975. 3	45	23	1,600
⑨衣浦工場	駆動関係部品	1978. 8	92	36	2,800
⑩田原工場	セルシオ、クラウン、アリスト、ランドクルーザー、ハイラックス、RAV4、イプサム、エンジン	1979. 1	406	114	7,100
⑪貞宝工場	機械設備、鋳鍛造型及び樹脂成形型	1986. 2	30	11	1,800
⑫広瀬工場	電子制御装置、IC等の研究開発及び生産	1989. 3	25	9	1,300
①トヨタ自動車九州(株)	ハリヤー、クルーガーV	1992.12	106	26	2,100
②トヨタ自動車北海道(株)	オートマチックトランスミッション、トランスファー、アルミホイールなど自動車部品	1992.10	98	19	1,000
③トヨタ自動車東北(株)	メカトロ部品の生産	1998.10	29	2	150

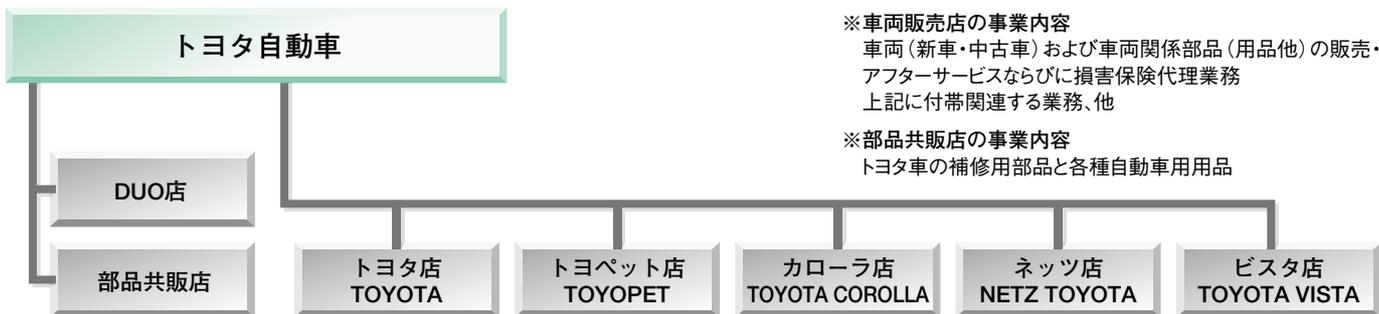
注)1. 2002年3月現在、但し生産品目は2003年2月末現在。  
 2. トヨタ自動車九州(株)、トヨタ自動車北海道(株)、トヨタ自動車東北(株)はトヨタ自動車の100%出資会社。  
 3. 土地面積は貸借中の土地面積を含む。

その他の拠点

名称	事業内容	完成年月	土地面積	建物面積	従業員数
東富士研究所	車両の新技术開発及びエンジンの新技术研究	1966.11	200万m <sup>2</sup>	23万m <sup>2</sup>	2,600人
士別試験場	車両の高速総合性能・各種寒冷地試験及び評価	1984.10	931	2	170
名港センター	車両船積	1964. 5	66	2	30
飛島センター	海外向け部品の船積	1985. 6	28	0.3	—
春日部品センター	中物補給部品の入出荷	1961. 9	10	5	150
稲沢部品センター	大物補給部品の入出荷	1978.10	11	6	60
大口部品センター	中・小物補給部品の入出荷	1978. 1	10	6	140
上郷物流センター	海外及び国内遠隔地生産用部品・内外装補給部品の入出荷、車両中継地	1968. 8	36	14	270
飛島物流センター	海外向けの生産用部品・補給部品の入出荷	1988.11	24	8	140

注)2002年3月現在。

販売・サービス網と事業内容



※車両販売店の事業内容

車両(新車・中古車)および車両関係部品(用品他)の販売・アフターサービスならびに損害保険代理業務 上記に付帯関連する業務、他

※部品共販店の事業内容

トヨタ車の補修用部品と各種自動車用用品

取扱車

店名	トヨタ店			トヨペット店		トヨタカローラ店	ネット店		トヨタビスタ店
	東京トヨタ	大阪トヨタ	沖縄トヨタ	東京トヨペット	大阪トヨペット		大阪地区ネットトヨタ	ネットトヨタ沖縄	
センチュリー	●	●	●	●	●				
セルシオ	●	●	●	●	●				
クラウン	●	●	●	●	●				
アリスト									
プレビス	●	●	●		●				
プロダレ			●	●	●				
プロナード									●2
ウィンダム						●			
ソアラ	●	●	●	●	●				
マークII		●	●	●	●				
ヴェロッサ									●1
カムリ						●			
アルデツツア							●	●	
ビスタ								●	●
オーバ			●	●	●				
ナディア						●			
プレミオ			●	●	●				
アリオン	●	●	●		●				
カルディナ	●	●	●	●	●				
プリウス	●	●	●		●				
セリカ						●			
MR-S							●	●	●
WILL VS									●3
カローラ						●			
アレックス							●	●	
ラウム							●	●	
イスト			●	●	●		●	●	
bB							●	●	
ブラッツ			●	●	●		●	●	
ファンカーゴ						●			●
WILL サイファ						●			●
ヴィッツ							●	●	
デュエット						●			
アルファードG			●	●	●				
アルファードV									●
ハイエース		●		●	●				
エスティマT	●	●	●		●				
エスティマL						●			
エスティマ ハイブリッド	●	●	●		●	●			
ガイア	●	●	●		●				
イブサム			●	●	●				●
ウィッシュ							●	●	●
ヴォクシー							●	●	
ノア						●			
スーパーキー									●4
ランドクルーザー	●	●	●	●					●5
ハイラックス	●	●	●		●				
ハリアー			●	●	●				
クルーガーV									●3
RAV4L						●			
RAV4J							●	●	
ヴォルツ							●	●	
キャミ			●	●	●				
サクシード	●	●	●	●	●				
プロボックス						●	●	●	
ダイナ	●	●	●	●	●				
トヨエース				●	●				
レジアスエース									●
ライトエース							●	●	
タウンエース						●			
コースター	●	●	●						

DUO店 <VW> Lupo, Polo, Golf, Golf Wagon, New Beetle, Passat, Passat Wagon

注) 1. 沖縄地区は沖縄トヨタ。  
2. 沖縄地区は沖縄トヨペット。  
3. 沖縄地区はトヨタカローラ沖縄。

4. 沖縄地区はネットトヨタ沖縄。  
5. ブラドのみ取り扱い。

※トヨタ特装車は、ベース車と同じ販売店で扱っています。  
※2003年2月現在。

トヨタ車の車名別国内生産台数(完成車輸出・CKD分含む)

車名	生産開始年	2002年 生産台数	2002年 までの累計
カローラ	1966	467,117	21,700,713
ハイラックス	1967	247,992	9,907,389
RAV4	1994	243,995	1,367,232
ランドクルーザー	1951	201,380	4,095,975
ヴィッツ	1999	188,042	1,235,837
カムリ	1980	157,564	3,558,988
クルーガーV	2000	155,510	295,457
エスティマ (内エスティマハイブリッド)	1990 2001	113,188 11,505	1,545,918 17,793
プラッツ	1999	111,514	461,188
イスト	2002	109,509	109,509
ハイエース・レジアス	1967・97	97,077	4,465,392
ノア	2001	96,455	109,820
ハリアー	1997	93,799	541,974
ウィンダム	1991	91,209	777,897
ヴォクシー	2001	84,541	94,831
ファンカーゴ	1999	80,541	393,311
クラウン	1954	72,356	5,346,596
イプサム	1996	70,894	571,930
プレミオ	2001	61,874	64,167
マークII	1968	59,106	6,455,915
アルファード	2002	56,030	56,030
アリオ	2001	54,650	56,950
アルテッツァ	1998	47,987	230,430
セルシオ	1989	47,539	735,577
bB	2000	42,282	200,904
トヨエース・ダイナ	1954・56	42,219	3,285,654
セリカ	1970	38,152	4,079,591

車名	生産開始年	2002年 生産台数	2002年 までの累計
カルディナ	1992	33,289	766,698
プリウス	1997	31,076	117,688
プロボックス	2002	29,009	29,009
アリスト	1991	24,789	369,822
グランビア	1995	24,762	324,397
アレックス	2001	20,523	54,324
サクシード	2002	19,615	19,615
ソアラ	1981	17,983	449,178
タウンエース	1976	16,722	2,380,460
ガイア	1998	16,661	141,790
オーパ	2000	13,387	66,550
ライトエース	1970	12,724	2,143,700
ビスタ	1982	12,044	731,903
コンフォート	1995	11,655	101,978
MR-S	1999	11,041	56,122
WiLL サイファ	2002	9,457	9,457
コースター	1963	8,392	302,199
ヴェロッサ	2001	8,165	20,649
ブレビス	2001	7,661	21,237
WiLL VS	2001	6,276	13,252
プログレ	1998	5,108	65,254
ラウム	1997	4,308	166,681
スプリンター	1968	2,754	3,084,591
ナディア	1998	2,377	77,387
スプリンター カリブ	1982	1,013	753,252
センチュリー	1967	473	37,713
スーブラ	1986	344	285,280

資料：トヨタ自動車

- 注)1. バンを含む。  
 2. カローラにはカローラスパシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。  
 3. ハイラックスの累計生産台数にはT100を含む。  
 4. カムリにはアルティスを含む。累計にはカムリグラシアも含む。  
 5. RAV4はEVを除く。  
 6. クラウンにはクラウンコンフォート、クラウンエステートを含む。  
 7. コンフォートには教習車を含む。  
 8. マークIIにはマークIIプリットを含む。  
 9. bBにはbBオープンデッキを含む。  
 10. アルテッツァにはアルテッツァジータを含む。  
 11. タウンエースの累計生産台数にはマスターエースを含む。  
 12. コースターの累計生産台数は1965年以降の台数。それ以前はダイナに含まれる。  
 13. 1986年以前の輸出用スーブラはセリカを含む。  
 14. トヨエース・ダイナにはクイックデリバリー、アーバンサポーターを含む。  
 15. グランビアにはランドハイエース、ハイメディック、救急車を含む。

※海外生産台数(主なもの)

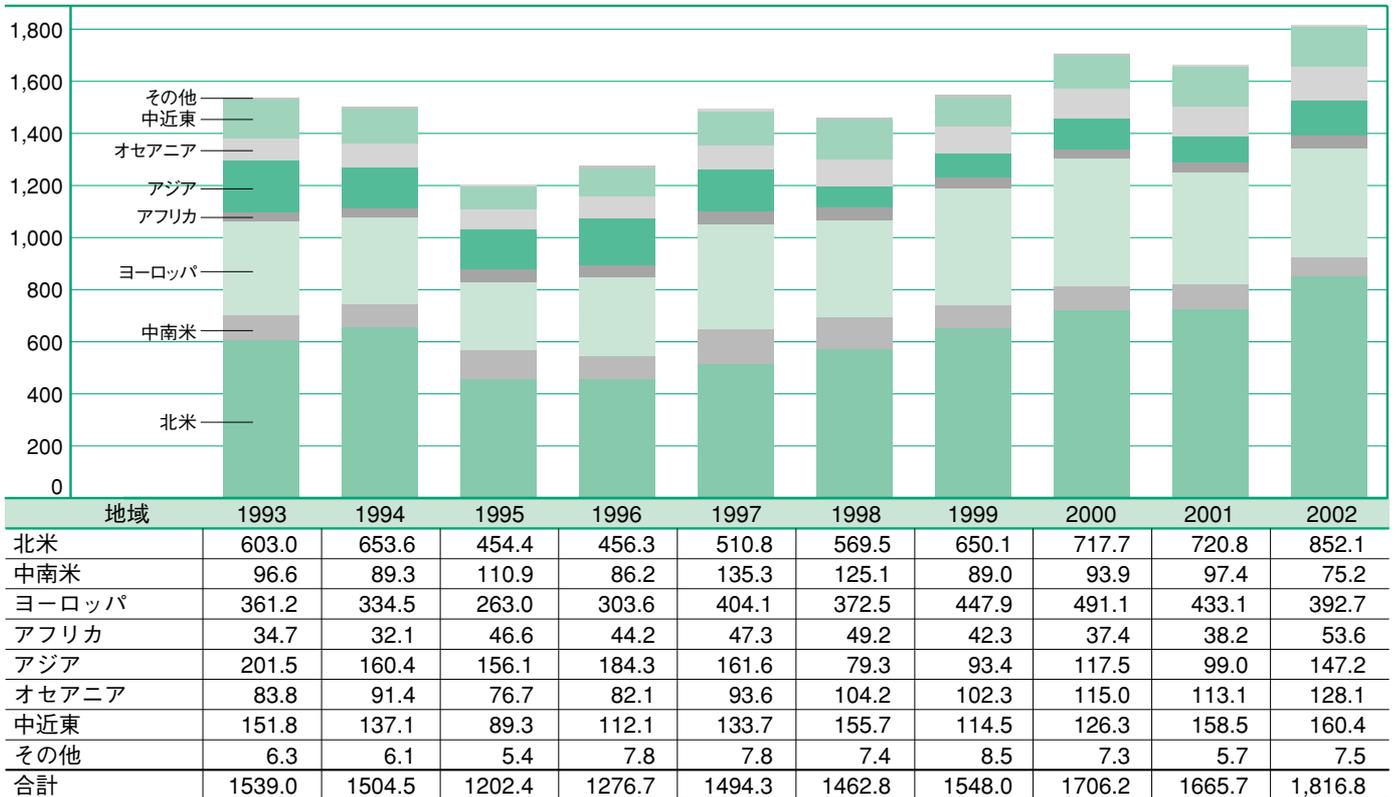
車名	生産開始年	2002年 生産台数	2002年 までの累計
カローラ	1979	635,663	5,317,330
カムリ	1987	484,596	4,794,905
タコマ	1995	164,535	1,200,813
ハイラックス <sup>*1</sup>	1981	112,534	1,585,851
TUV	1979	110,216	1,393,110
タンドラ	1999	109,022	379,044
シエナ	1997	96,403	555,352
アバロン	1994	84,176	739,727
シクォイア	2000	77,550	163,858
コロナ/アベンシス	1979	71,304	1,588,155
クオリス	1999	26,030	76,242
ソルーナ	1996	19,351	111,626
ヴォルツ	2002	8,108	8,108
ハイエース	1989	7,296	99,575

- 注)1. 海外生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。  
 2. カローラにはマトリックスを含む。  
 3. カムリにはカムリソラーラを含む。  
 4. ※1タイで生産のオーストラリア向けCKDは含まず。

生産・販売・輸出  
車名別国内生産台数

トヨタ車の地域別輸出台数

(単位：千台)



注) 地域区分は日本自動車工業会に基づく。

資料：トヨタ自動車

トヨタ車の車名別輸出台数

(単位：台)

車名	輸出開始年	2002年輸出台数	2002年までの輸出累計
ハイラックス	1968	233,209	8,684,383
RAV4	1994	229,744	1,045,156
カローラ	1966	225,443	10,894,222
ヤリス/エコー(ヴィッツ/プラッツ/ファンカーゴ)	1998	198,266	1,095,485
ランドクルーザー	1952	157,657	3,396,413
カムリ/カムリCNG	1982	148,258	2,902,978
ハイランダー(クルーザーV)	2000	139,773	252,599
ES300(ウインダム)**	1989	85,338	610,014
RX300/330(ハリヤー)**	1997	82,810	403,772
ハイエース	1967	58,435	1,930,619
セリカ	1970	35,183	3,260,456
IS200/300(アルテッツァ)**	1998	33,992	130,136
LS400/430(セルシオ)**	1989	32,707	413,370
プリウス	2000	24,259	53,131
ピクニック(イブサム)	1996	20,605	127,029
ダイナトヨエース	1957	19,816	830,703
GS300/430(アリスト)**	1993	19,712	230,552
プレビア(エスティマ)	1990	17,224	422,725
SC300/400/430(ソアラ)**	1991	16,667	122,219
LX450/470(ランドクルーザージグナス)**	1995	12,189	90,569
MR-S	1984	8,782	231,502
コースター	1969	6,144	174,260
クラウン	1954	4,591	739,353
GX470(ランドクルーザー)**	2002	4,255	4,255
ライトエース/タウンエース	1971	1,713	429,968
センチュリー	1967	6	99

注) 1. \*\*はレクサスブランド。他はトヨタブランド。  
 2. ハイラックスは4ランナーを含む。  
 3. RAV4はEVを含む。  
 4. カローラはカローラスパシオを含む。  
 5. ハイエースはグランビアを含む。  
 6. MR-Sの累計台数はMR2を含む。  
 7. ( ) 内は日本名。

資料：トヨタ自動車

トヨタ車の車名別国内登録台数

車名	販売開始年	2002年登録台数	2002年までの累計
カローラ	1966	243,502	10,899,518
イスト	2002	103,582	103,582
ヴェイツ	1999	100,801	560,696
エスティマ	1990	95,771	1,112,262
(内エスティマハイブリッド)	2001	11,602	17,488
ノア	2001	93,744	104,511
ヴォクシー	2001	81,299	90,471
クラウン	1955	68,803	4,622,366
(内マイルドハイブリッド)	2001	1,631	3,205
マークII	1968	59,301	4,735,460
プレミオ	2001	59,123	60,686
ファンカーゴ	1999	57,527	281,034
アルファード	2002	53,432	53,432
イプサム	1996	51,947	441,084
アリオン	2001	50,423	51,917
ハイエース	1967	49,247	2,456,982
bB	2000	43,821	198,876
カルディナ	1992	31,730	725,985
プロボックス	2002	25,971	25,971
ブラッツ	1999	24,893	139,549
ランドクルーザー	1951	23,929	578,538
デュエット	1998	22,601	108,114
アレックス	2001	21,391	56,771
サクシード	2002	17,546	17,546
タウンエース	1976	17,278	2,057,631
ガイア	1998	16,794	139,598
アルテッツァ	1998	14,620	97,471
セルシオ	1989	14,604	320,664
RAV4	1994	13,710	318,441
クルーガーV	2000	13,642	38,822
オーバ	2000	13,513	65,263
ダイナ	1956	13,373	1,081,849
ハイラックス	1968	13,318	1,106,409
ビスタ	1982	13,017	730,136
コンフォート	1995	11,571	83,073

注) 1. バンを含む。  
 2. クラウンにはクラウンコンフォート、クラウンエステートを含む。  
 3. マークIIにはマークIIブリットを含む。  
 4. カムリの累計登録台数にはカムリグラシアを含む。  
 5. アルテッツァにはアルテッツァジャータを含む。  
 6. ビスタにはビスタアルデオを含む。

7. カローラにはカローラスパシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。  
 8. bBにはbBオープンデッキを含む。  
 9. コンフォートには教習車を含む。  
 10. ハイエースにはグラントハイエース、ツーリングハイエースを含む。  
 11. ダイナ、トヨエースにはアーバンサポーターを含む。

車名	販売開始年	2002年登録台数	2002年までの累計
レジアス	1997	11,052	146,187
ライトエース	1970	10,990	1,693,784
カムリ	1980	9,685	1,175,992
ハリアー	1997	9,521	133,303
ヴェロッサ	2001	9,059	19,942
トヨエース	1954	8,810	1,264,719
プレビス	2001	8,698	20,473
WILL サイファ	2002	8,103	8,103
プリウス	1997	6,697	63,432
ウィンダム	1991	6,638	218,583
WILL VS	2001	6,351	12,863
プログレ	1998	5,146	65,018
アリスト	1991	4,956	138,164
ラウム	1997	4,840	166,275
ヴォルツ	2002	4,453	4,453
キャミ	1999	4,284	35,207
ナディア	1998	3,401	77,132
スプリンター	1968	3,071	3,030,371
セリカ	1970	2,842	858,593
MR-S	1999	2,132	13,998
コースター	1963	1,707	128,332
スパーク	2000	1,537	8,667
ソアラ	1981	1,272	341,306
スプリンターカリブ	1982	1,121	362,263
グランビア	1995	900	79,063
クイックデリバリー	1995	869	14,252
コロナ	1957	769	5,453,934
プロナード	2000	744	7,169
カリーナ	1970	544	3,799,518
センチュリー	1967	474	37,659
WILL Vi	2000	463	16,563
スーブラ	1986	342	121,788
ハイメディック	1997	254	1,264
トヨタFCHV	2002	7	7

資料：トヨタ自動車



(注) ◎：併産 ○：単独 △：シャシーのみ生産

	エンジン(リットル)														最終組立工場																									
	ガソリン					ディーゼル					LPG		電気モーター	CNG		トヨタ					ボディメーカー																			
	2.0	1.8	1.6	1.5	1.3	1.0	5.3	4.9	4.6	4.2	4.1	3.7		3.0	2.2	1.4	4.1	2.7	2.0	5.0	4.1	本社工場	元町工場	高岡工場		堤工場	田原工場	NUMMI	TMMK	トヨタ車体	関東自動車工業	セントラル自動車	アライ	岐阜車体工業	ダイハツ工業	日野自動車	豊田自動織機	トヨタ自動車九州		
									●			●								△				◎					◎										1	
	●						●	●	●		●	●	●				●	●		●	△							◎			◎		◎						2	
	● <sup>5)</sup>																●	● <sup>5)</sup>			◎			◎			◎											3		
				● <sup>2)</sup>			●		●	●							●	● <sup>2)</sup>			△							○											4	
		●		●	●									●								◎						◎	◎							◎			5	
																	●											○											6	
	●											●															◎			◎									7	
	●											●												◎										◎					8	
	●																				◎							◎											9	
		●																										○											10	
		●												●							△							○											11	
		●												●							△							○											12	
																								○															13	
																												○												14
	●	●																						○															15	
																									○															16
																												○												17
																									◎			◎												18
																										○														19
																													○											20
	●	●																						○															21	
	●	●																						◎												◎			22	
	●																●										○												23	
																									○															24
	●												●														○													25
				●																								○												26
			● <sup>2)</sup>	●														● <sup>2)</sup>						○																27
																																						○		28
																																								29
	●												●														○													30

6) カローラスパシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。 7) ハイラックスサーフを含む。 8) マークIIブリットを含む。 9) ビスタアルデオを含む。 10) 教習車を含む。

生産・販売・輸出  
国内販売車両一覧





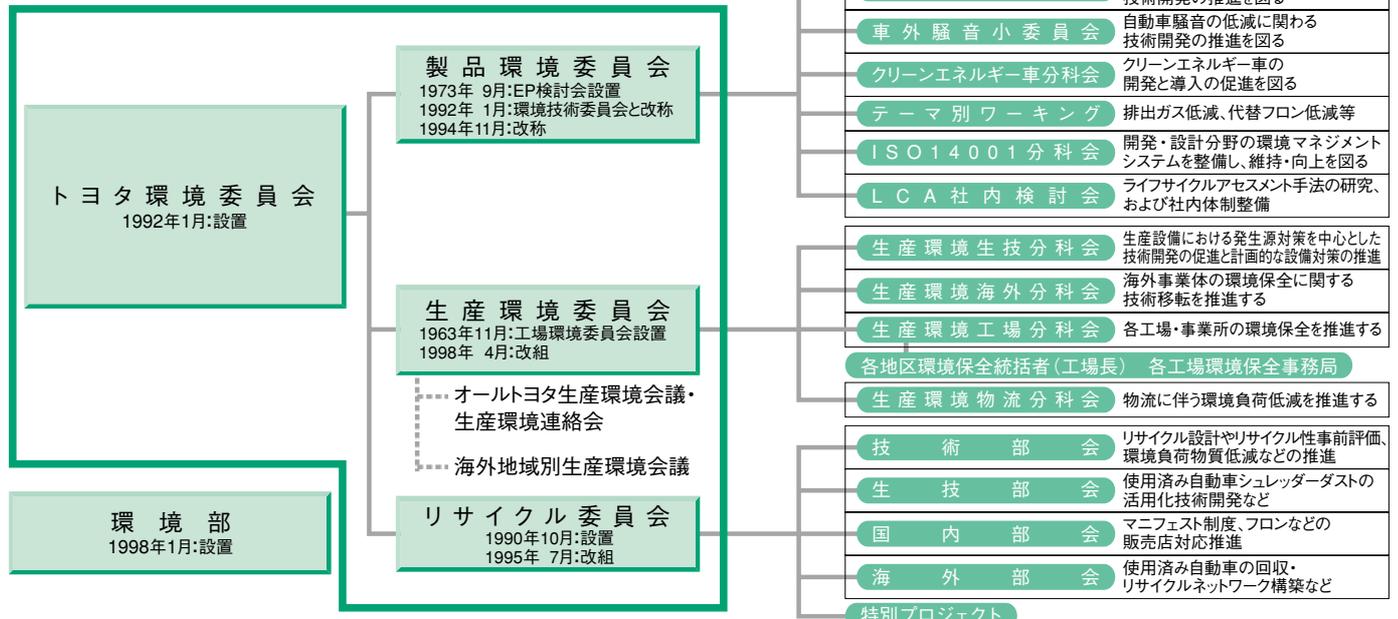
トヨタは1992年1月に「地球環境に関するトヨタの取り組み方針（通称：トヨタ地球環境憲章）」を制定し、1993年2月にはこれをより具体的に企業活動へ反映させるため「トヨタ環境取り組みプラン」を策定しました。2001年より2005年度目標を定めた第3次取り組みプランに基づく活動を開始し、目標達成に向け取り組みを進めています。

■「トヨタ地球環境憲章」と「トヨタ環境取り組みプラン」

トヨタ地球環境憲章（通称）		トヨタ環境取り組みプラン（第3次：2001年～2005年）	
基本方針	行動指針	項目	具体的な実施事項・目標等（抜粋）
豊かな21世紀社会への貢献	1.すべての段階でゼロエミッションに挑戦	①燃費の向上	・国内新燃費基準の早期達成
		②排出ガスの低減	・ガソリン車の一層の低エミッション化 ・クリーンディーゼル車の開発、導入
		③クリーンエネルギー車の開発	・普及拡大に向けたハイブリッドシステムの一層のレベルアップと搭載車種の拡充 ・燃料電池車（FCHV）の開発と早期導入
		④リサイクル性の向上	・2015年リサイクル実効率95%に対応するリサイクル設計を2005年までに車両へ織り込み
		⑤環境負荷物質含有量の管理・低減	・水銀、カドミウム、砒素の使用廃止と鉛、六価クロムの使用低減
		⑥車の騒音の低減	・燃費向上、排ガス低減との両立をはかった騒音低減技術の開発
		⑦エアコンの温暖化対応	・CO <sub>2</sub> 冷媒エアコンの開発等
		⑧温暖化防止対策の推進	・CO <sub>2</sub> 総排出量を1990年度比で2005年度末までに5%、2010年度末までに10%低減
		⑨環境負荷物質の管理・低減	・VOC（塗装溶剤排出量）を2005年度末までに全ライン平均35g/mi以下 ・PRTR*対象物質を2005年度末までに1998年度比50%減
		⑩廃棄物低減と省資源	・2003年度末までに全工場で埋立廃棄物ゼロ ・焼却廃棄物を2005年度末までに1990年度比1/3以下
		⑪水資源の節約	・車両工場の水使用量を2005年度末までに台あたり原単位を1995年度比20%減
		⑫物流合理化の推進	・輸送効率の向上によりCO <sub>2</sub> 総排出量を1990年度以下に安定
		⑬総合的な事前評価体制の整備	・生産・使用・廃棄の各段階での環境負荷物質管理基準、低減目標への製品別適合状況フォロー体制の充実
		環境技術の追求	(2) 排出物を出さない生産活動の追求
⑮仕入先との活動充実	・環境マネジメントシステム整備の促進・支援とトヨタ基準に基づく環境負荷物質管理の徹底 ・グリーン購入の100%化（2003年）		
⑯販売店との活動充実	・環境マネジメントシステムの整備、及びトヨタ販売店環境基準目標達成の促進・支援		
⑰リサイクルシステムの整備	・95%リサイクル処理技術の実証と提案 ・政府、自治体、関連業界との連携による、製造から廃車処理までの自動車リサイクルシステム構築への参画		
⑱交通システムの研究と提言	・渋滞対策等環境改善に資する道路交通政策の研究と提言		
⑲環境基礎研究の充実と提言	・自動車排ガスの沿道環境への影響実態調査、及び生体影響調査・研究の推進		
⑳社会貢献活動の推進	・里山資源の新たな活用研究・試行、及び市民活動と連携した森づくり、環境教育の実施		
㉑広報活動の展開	・環境報告書の充実と継続発行		
㉒従業員への教育・啓発活動	・全社員教育の体系的実施と充実		
㉓総合的な環境マネジメントの推進	・連結環境マネジメント体制の整備と推進		
自主的な取り組み	2.関係会社との協力	⑰リサイクルシステムの整備	・95%リサイクル処理技術の実証と提案 ・政府、自治体、関連業界との連携による、製造から廃車処理までの自動車リサイクルシステム構築への参画
		⑱交通システムの研究と提言	・渋滞対策等環境改善に資する道路交通政策の研究と提言
		⑲環境基礎研究の充実と提言	・自動車排ガスの沿道環境への影響実態調査、及び生体影響調査・研究の推進
		⑳社会貢献活動の推進	・里山資源の新たな活用研究・試行、及び市民活動と連携した森づくり、環境教育の実施
社会との連携・協力	3.社会的取り組み	(1) 循環型社会づくりへの参画	・95%リサイクル処理技術の実証と提案 ・政府、自治体、関連業界との連携による、製造から廃車処理までの自動車リサイクルシステム構築への参画
		(2) 環境政策への協力	・渋滞対策等環境改善に資する道路交通政策の研究と提言
		(3) 事業活動以外でも貢献	・自動車排ガスの沿道環境への影響実態調査、及び生体影響調査・研究の推進
		⑳社会貢献活動の推進	・里山資源の新たな活用研究・試行、及び市民活動と連携した森づくり、環境教育の実施
環境部	4.情報開示	㉑広報活動の展開	・環境報告書の充実と継続発行
		㉒従業員への教育・啓発活動	・全社員教育の体系的実施と充実
		㉓総合的な環境マネジメントの推進	・連結環境マネジメント体制の整備と推進
	<取り組み体制>	㉓総合的な環境マネジメントの推進	・連結環境マネジメント体制の整備と推進

※環境汚染物質排出・移動登録

■環境問題への社内対応組織

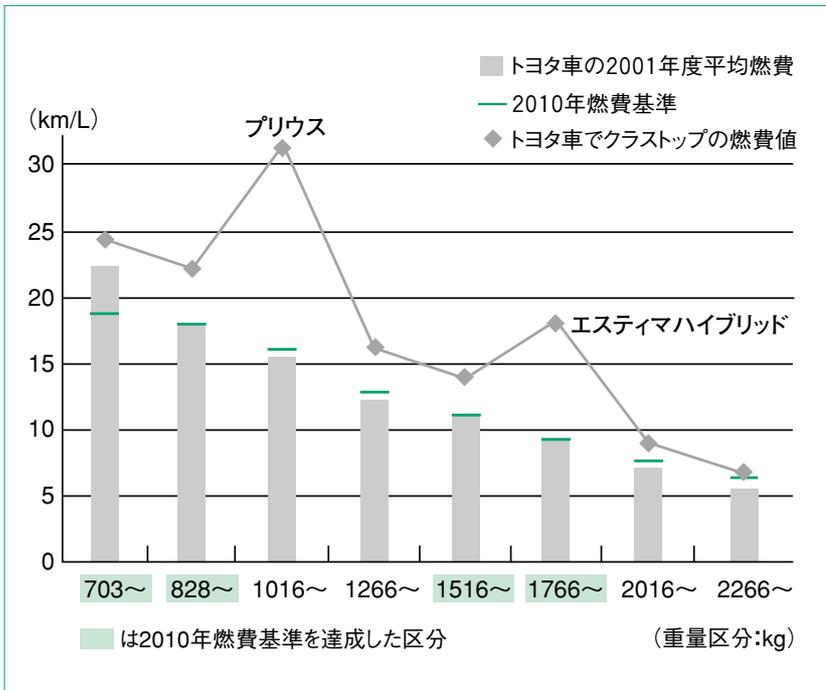


持続可能なモビリティ社会を実現するため、自動車は燃費向上と排出ガス低減に最大限に取り組むことが重要です。トヨタでは、新世代エンジンや新しい排出ガス低減システムの開発・導入などにより、2010年燃費基準の早期達成と超一低排出ガスレベル達成車の拡大を進めています。

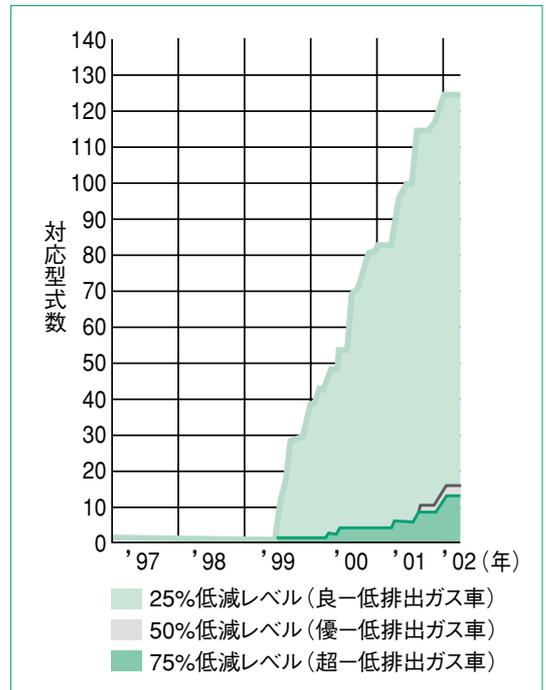
2001年度には、重量クラス別8区分のうち4区分の平均燃費で基準を達成し、総生産台数の半数以上に達しています。また、同基準をクリアし、かつ超一低排出ガスレベルを達成した、グリーン購入法※における政府公用車基準の適合車種は、2003年2月末現在、25車種に拡大しました。

※「国等による環境物品等の調達等に関する法律」で、環境配慮製品の普及促進を図るため、国などの公的機関が積極的にグリーン購入することを制定。

■ 2010年燃費基準とトヨタ車の燃費実績



■ ガソリン車平成12年排出ガス規制レベル対応型式数の推移

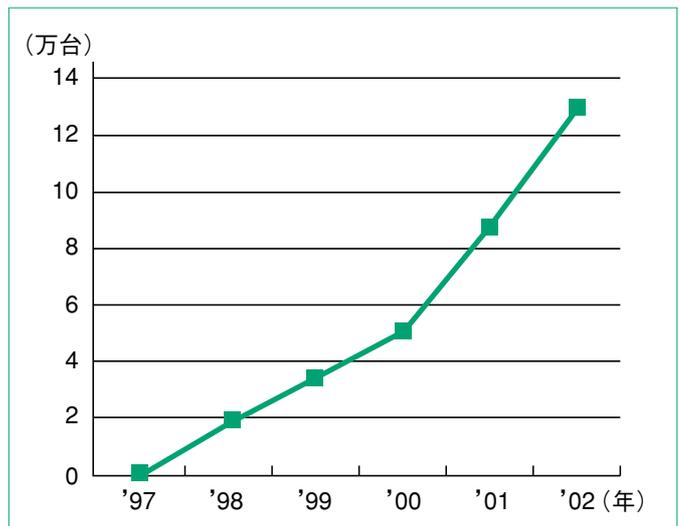


プリウスに加え、エスティマハイブリッド、クラウンマイルドハイブリッドを国内市場に投入し、2002年末現在、ハイブリッド車の累計販売台数は国内外合せ13万台を突破しました。また、2002年12月には燃料電池ハイブリッド車「トヨタFCHV」の限定販売を開始し、日米で6台の車両を納車しました。このクルマは1年間で日米合わせて20台程度リース販売する計画です。

■ 燃料電池ハイブリッド車「トヨタ FCHV」



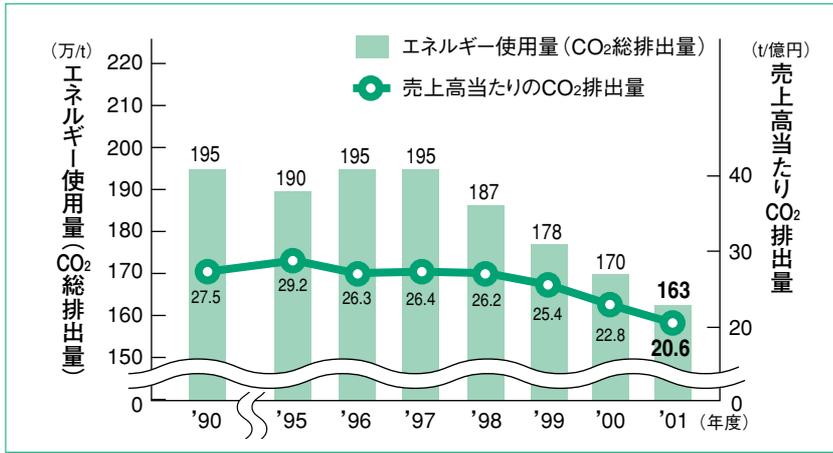
■ ハイブリッド車の累計販売台数(全世界)



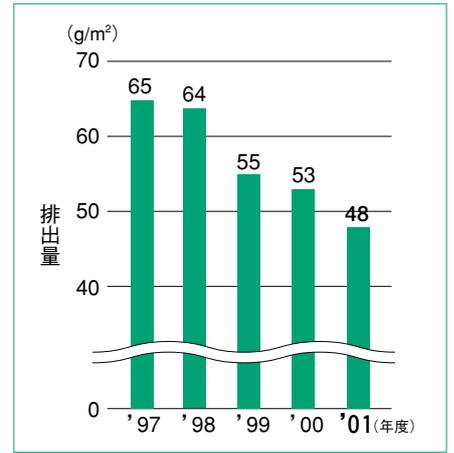
環境対策  
燃費・排出ガス対策

トヨタでは地球温暖化防止のため、2005年を目標とした生産工程でのCO<sub>2</sub>低減シナリオに基づき、省エネルギー対策等を推進し、自動車生産工程における2001年度のCO<sub>2</sub>総排出量は、前年度比4%減、売上高当たりで10%の削減を達成しました。また、揮発性有機化合物(VOC)については、水性塗料の採用など塗料の変更や洗浄シンナーの使用量低減と回収率向上により、全ライン平均、原単位あたりで約10%の削減を達成しました。

■自動車生産工程におけるエネルギー使用量と売上高当たりのCO<sub>2</sub>排出量の推移

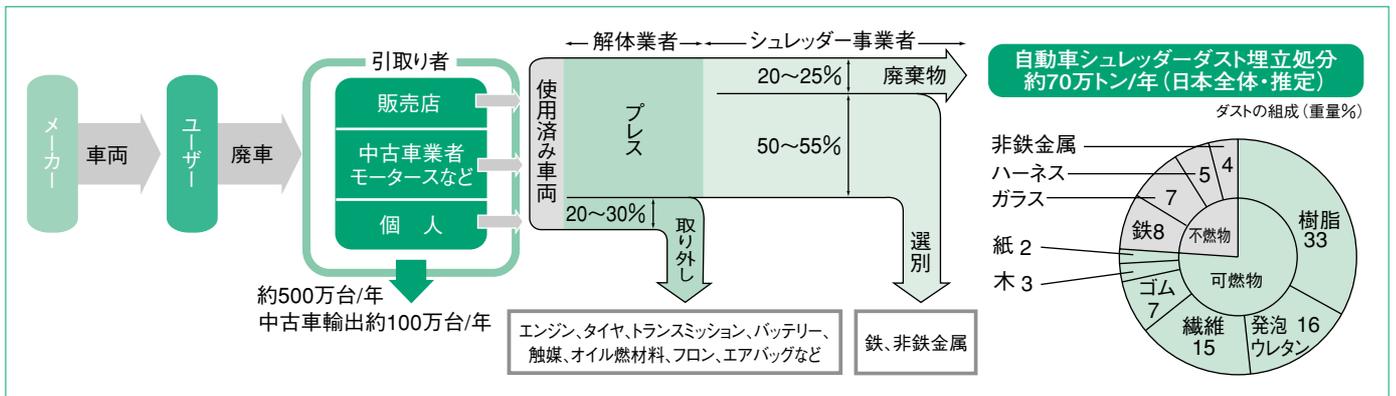


■VOC排出量(全ライン平均)の推移



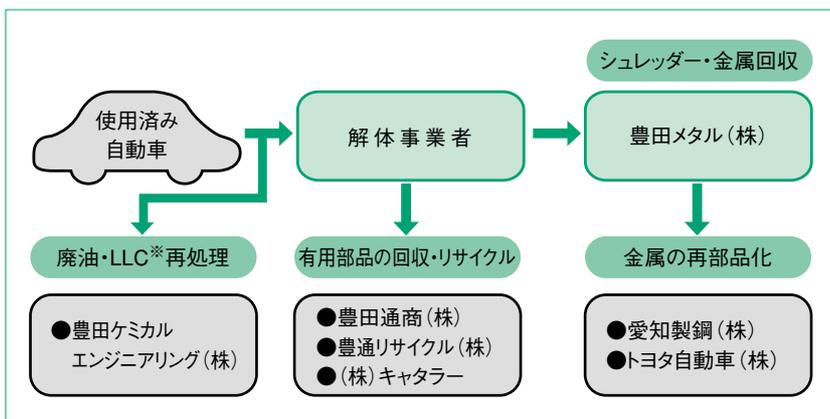
自動車のリサイクルは一企業だけで完結できるものではなく、トヨタでは1970年より関連企業と連携してリサイクルへの取り組みを進めてきました。2002年7月に制定された「使用済自動車の再資源化等に関する法律」(自動車リサイクル法)の審議にあたって、既存システムの尊重とより高度・高効率な社会コストミニマムとなる最適なシステムの構築を基本的な考え方として、積極的に参画してきました。また、2002年12月にはサーマルリサイクルの実証プラントを豊田メタル(株)半田工場内に建設し、同法で自動車メーカーの引き取り責任となったシュレッダーダストリサイクルの一層の促進とリサイクル費用低減を図るべく、実証試験の完了を2003年中頃を目処に進めています。

■使用済み自動車の処理ルート(日本)



資料：日本自動車工業会

■トヨタの使用済み自動車のリサイクルシステム



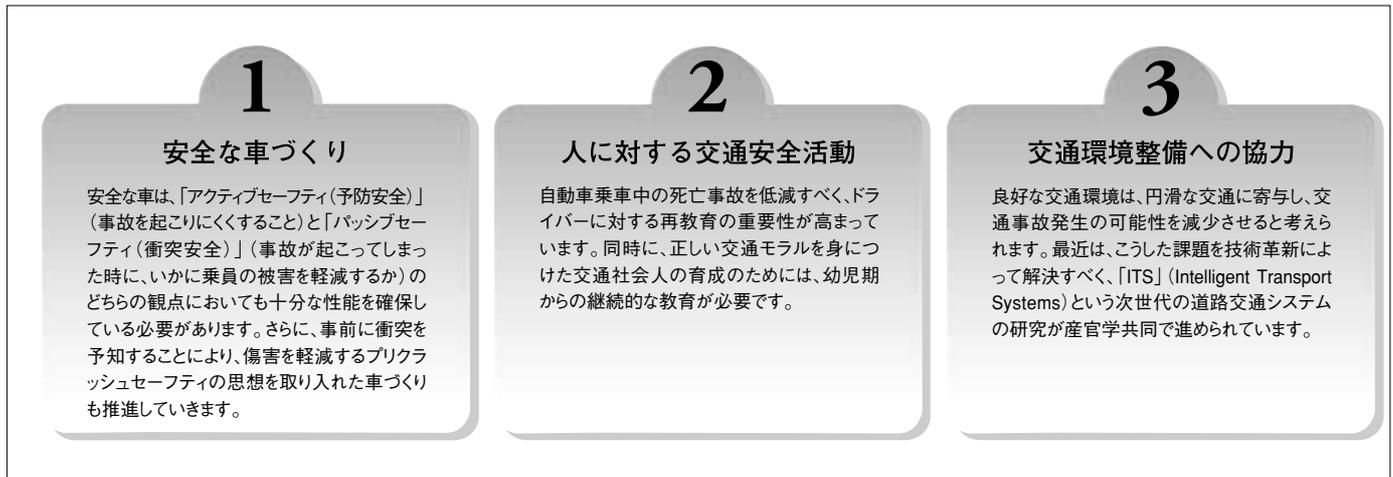
\* LLC：ロング・ライフ・クーラント(エンジン冷却液)



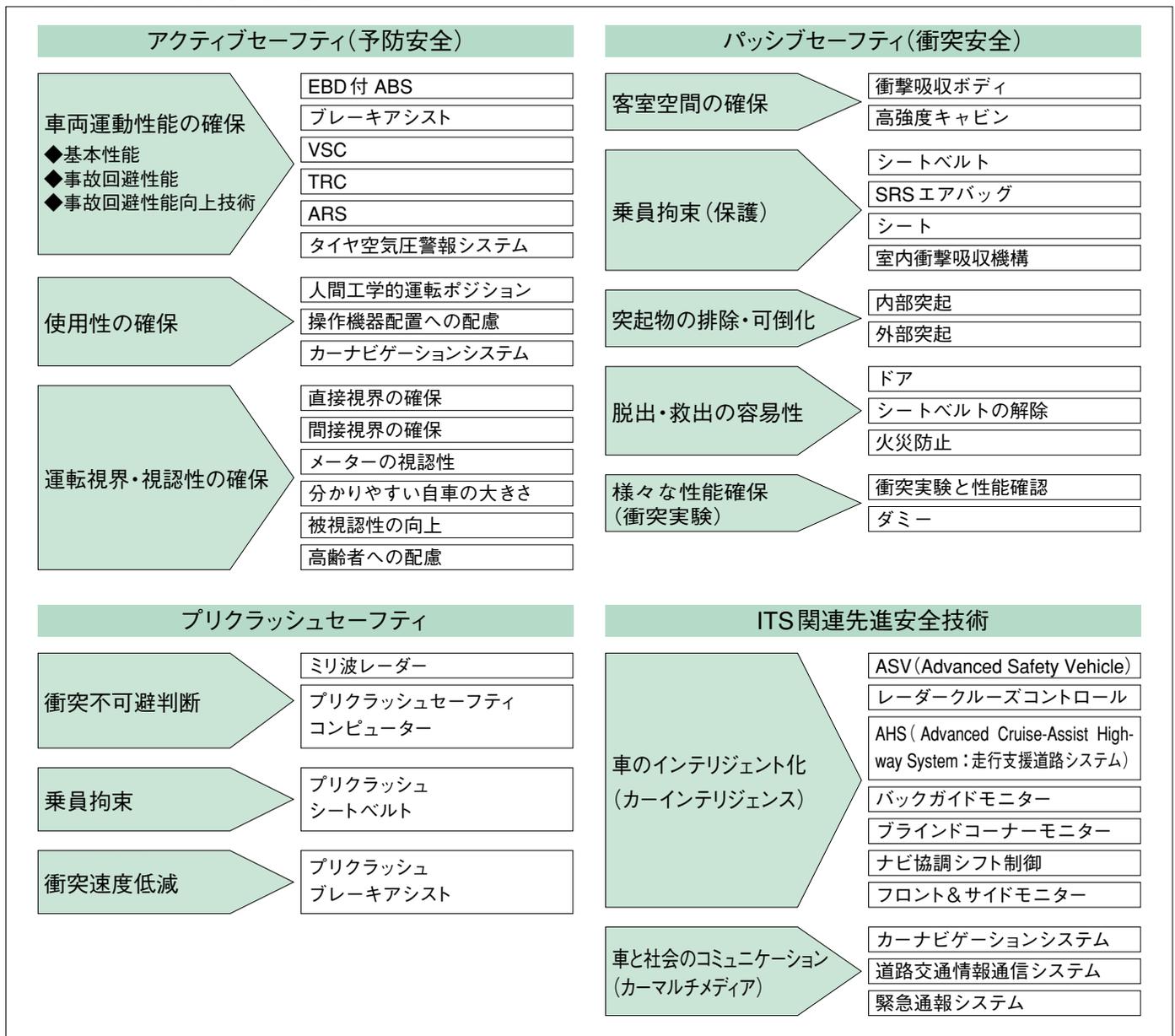
自動車シュレッダーダストサーマルリサイクル実証プラント(愛知県半田市)

交通安全の実現のためには、車の安全性のみならず、それを利用する人々や、交通環境についても考慮する必要があります。これらのことを踏まえ、トヨタは総合的な視点で、積極的な取り組みを続けています。

■交通安全に取り組む際の3つの視点

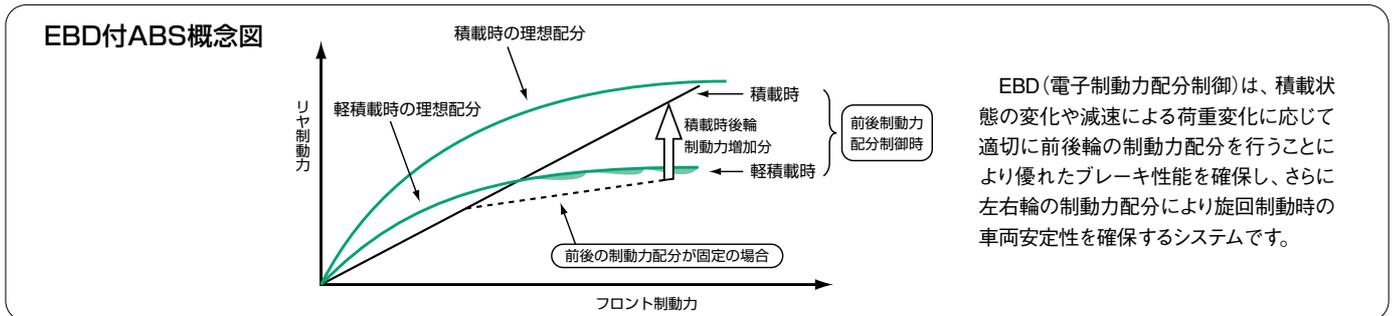


■安全な車づくりの具体的な取り組み



アクティブセーフティの基本は、車の本来の機能(安全の重要度からいえば「止まる」「曲がる」「走る」)がドライバーの意図通りに発揮できることです。トヨタは、最新の技術を駆使して常にこの3性能の向上に努めています。また内外から多くの事故データを入力し、コンピューターによる衝突シミュレーション、年間1,000台を超える実車衝突実験を繰り返しながら、安全なボディ構造の追及、乗員保護装置の開発などを実施し、人の傷害をできるだけ少なくする車づくりを推進しています。

■アクティブセーフティ関連技術の例：EBD (Electronic Brake force Distribution) 付ABS



■パッシブセーフティ関連技術の例：「GOA」ボディ (GOA: Global Outstanding Assessment 世界トップレベルの安全性評価)

64km/h オフセット前面衝突実験の様子



GOAは、「衝撃吸収ボディ」と「高強度キャビン」があいまって乗員の生存空間を確保し、同一排気量クラスで世界トップレベルの乗員保護性能を追求した衝突安全ボディです。このGOAは1995年12月、当時トヨタのラインアップでは最も小さなスターレットから採用を開始し、現在までにはほぼ全ての乗用車(含むRV)に展開を済ませました。そして、クラス世界トップレベルを維持するために試験条件・性能目標を常に進化させています。例えば、実車衝突実験では55km/hのフルラップ前面衝突、64km/hでのオフセット前面衝突、55km/hでの側面衝突とそれぞれ速度を高め、より厳しい試験条件のもとでGOAの進化を達成しています。

■主要安全装備の充実(2003年3月現在、RVを含む乗用車系)

主要な安全装備については、2001年3月に策定した「安全技術採用拡大計画」に基づいて、2005年までにRVを含む乗用車系のほぼ全ての車種への採用を推進しています。

アクティブセーフティ	事故回避性能向上	EBD付きABS	ABSは全車標準装備完了。 センチュリー、セルシオ、プレビス、プログレ、プロナード、ウィンダム、ソアラ、マークII、ヴェロッサ、カムリ、オーバ、ナディア、プレミオ、アリオン、プリウス、セリカ、WiLL VS、カローラ、アレックス、bB、プラッツ、ファンカーゴ、ヴィッツ、デュエット、エスティマT,L、エスティマハイブリッド、ガイア、イプサム、ヴォクシー、ノア、クルーガーV、RAV4L,J、キャミ、カルディナ、ヴォルツ、ウィッシュ、ハリアー、イスト、ハイラックスサーフの全車、及びクラウン、アルテッツァ、アルファード、ハイエース、ランドクルーザーに装着車を設定(順次装着車を拡大)。	
		VSC	センチュリー、セルシオ、アリスト、プレビス、プログレ、プロナード、ソアラ、エスティマハイブリッドの全車、及びクラウン、ウィンダム、マークII、ヴェロッサ、アルテッツァ、カルディナ、カローラ、デュエット、ハイエース、エスティマT,L、イプサム、ヴォクシー、ノア、ランドクルーザー、ハリアー、クルーガーVに装着車を設定(順次装着車を拡大)。	
		ブレーキアシスト	センチュリー、セルシオ、クラウン、アリスト、プレビス、プログレ、プロナード、ウィンダム、ソアラ、マークII、ヴェロッサ、カムリ、ナディア、プレミオ、アリオン、WiLL VS、カローラ、アレックス、ラウム、bB、プラッツ、ファンカーゴ、ヴィッツ、エスティマハイブリッド、ガイア、イプサム、ヴォクシー、ノア、ハリアー、クルーガーV、RAV4L,J、ウィッシュの全車及びアルテッツァ、カルディナ、ハイエース、エスティマT,L、ランドクルーザーに装着車を設定(順次装着車を拡大)。	
プリクラッシュセーフティ	衝突被害軽減	プリクラッシュセーフティシステム(レーダー方式)	ハリアーに装着車を設定。	
パッシブセーフティ	乗員拘束(保護)	客室空間	GOA	新型車に順次採用し、ほぼ全ての乗用車(含むRV)に拡大。
			プリテンショナー&フォースリミッター付シートベルト	新型車に順次採用し、ほぼ全ての乗用車(含むRV)に拡大。
			デュアルステージSRSエアバッグ	セルシオ、ウィンダム、ソアラ(助手席)、カムリ、ヴォルツに全車標準装備。
			SRSサイドエアバッグ	センチュリー(前後席)、セルシオ、アリスト、プログレ、プロナード、ウィンダム、ソアラに全車標準装備。クラウン、プレビス、マークII、ヴェロッサ、カムリ、アルテッツァ、セリカ、デュエット、イプサム、ヴォクシー、ノア、スーパーキー、ハリアー、クルーガーV、ウィッシュに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
			SRSカーテンシールドエアバッグ	セルシオ(前後席)、アリスト、ウィンダムに全車標準装備。クラウン、プレビス(前後席)、プログレ、マークII(前後席)、ヴェロッサ、カムリ、アルテッツァ、イプサム、ヴォクシー、ノア、ウィッシュに装着車を設定。

トヨタでは1969年に開始した「トヨタ交通安全キャンペーン」を中心に、シートベルト・チャイルドシートの着用啓発や実技講習会の実施など、「人」に対する幅広い交通安全活動を展開しています。

#### ■トヨタ交通安全キャンペーン

全国交通安全運動の期間に連動して、毎年春・秋に展開しています。

全国の車両販売店、L&F店、部品共販店、レンタリース店の449社と共同で行うこのキャンペーンは、各地域に根ざした活動として30年以上継続されています。

##### ①幼児安全啓発活動

1969年の交通安全キャンペーン開始当初から、毎年、全国の新入園児・保育園児に交通安全絵本を贈呈。累計で約9,400万部を配布しています。

2002年度は、絵本200万部と紙芝居4万4千部を贈呈しました。これらの中で、道路への急な飛び出しの危険、道路の正しい歩き方・渡り方に加え、保護者向けにチャイルドシートの正しい使い方等を解説しています。



##### ②シートベルト・チャイルドシート着用啓発活動

シートベルトの着用を安全の第一歩と考え、長年シートベルトの着用啓発に取り組んで来ました。1983年からは、啓発リーフレットの制作・配布に取り組み、近年ではシートベルト・チャイルドシートの正しい使い方やエアバックとの関わりなどへの理解を呼び掛けています。



#### ■トヨタ・ドライバーコミュニケーション

1987年に開始した安全運転実技講習会で、2002年度までに約7,800人が受講しています。この講習会は、車の限界挙動の体験やABS等の安全装備の効果と正しい使い方の習得を通じ、安全運転のレベルアップを図るプログラムです。2002年は、富士スピードウェイのほか、スポーツランドSUGO、トヨタ自動車九州、さらに東京臨海副都心のメガウェブにおいて、受講者のレベルに応じたきめ細かい講習を展開し、約800人が受講しました。



#### ■トヨタ・チャイルドセーフティコミュニケーション

チャイルドシートの必要性や正しい取り付け方について学ぶ体験型講習会です。2000年より「子供の安全ネットワーク・ジャパン\*」、(社)日本自動車連盟(JAF)との連携により、全国の産院・小児科などで、妊産婦・保護者を対象に開催しています。この活動は、内閣府より、チャイルドシート利用推進のためのモデル事業に選定(2000年度)されました。  
※1997年より全国の産婦人科医・小児科医を中心に小児の事故防護啓発活動を進める団体。



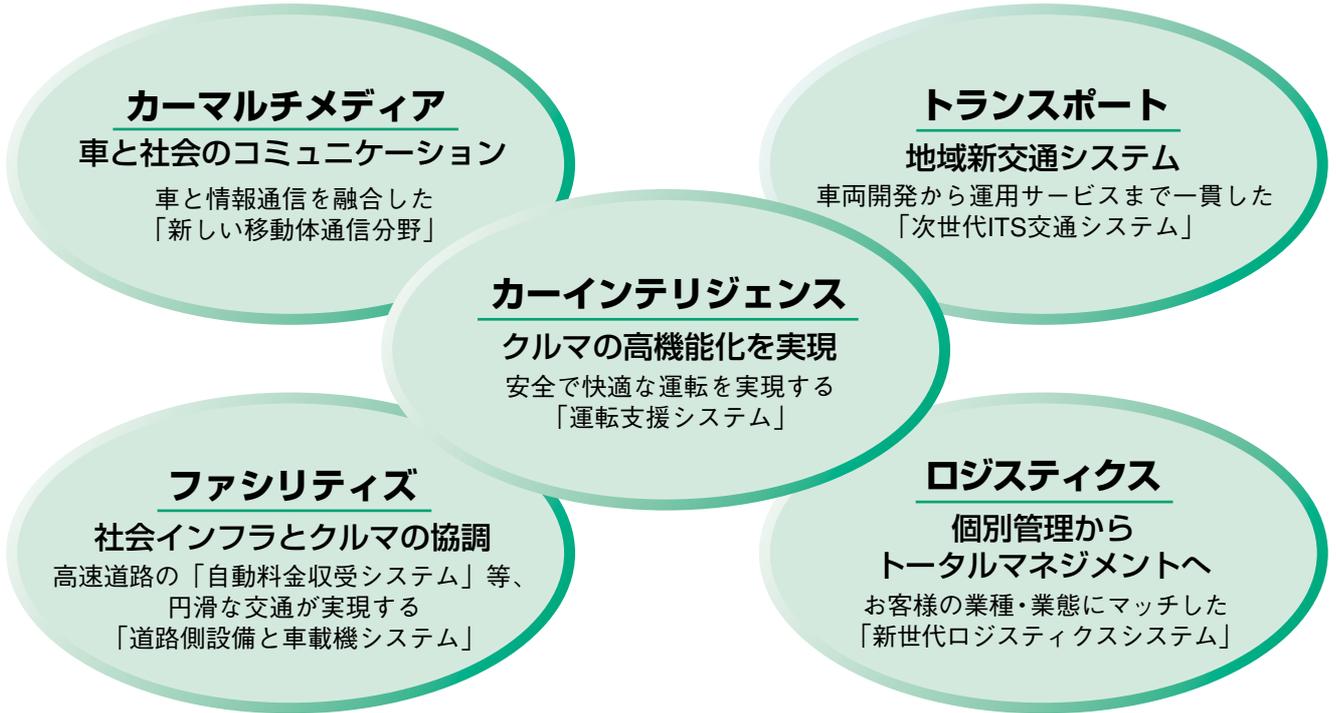
#### ■「トヨタサマースクール」「トヨタセーフティスクール」

地域交通安全活動の一環として愛知県内の子供たちを本社に招き、社員自ら実地指導する交通安全教室で、小学生向けの「トヨタサマースクール」は1969年より、また、幼児向けの「トヨタセーフティスクール」は1975年より毎年開催しています。2002年度は約10,000人が参加しました。



トヨタはITSをビジネスの側面だけではなく、自動車交通のもたらすさまざまな課題を解決する、21世紀の新しい社会システム提案の場として捉えています。そして中長期的な視点を持って、より整合性のあるモビリティ社会を構築するために、ITSの取り組むべき分野を5つに分け、これらを総合的、有機的に連携させることで、総合モビリティ企業として21世紀の調和ある成長を目指そうとしています。

■ITS事業ビジョン



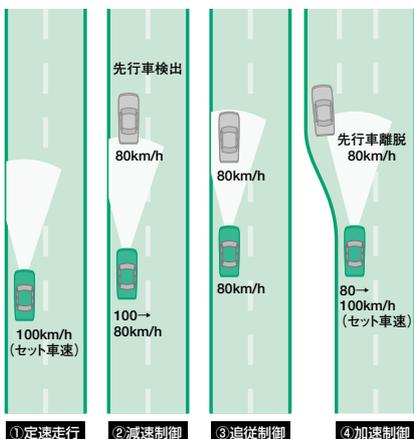
■クルマのインテリジェント化

高度な情報通信技術やセンシング技術を駆使し、障害物の見落とし、ブレーキの踏み遅れ、車線の逸脱等のヒューマン・エラーを何らかの形で補完し、安全を確保し、運転する楽しみを拡げる、いわば人間の五感を補う高機能の実現です。トヨタは、自律型システムの高機能化からインフラとの協調による将来の自動運転まで、ドライバーの多様なニーズにお応えするため、他に先駆けて、実用化に向け積極的に取り組んでおります。

■すでに商品化されたITS装備

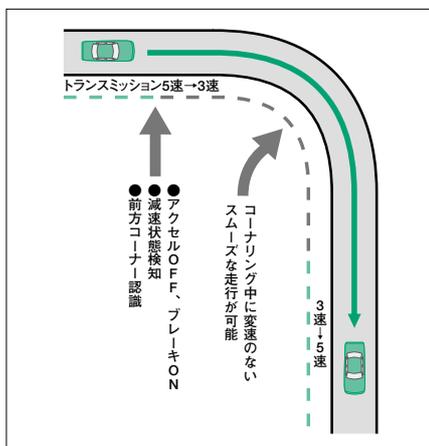
ブレーキ制御付レーダークルーズコントロール  
Radar Cruise Control

バンパー内に設置されたレーザーレーダーセンサーなどからの情報により、設定車速内で車速に比例した車間距離を保ちながら追従走行します。また必要に応じブレーキ制御による減速を行うことで、より実用性の高いシステムとしています。



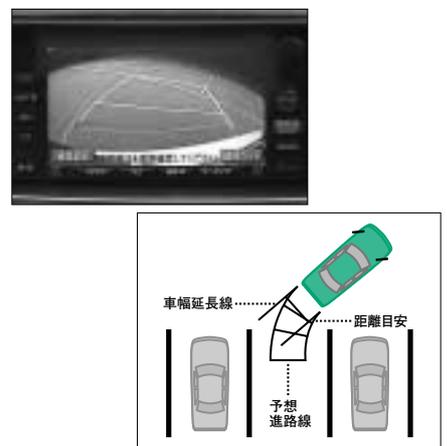
NAVI・AI-SHIFT

ナビでの経路案内中、ナビからの情報をもとにコーナーを認識し、ドライバーがコーナーの前でアクセルを離すと、自動的に5速から3速にシフトダウンし、コーナー走行時は3速を維持。コーナーを出た後、制御を解除するのでスムーズなコーナー走行が可能となります。



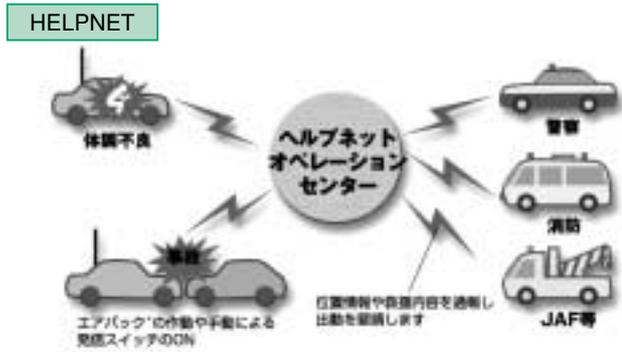
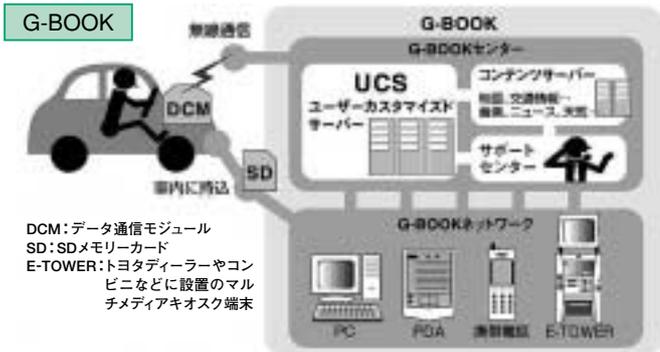
音声ガイド付バックガイドモニター(暗視機能付)  
Back Guide Monitor

後退時の予想進路をステアリングセンサーからの信号を用いて計算し、モニター画面上に表示することで、車庫入れ時や縦列駐車の手間なドライバーの後退運転をサポート。近赤外線透過型カラーバックガイドモニターカメラにより、夜間の視認性も向上しています。



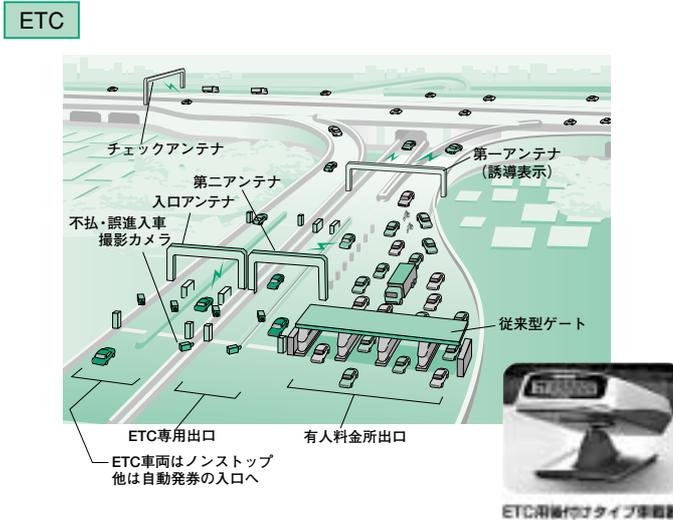
## ■カーマルチメディア

トヨタは長年の実績を持つ自動車と情報通信の融合によって生まれる新しい移動体通信分野を「カーマルチメディア事業」と位置づけ、インタラクティブな情報提供サービスに取り組んでいます。移動中の車からのリクエストに応じて、リアルタイムに旅行やドライブに役立つ情報を提供するサービスや交通事故・急病発生時に緊急センターを通じ、必要な情報を迅速に救援機関へ伝達するシステムなどを実用化しています。



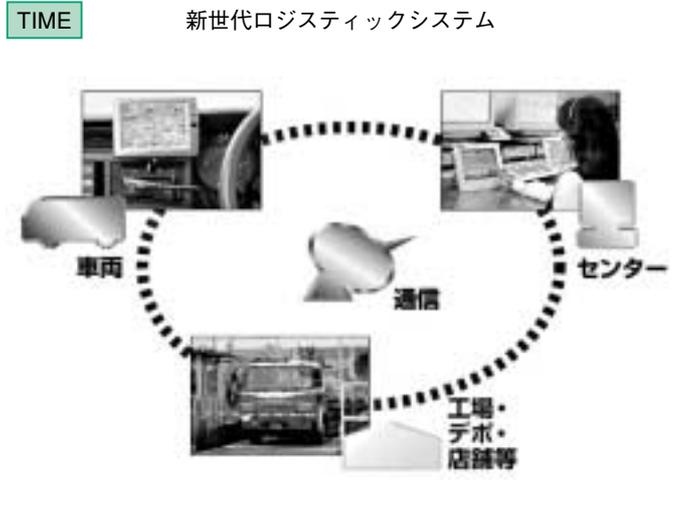
## ■ファシリティズ

車と社会インフラが協調しあうことは、ITSの大きな特色です。トヨタは自動車ユーザーの立場からも、より利用しやすい効果的な社会インフラのあり方を研究・提案しています。この分野の代表的システムであるETC（自動料金収受システム）では、世界の自動車交通や道路を知り尽くした立場から、道路形状や運用形態に応じた、様々なタイプを研究開発しています。



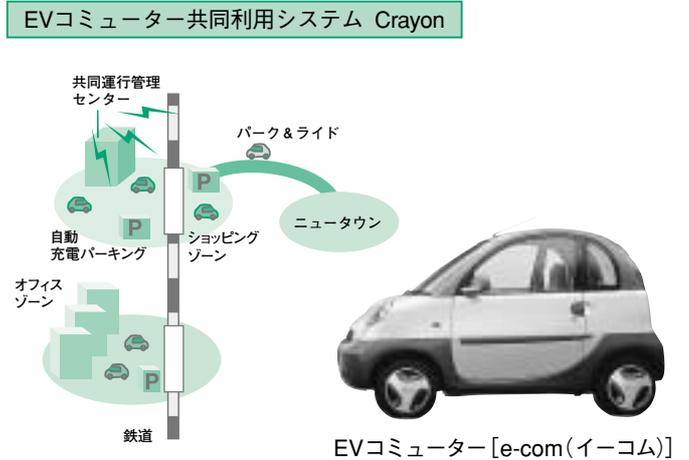
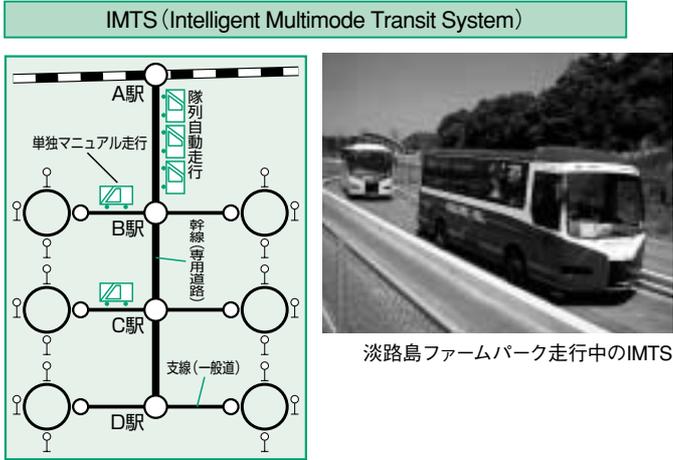
## ■ロジスティックス

物資の輸送ニーズが高まる中、従来のような単にモノを調達する、加工する、そして運ぶといったひとつひとつの機能で成り立っていた物流から、高度な通信技術を活用した総合的なロジスティックスの構築が必要となっています。トヨタは多様な部品や資材のアセンブル産業として永年蓄積したノウハウや技術を生かし、業種・業態に適合した総合的なシステムを提案・提供しています。



## ■トランスポート

トヨタは地域の交通全体のシステム改善に向け、従来の公共車両交通が持つ利点を取り入れ、その短所を改善した中距離・中量から短距離・パーソナルまで対応した次世代ITS交通システムの提案と事業化を目指しています。



# ウェルキャブ

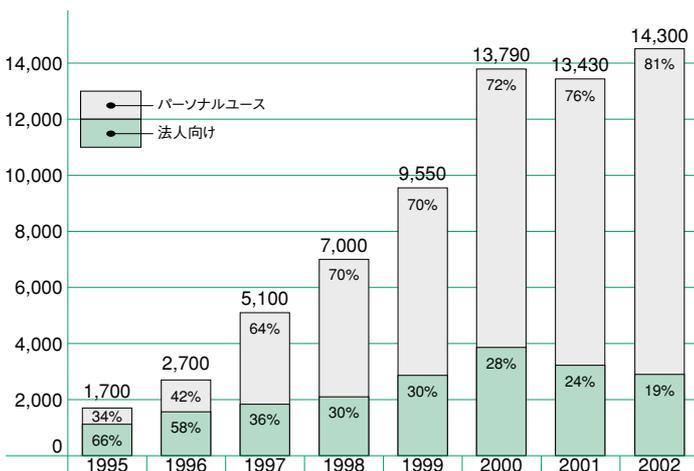
トヨタは「すべての方に快適な移動の自由をご提供する」ことを目指し、自立や介護をサポートする車両の開発・普及に積極的に取り組んでいます。

## ■ラインアップ

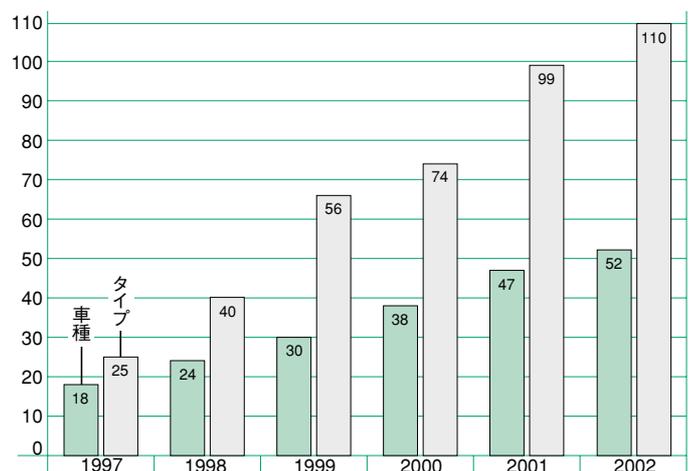
フレンドマチック車/ フレンドマチック 取付専用車	マークII <sup>Ⓟ</sup> マークIIプリット <sup>Ⓟ</sup> カムリ <sup>Ⓒ</sup> ビスタ <sup>Ⓟ</sup> ビスタ アルデオ <sup>Ⓟ</sup> ナディア <sup>Ⓒ</sup> プレミオ <sup>Ⓟ</sup> アリオン <sup>Ⓒ</sup>	カルディナ <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup> カローラ スパシオ <sup>Ⓒ</sup> カローラ <sup>Ⓒ</sup> カローラ フィールダー <sup>Ⓒ</sup> カローラ ランクス <sup>Ⓒ</sup> アレックス <sup>Ⓟ</sup> ラウム <sup>Ⓟ</sup> イスト <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup>	bB <sup>Ⓟ</sup> ブラッツ <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ファンカーゴ <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ヴィッツ <sup>Ⓟ</sup> エスティマT <sup>Ⓒ</sup> / <sup>Ⓟ</sup> L <sup>Ⓒ</sup> ガイア <sup>Ⓒ</sup> イブサム <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ウィッシュ <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup>	
助手席回転 スライドシート車	マークII <sup>Ⓟ</sup> マークIIプリット <sup>Ⓟ</sup> カムリ <sup>Ⓒ</sup> オーバ <sup>Ⓟ</sup> プレミオ <sup>Ⓟ</sup> アリオン <sup>Ⓒ</sup>	カルディナ <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup> カローラ <sup>Ⓒ</sup> カローラ フィールダー <sup>Ⓒ</sup> カローラ ランクス <sup>Ⓒ</sup> アレックス <sup>Ⓟ</sup> bB <sup>Ⓟ</sup>	イスト <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ファンカーゴ <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ブラッツ <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ヴィッツ <sup>Ⓟ</sup> ウィッシュ <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup>	
助手席回転 シート仕様	ビスタ <sup>Ⓟ</sup> ビスタ アルデオ <sup>Ⓟ</sup>	プリウス <sup>Ⓒ</sup> カローラ スパシオ <sup>Ⓒ</sup>	ラウム <sup>Ⓟ</sup>	
全自動助手席回転 スライドシート車	セルシオ <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup> プログレ <sup>Ⓒ</sup> クラウン ロイヤルシリーズ <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup>	クラウン エステート <sup>Ⓒ</sup> クラウン マジェスタ <sup>Ⓒ</sup> プレビス <sup>Ⓒ</sup>	マークII <sup>Ⓟ</sup> マークIIプリット <sup>Ⓟ</sup> カムリ <sup>Ⓒ</sup>	
全自動後席回転スライドシート車	セルシオ <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup>			
助手席リフト アップシート車	ビスタ <sup>Ⓟ</sup> ビスタ アルデオ <sup>Ⓟ</sup> オーバ <sup>Ⓟ</sup> ナディア <sup>Ⓒ</sup> カローラ スパシオ <sup>Ⓒ</sup> ラウム <sup>Ⓟ</sup> イスト <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> bB <sup>Ⓟ</sup>	bBオープンデッキ <sup>Ⓟ</sup> ファンカーゴ <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ブラッツ <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ヴィッツ <sup>Ⓟ</sup> アルファードG <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> /N <sup>Ⓟ</sup> エスティマT <sup>Ⓒ</sup> / <sup>Ⓟ</sup> L <sup>Ⓒ</sup> エスティマハイブリッド <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ガイア <sup>Ⓒ</sup>	イブサム <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ウィッシュ <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> ヴォクシー <sup>Ⓟ</sup> ノア <sup>Ⓒ</sup> ハリヤー <sup>Ⓟ</sup> クルーガーV <sup>Ⓟ</sup> RAV4 L <sup>Ⓒ</sup> /J <sup>Ⓟ</sup>	 
サイドリフト アップシート車	ハイエース <sup>Ⓟ</sup> アルファードG <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> /N <sup>Ⓟ</sup>	エスティマT <sup>Ⓒ</sup> / <sup>Ⓟ</sup> L <sup>Ⓒ</sup> エスティマハイブリッド <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup>	ヴォクシー <sup>Ⓟ</sup> ノア <sup>Ⓒ</sup>	
車いす仕様車	ファンカーゴ <sup>Ⓒ</sup> <sup>Ⓟ</sup> アルファードG <sup>Ⓟ</sup> <sup>Ⓟ</sup> /N <sup>Ⓟ</sup> ハイエース <sup>Ⓟ</sup> レジアスエース <sup>Ⓟ</sup>	エスティマT <sup>Ⓒ</sup> / <sup>Ⓟ</sup> L <sup>Ⓒ</sup> ヴォクシー <sup>Ⓟ</sup> ノア <sup>Ⓒ</sup> タウンエースバン <sup>Ⓒ</sup>	ライトエースバン <sup>Ⓟ</sup> コースター <sup>Ⓒ</sup>	
後席回転シート仕様	センチュリー <sup>Ⓒ</sup> クラウン セダン <sup>Ⓒ</sup>	クラウン コンフォート <sup>Ⓒ</sup> コンフォート <sup>Ⓒ</sup>		
福祉タクシー仕様車	ハイエース <sup>Ⓟ</sup>			

注) 2003年1月現在 取り扱い店 ①:トヨタ店 ②:トヨペット店 ③:カローラ店 ④:ネット店 ⑤:ビスタ店(一部地区で取り扱いが異なる場合がある)

## ■ウェルキャブ販売台数の推移



## ■ラインアップの拡大



## ■ウェルキャブ総合展示場「トヨタハートフルプラザ」来場者数

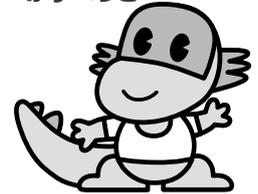
「トヨタハートフルプラザ」では、常時8台～10台のウェルキャブ車を展示し、「実車を見たい」「使い勝手を確かめたい」といったお客様の要望にお応えするとともに、専任スタッフが一人ひとりのニーズに合わせたカスタマイズによるきめ細かな対応を行い、障害者、高齢者のモビリティライフ向上に向けた取り組みを進めています。

	千葉	東京	名古屋	神戸	広島	福岡
来場者数 (オープン～2002年12月)	約9,660人	約32,300人	約3,450人	約18,280人	約2,330人	約9,570人
オープン	2001年7月	1998年7月	2002年9月	1998年10月	2000年10月	1999年11月

「ガズー(GAZOO)」は、トヨタの楽しいビジュアル情報ネットワークです。クルマの情報だけでなく、毎日の暮らしを楽しく、便利にする情報をたくさん紹介しています。

GAZOOは、GAZOO(画像)およびGA(絵)のZOO(動物園)を意味する造語です。  
(GAZOOのURL : <http://gazoo.com>)

がずぱっと



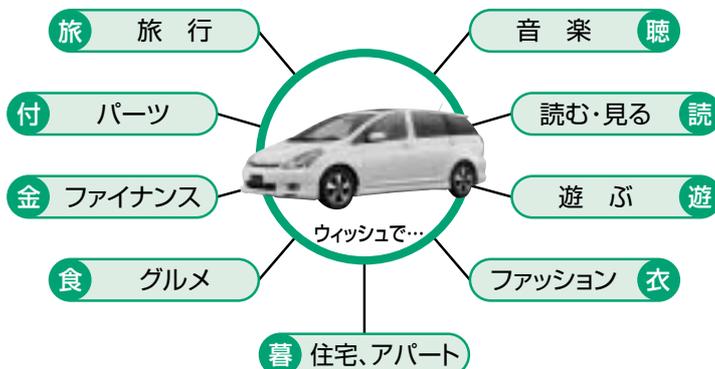
GAZOOが提供する情報

	オートモール	新車・中古車情報をはじめ、愛車の点検、整備、板金修理や下取参考価格、自動車保険など役立つ情報を満載しています。(オンライン見積り・カタログ請求も可能)
	ショッピングモール	日用雑貨から衣類、食品、家電製品などさまざまな商品を購入できます。
	メディアモール	好きな音楽や映画のCD・DVD・ビデオをはじめ、ゲームなど各種メディアを購入できます。
	ブックモール	単行本、文庫本、コミックなどの書籍を購入できます。
	ダウンロードモール	車の記事やアイドルの写真集、音楽まで楽しめるダウンロード専門サイトです。
	トラベリングモール	ホテル・旅館の紹介や予約など、旅行プランをサポートします。
	ライフモール	カーライフなどをはじめとする暮らしに役立つ便利な情報を提供します。
	マネーモール	GAZOOで利用できる決済方法の情報の他、各種金融サービスに関する情報を提供します。
	ガズークラブ	フォーラムや無料ホームページ提供サービスなど、ガズーメンバーが交流できる楽しいコミュニケーションスペースです。
	ガズー名車館	世界の名車約3000台を収録した「名車列伝」やクルマと人が関連した歴史的な事柄を紹介する「クルマと人のおもしろ歴史館」などをお楽しみいただけます。

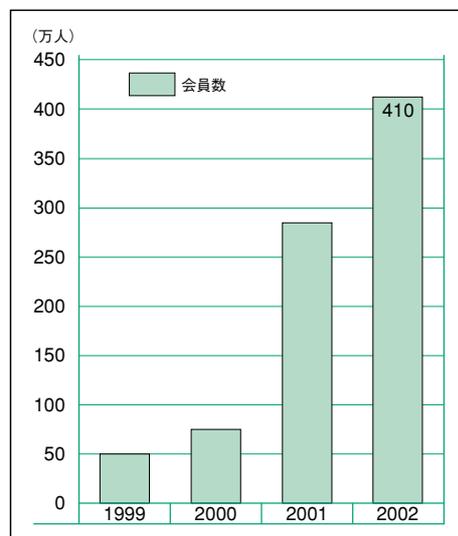
注) パソコンからインターネットで各モール・ガズークラブにアクセスできます。オートモールには、トヨタディーラーやコンビニなどに設置の専用端末からもアクセスできます。  
2003年2月現在。

広がるGAZOO

GAZOOは、自動車を基盤として、クルマ以外のコンテンツも幅広く拡大しています。



GAZOO会員数推移



## モータースポーツ

トヨタのモータースポーツ活動は、全世界に向けた「クルマの楽しさの提供」によるトヨタファンの拡大と「技術力の向上」を目的とし、40年以上にわたり、国内はもちろんのこと、世界規模であらゆるレベルのモータースポーツに参戦し、実績を積み上げてきました。

2002年にはF1に初参戦するなど今後も、モータースポーツ活動において、素晴らしい成果を挙げることで、21世紀の人々に夢を提供しつづける企業でありたいと考えています。

### ■フォーミュラ・ワン世界選手権 (F1)



- ・2002年シーズンから、トヨタは“パナソニック・トヨタ・レーシング”として、単独チーム(フル・コンストラクター)で参戦。
- ・2003年シーズンのドライバーは、オリビエ・パニス、クリスチアーノ・ダ・マッタの2人。
- ・トヨタF1活動の拠点は、ドイツにあるトヨタの子会社 トヨタ・モータースポーツ有限会社(TMG)。トヨタF1プロジェクトにおいて、シャシー・エンジンの開発、チーム運営を担当。

### ■インディカーシリーズ (IndyCar Series)



- ・トヨタは1996年より米国を中心に開催されるCARTシリーズにエンジンサプライヤーとして参戦。2002年シーズンは、マニファクチャラーならびにドライバーのダブルタイトルを獲得。
- ・2003年には舞台をCARTシリーズからインディカーシリーズに移行。
- ・高木虎之介選手もトヨタエンジン搭載車でインディカーシリーズに初挑戦。

### ■国内活動



### ■富士スピードウェイ



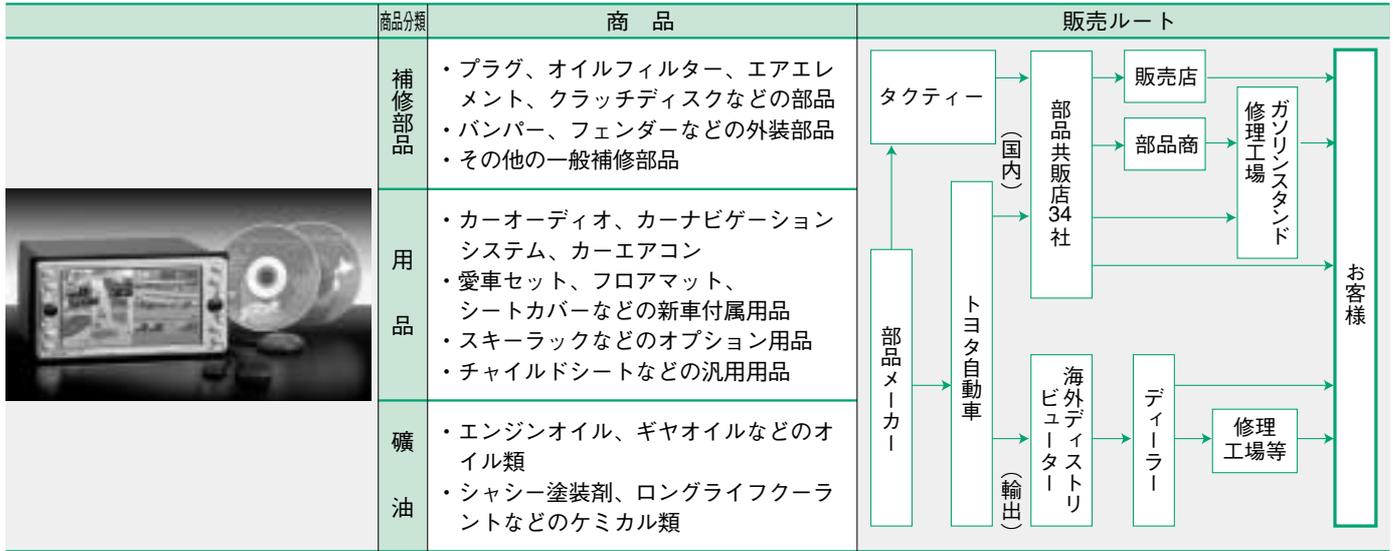
- ①全日本GT選手権(JGTC)
  - ・トヨタテクノクラフト(株)TRDを通じて、JGTCに参戦するチームへ参戦車両(スーパ、MR-S)を提供。
- ②その他国内レース
  - ・全日本F3選手権に参戦するトムス他を支援。
  - ・ESSOフォーミュラ・トヨタの開催。
  - ・NETS・カップの開催。

- ・トヨタは2000年11月に富士スピードウェイ(株)の経営権取得。
- ・2005年3月の完成を目指し、「モータースポーツの振興」「若者への情報発信」「安全運転教育の推進」を3つの柱とした、改修を実施予定。

# 自動車部品

トヨタの部品・用品販売は、修理、整備に必要な補修部品、カーアクセサリ用品、オイル類を中心に販売。また、国内だけでなく海外においてもサービス体制を整え、お客様のニーズに迅速に対応できるようにしています。

## 事業内容



注) 2003年2月現在。

## トヨタ部品・用品販売の推移

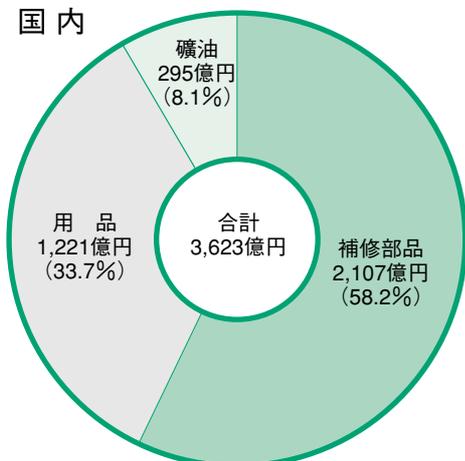
(単位: 億円)

	0	2,000	4,000	6,000	8,000
2002	国内		3,623	海外*	1,983
2001			3,741		1,749
2000			3,697		1,577
1999			3,630		1,676
1998			3,711		1,900
1997			3,989		1,867
1996			4,147		1,764
1995			4,051		1,478
1994			3,958		1,572
1993			4,035		1,545

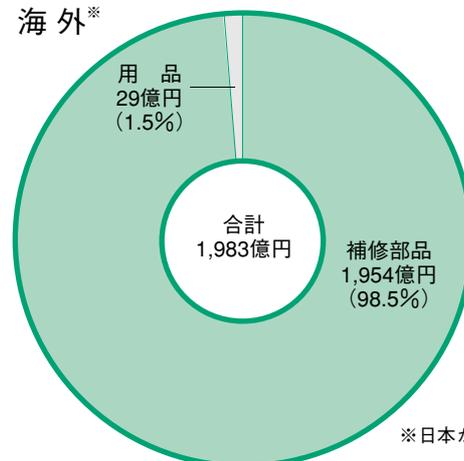
※日本からの輸出分のみ

## トヨタ部品・用品の売上の構成 (2002年)

国内



海外\*



※日本からの輸出分のみ

# トヨタレンタリース

トヨタ自動車をフランチャイザーとしたトヨタレンタリース店65社を国内に展開し、2002年(9月末時点)のトヨタレンタリースのレンタカー保有台数は、6.9万台(前年比101%)、カーリース保有台数は32.1万台(同104%)と、年々着実に拡大しています。

## トヨタレンタリースの売上高推移

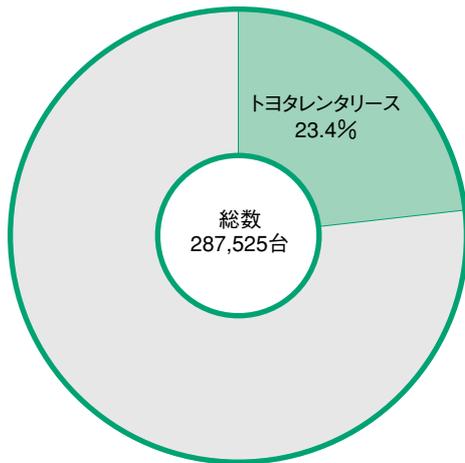
年	●レンタカー (単位: 億円)		●カーリース (単位: 億円)	
	売上高	前年比	売上高	前年比
2002	908	100	1,493	102
2001	910	105	1,469	103
2000	870	108	1,424	101
1999	807	105	1,405	99
1998	770	100	1,426	102
1997	772	103	1,392	105
1996	751	104	1,324	105
1995	719	104	1,265	103
1994	694	103	1,223	104
1993	672	98	1,178	108

## 国内のレンタカー、カーリースの保有台数推移(各年9月末時点)

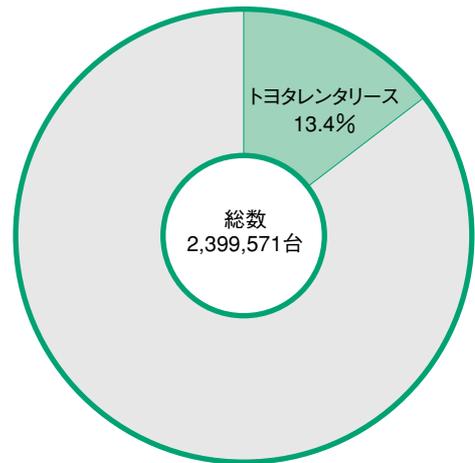
年	●レンタカー (単位: 台)		●カーリース (単位: 台)	
	総数	トヨタレンタリース	総数	トヨタレンタリース
2002	288,075	68,759	2,399,571	320,865
2001	287,503	67,952	2,315,271	307,356
2000	271,332	62,335	2,229,053	287,509
1999	261,100	57,949	2,130,293	276,107
1998	255,149	55,393	2,056,274	266,638
1997	255,023	54,233	1,930,882	256,957
1996	244,951	52,254	1,816,205	241,523
1995	228,930	49,592	1,709,883	227,476
1994	216,277	47,104	1,621,172	212,801
1993	213,930	46,095	1,572,545	201,523

## 国内のレンタカー、カーリース市場におけるシェア(2002年)

●レンタカー(除軽)



●カーリース(含軽)



## レンタカー予約の窓口



### インターネットによるレンタカー予約

インターネット限定キャンペーンなどの予約受付を展開し、申込み件数も年々増加しています。

URL <http://www.toyota.co.jp/rent>

### 全国統一フリーフォン(0070-8000-10000)導入

国内でのご利用は **0070-8000-10000** (フリーフォン) ハッセン イチマン  
 ※オープン時間 8:00~20:00

海外でのご利用は **0120-489882** ヨ ヤク ハ ハーツ  
 ※オープン時間 9:00~19:00(土・日・祝・年末年始除く)

2002年のU-Car(中古車)市場<除軽>は534万台、前年比97%でした。新車市場と比較すると、U-Car市場は10年連続で、乗用車は12年連続して新車台数を上回りました。2002年のトヨタ車のU-Car登録は198万台でした。

## 2002年のU-Car市場(新車と比較)

	台数(除軽)	前年比
U-Car登録	5,338,873	96.9
新車登録	3,967,280	97.7

## 2002年のトヨタ車のU-Car登録

	トヨタ車	他メーカー車	合計
乗用車	1,799,363 (38.4)	2,887,192	4,686,555
商用車	179,600 (27.5)	472,718	652,318
合計	1,978,963 (37.1)	3,359,910	5,338,873

注) ( )内は中古車市場に占めるトヨタ車率。

## 2002年のU-Car市場の年式別構成比

	A~C年式	D、E年式
合計	45.4%	54.6%
乗用車	45.8%	54.2%
商用車	42.6%	57.4%

### U-Carの年式の区分

A年式—当年式、前1年式、前2年式 (例)2002年においては、  
 B年式—前3年式、前4年式 A年式—2002・01・00年式  
 C年式—前5年式、前6年式 B年式—1999・98年式  
 D年式—前7年式、前8年式 C年式—1997・96年式  
 E年式—前9年式以降 D年式—1995・94年式  
 E年式—1993年式以前

資料：トヨタ自動車

## トピックス

### 1) 仕入れ

#### ●トヨタ買取りネットワーク「T-UP」の展開

2000年4月より、お客様のニーズにお応えして幅広いサービスを提供するトヨタ買取りネットワーク「T-UP」を営業しております。電話やインターネットからも無料お試し査定がご利用いただけます。 ※2003年1月末現在636店舗開業

フリーフォン 0070-800-00-1234 (イチ・ニイ・サン・シ・ティ・アップ)  
 ホームページ <http://www.toyota.co.jp/t-up/>  
 携帯電話 ezウェブ: EZインターネット→ライフ→車・住宅  
 j-sky : Jフォンメニュー→Jスカイメイン  
 →スタイルリッシュライフ→住宅・カーライフ  
 iモード: [www.toyota.co.jp/t-up/i](http://www.toyota.co.jp/t-up/i)



### 2) 流通

#### ●トヨタ・オートオークション「TAA」

現在、関東・中部・近畿・東北・九州の現車5会場と、オフィスに居ながら、セリに参加可能なパソコンオークションにより、全国規模でU-Carビジネスをバックアップしています。

2002年はTAA5会場計で37.3万台(前年比122%)の出品台数でした。

### 3) 小売

#### ●U-Car検索システムGazooUVIS

店舗やインターネットから毎日更新される約4万台の在庫を検索でき、欲しい車を選べるGazooUVIS導入店舗が続々拡大中。(2002年12月末現在1,544店舗:コンビニなど6,600ヶ所)

ホームページ <http://gazoo.com/auto/>  
 携帯電話 <http://gazoo.com/ez/uvis>  
<http://gazoo.com/i/uvis>



#### ●大規模小売店舗「カーロット」の展開

展示車200台以上、サービス工場も併設した大規模店舗「カーロット」。現在、愛知、岐阜、浜松、札幌、香川、岡山の6店舗で併せて毎月約10,000人のお客様に会場にいらしていただいています。今後、全国に店舗展開を予定しています。

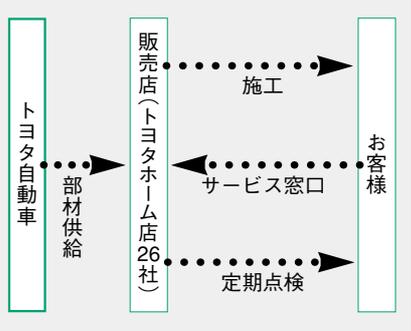
ホームページ <http://www.carlots.co.jp>  
 携帯電話 <http://www.carlots.jp>



# 住宅事業

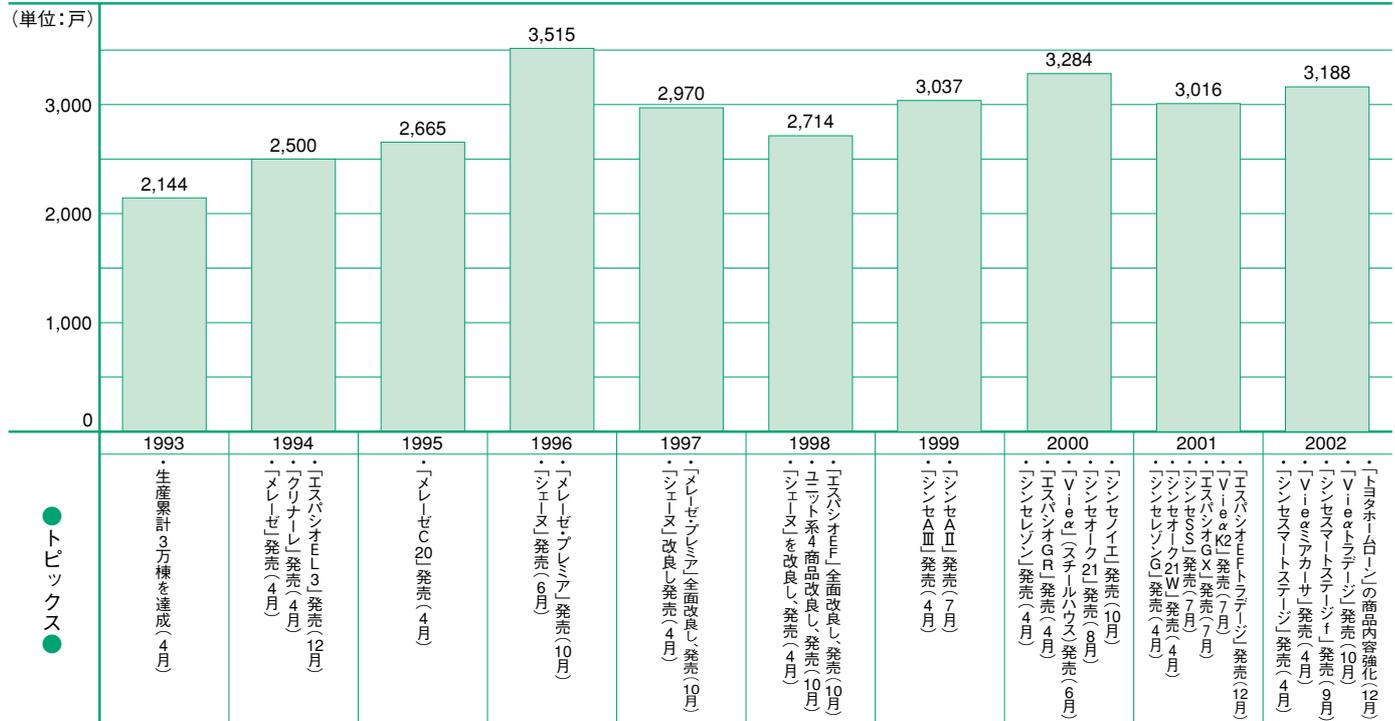
トヨタは1975年から本格的に住宅事業への取り組みを開始し、現在、戸建住宅では鉄骨ユニット工法、鉄骨軸組工法、スチールハウス工法の3工法で豊富に商品を取りそろえています。またオリジナル住宅ローンの開発や、品質責任制度の強化充実を図り、業界トップレベルの安心施策を実現しました。

## ■事業内容

	商品分類	商品	販売ルート
	鉄骨ユニット工法	・シンセ A II ・シンセ レゾン ・シンセ ノイエ J ・オーク 21 ・シンセスマートステージ	
	鉄骨軸組工法	・エスパシオ EF ・エスパシオ GR ・エスパシオ GX ・エスパシオ EFトラデージ	
	トヨタSW工法	・Vie α ・Vie α K2	

注) 2003年2月現在。

## ■トヨタホームの販売戸数の推移(戸建)



注) 2003年2月現在。

## ■主要事業所

名称	事業内容・生産品目	完成年月	土地面積	建物面積	従業員数
春日井事業所	トヨタホームの研究開発及び生産	1987. 4	14万m <sup>2</sup>	3万m <sup>2</sup>	319人
栃木事業所	トヨタホームの生産	1989. 8	5	2	75
山梨事業所	トヨタホームの生産	1991.10	17	5	19

注) 2003年2月現在。

## ■トピックス

### 玄関スマートキー ～21世紀の玄関を開く鍵～

セルシオに搭載された装備を応用したもので、鍵を鞆やポケットの中に入れてそのまま玄関に近づくと自動的に施錠・解錠ができるという、住宅用の鍵では世界初のシステム。



トヨタは、金融事業の競争力強化と意思決定の迅速化を図るため、内外の金融子会社を傘下におく統括会社トヨタファイナンシャルサービス株式会社（以下TFS）を2000年7月に設立。TFSグループは総合的な金融サービスグループを目指しています。

## ■特徴

### ●トヨタウェイを受継いだ企業理念

「お客様第一」「現地現物」「新たな価値観創造」の理念の下、お客様のニーズに則したサービス提供を展開し、トヨタファンの拡大を目指しています。

### ●グローバル販売金融事業を展開

トヨタのお客様へグローバルにフルラインの販売金融サービスを提供しています。

### ●日本企業で最高の財務信用力

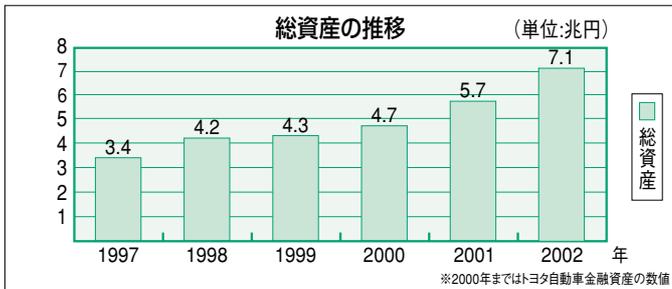
スタンダード&プアーズ社より最高ランク格付「AAA」、ムーディーズ社より「Aa1」を獲得。

### ●グローバルな販売金融ネットワーク

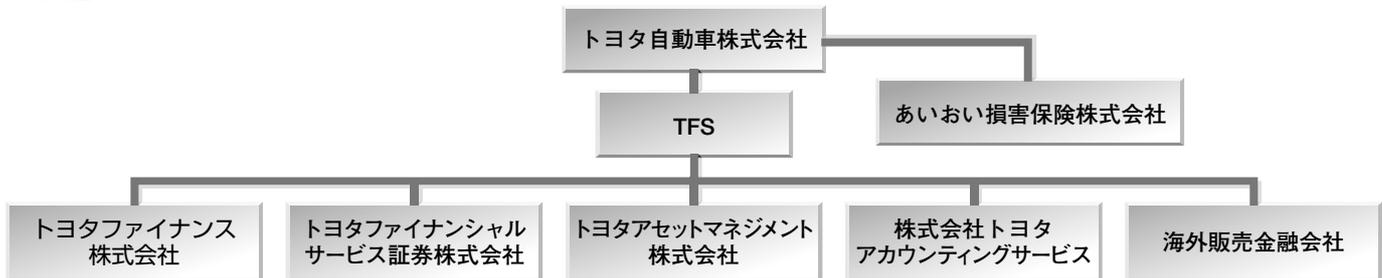
世界20数カ国におよぶグローバルな販売金融ネットワークを展開し、350万人以上のお客様にサービスをご提供しています。

### ●お客様の生活に密着した総合金融サービス

年齢とともに変化するお客様のニーズに対応し、結婚、出産、進学、自動車や住宅の購入などのあらゆるライフ・イベントをサポートするための商品・サービスをご提供し続けます。



## ■組織図



## ■グループ会社案内

会社名	設立	資本金(単位:億円)	従業員数
トヨタファイナンシャルサービス株式会社	2000年7月	675.3	44 (2002年12月末時点)
トヨタファイナンス株式会社	1988年11月	90	1,125 (〃)
トヨタファイナンシャルサービス証券株式会社	2000年7月	37.5	34 (〃)
トヨタアセットマネジメント株式会社	1990年2月	4	53 (〃)
株式会社トヨタアカウンティングサービス	1999年7月	1	30 (〃)
あいおい損害保険株式会社	2001年4月	1,000	8,549 (〃)

## ■グローバルネットワーク

※ブルエルトリコを含む

地域	国	会社名	設立	従業員数
アメリカ	U.S.A.	Toyota Motor Credit Corporation (TMCC)	1982年10月	※2,692
	カナダ	Toyota Credit Canada Inc. (TCCI)	1990年2月	114
	ブラジル	Banco Toyota do Brasil S.A. (BTB)	1999年1月	66
	アルゼンチン	Toyota Credit Argentina S.A. (TCA)	1998年9月	28
	メキシコ	Toyota Services de Mexico, S.A. de C.V. (TSM)	2001年10月	4
	ベネズエラ	Toyota Service de Venezuela, C.A. (TSV)	2001年10月	29
ヨーロッパ/ アフリカ	イギリス	Toyota Financial Services (U.K.) Plc (TFSUK)	1988年11月	140
	ドイツ	Toyota Kreditbank GmbH/Toyota Leasing GmbH (TKG)	1988年4月	187
	フランス	Toyota France Financement (TFSF)	1997年12月	58
	スウェーデン	Toyota Financial Services Sweden (TFSSW)	2000年3月	17
	ノルウェー	Toyota Finans Service Norge (TFSN)	1997年10月	18
	イタリア	Toyota Financial Services Italy (TFSI)	1997年7月	48
	チェコ共和国	Toyota Financial Services Czech s.r.o (TFS CZ)	2000年6月	14
	南アフリカ	Toyota Financial Services South Africa (Pty) Ltd. (TFSSA)	2000年4月	54
	フィンランド	Toyota Finance Finland Oy (TFF)	1995年8月	23
	ポーランド	Toyota Bank Polska S. A. (TBP)	2000年3月	22
	デンマーク	Toyota Financial Services Denmark a/s (TFSDK)	2002年3月	6
アジア/ オセアニア	オーストラリア	Toyota Finance Australia Ltd. (TFA)	1982年6月	284
	ニュージーランド	Toyota Finance New Zealand Ltd. (TFNZ)	1989年7月	39
	タイ	Toyota Leasing (Thailand) Co., Ltd. (TLT)	1993年10月	370
	マレーシア	UMW Toyota Capital Sdn. Bhd. (UMWTC)	2001年12月	92

注) 2002年12月現在。

# 主な出資会社

## 国内出資会社

### トヨタグループ

会社名	設立	事業内容	資本金 (百万円)	従業員数 (人)	売上高 (百万円)	出資比率 (%)
(株) 豊田自動織機 Toyota Industries Corporation	1926.11 (大正15年)	繊維機械、産業車両の製造・販売、乗用車のボディー及び部品の製造	68,021	9,933	693,345	24.67
愛知製鋼(株) Aichi Steel Corporation	1940.3 (昭和15年)	特殊鋼、鍛鋼品の製造・販売	25,016	2,658	118,110	24.72
豊田工機(株) Toyoda Machine Works,Ltd.	1941.5 (昭和16年)	工作機械、自動車用部品の製造・販売	24,805	4,147	145,606	24.98
トヨタ車体(株) Toyota Auto Body Co.,Ltd.	1945.8 (昭和20年)	乗用車、商用車、特殊車のボディー及び部品の製造	8,871	8,028	777,427	47.11
豊田通商(株) Toyota Tsusho Corporation	1948.7 (昭和23年)	各種原材料、製品の売買・輸出入	26,748	2,133	1,926,752	22.99
アイシン精機(株) Aisin Seiki Co.,Ltd.	1949.6 (昭和24年)	自動車部品、住生活関連機器の製造・販売	41,140	10,987	525,418	24.55
(株) デンソー DENSO CORPORATION	1949.12 (昭和24年)	各種自動車用及びその他電装用品、空調設備並びに一般機械器具、電気機械器具の製造・販売	173,098	38,431	1,536,533	24.52
豊田紡織(株) Toyoda Boshoku Corporation	1950.5 (昭和25年)	綿糸布及びその他繊維の糸布、化成品、自動車部品、家庭生活用品の製造・販売	4,933	1,863	83,763	15.56
東和不動産(株) Towa Real Estate Co.,Ltd.	1953.8 (昭和28年)	不動産の所有・管理・売買・貸借	23,750	80	5,425	49.00
(株) 豊田中央研究所 Toyota Central Research and Development Laboratories, Incorporated	1960.11 (昭和35年)	総合技術の開発、利用に関する各種の研究試験・調査	3,000	895	17,208	54.00
関東自動車工業(株) Kanto Auto Works,Ltd.	1946.4 (昭和21年)	乗用車、商用車のボディー及び部品、住宅関連機器及び建築用部材の製造	6,850	5,552	578,331	48.95
豊田合成(株) Toyoda Gosei Co.,Ltd.	1949.6 (昭和24年)	ゴム・合成樹脂・ウレタン製品、半導体関連製品、電気・電子製品、接着剤等の製造・販売	25,135	5,606	223,211	41.79
日野自動車(株) Hino Motors,Ltd.	1942.5 (昭和17年)	トラック、バス、乗用車、商用車、特殊車及び部品の製造・販売	72,717	8,583	564,023	50.11
ダイハツ工業(株) Daihatsu Motor Co.,Ltd.	1907.3 (明治40年)	乗用車、商用車、特装車及び部品の製造・販売	28,404	11,074	818,719	51.19

注) 1. 資本金、従業員数は各社決算期末。売上高は2001年4月～2002年3月。出資比率は2002年3月現在。  
2. 当社は1966年10月に日野自動車工業(株)と業務提携。  
3. 当社は1967年11月にダイハツ工業(株)と業務提携。

### 主な国内出資会社の概要

会社名	事業内容	トヨタ出資比率(%)	資本金(億円)
静岡トヨタ自動車(株)	自動車及び同部品の販売	100.0	15
大阪トヨペット(株)	自動車及び同部品の販売	100.0	30.25
ネットトヨタ仙台(株)	自動車及び同部品の販売	100.0	14.83
トヨタアドミニスタ(株)	東京地区直営販売店6社の持株会社	100.0	12
トヨタ部品東北共販(株)	自動車部品の販売	50.0	1.0
トヨタホーム近畿(株)	住宅の販売	87.05	3.64
(株)トヨタレンタリース東京	自動車のリース・レンタル	100.0	17.50
中央精機(株)	自動車部品の製造販売	60.42	25.06
豊精密工業(株)	自動車部品の製造販売	100.0	20
(株)協豊製作所	自動車部品の製造販売	100.0	10.88

注) 2002年3月現在。

■主な国内出資会社の概要

会社名		事業内容	設立年	トヨタ出資 比率(%)	資本金 (億円)	従業員数 (人)
金融	トヨタファイナンシャルサービス(株)	販売金融を中心とする金融事業の統括会社	2000	100.0	675.2	44
IT	ケイディーディーアイ(株)	固定電話サービス(国内・国際)、携帯電話サービス、インターネットサービス、データセンターサービス	1984	11.7	1,418.5	8,798
	(株)トヨタデジタルクルーズ	VAN事業、イントラネットサービス、SI(システムインテグレーション)	1996	60.8	8.0	178
	(株)クロスウェイブ コミュニケーションズ	高速専用線サービス、広域LANサービス、データセンターサービス	1998	23.9	306.3	182
	(株)トヨタコミュニケーションシステム	設計～調達～生産～販売、管理のグローバル基幹システムの開発、保守、運用サービス、コンサルティング	2001	100.0	14.2	784
	(株)トヨタケーラム	CAD/CAMを始めとする製造業の業務改革システムの開発・販売・保守	1993	77.9	7.0	145
	(株)トヨタアイティー開発センター	IT関連の技術開発、ビジネスモデルの発掘・開発	2001	65.0	30.0	25
	デジタルメディアサービス(株) <sup>※1</sup>	Gazooシステム機器の販売、メンテナンス・サービス、システムインテグレーション	2000	75.0	1.5	49
	(株)タス	インターネットによる不動産の価格算定・情報提供サービス	2000	22.2	1.8	5
メディア	名古屋テレビ放送(株)	テレビ放送事業	1961	34.6	4.0	243
	ひまわりネットワーク(株)	有線テレビジョン放送事業、インターネットサービス	1989	21.5	23.1	50
	(株)エフエム名古屋	一般放送事業、音楽関係事業	1992	8.5	12.0	30
ITS	(株)衛星測位情報センター	カーナビへのGPSの誤差補正情報提供	1996	20.8	4.8	3
	(株)トヨタマップスター	カーナビ用地図データベースの企画、調査、製作、販売	1998	51.1	4.8	171
	(株)日本緊急通報サービス	警察・消防などへの緊急通報接続サービス	1999	10.0	10.0	14
自動車周辺	(株)アムラックストヨタ	自動車ショールームの運営	1990	100.0	0.5	34
	(株)トヨタオートモールクリエイト	自動車販売施設、ショッピングセンターの企画・運営	1999	100.0	4.9	9
	富士スピードウェイ(株)	二輪・四輪自動車レースのサーキット場経営	1963	83.5	51.4	59
	ライフクリエイション(株)	オフロードコース(さなげアドベンチャーフィールド)の運営	1993	40.0	0.75	6
	(株)タクティー	自動車部品・用品の販売およびカーショップフランチャイズ事業	1996	80.0	4.5	376
	パナソニックEVエナジー(株)	EV/HEV用バッテリーおよび周辺機器の開発・製造・販売	1996	40.0	20.0	182
	(株)トヨタモデリスタ インターナショナル	カスタマイズ車両、関連部品・用品の開発および販売、個別カスタマイズへの対応	1997	85.0	1.0	65

注)2002年3月現在。 但し、※1は2003年4月社名変更(旧社名 ガズメディアサービス(株))。

# 主な出資会社

# 国内出資会社

## ■主な国内出資会社の概要

会社名		事業内容	設立年	トヨタ出資比率(%)	資本金(億円)	従業員数(人)
バイオ	(株)トヨタフローリテック	花卉の生産・販売	1999	50.0	1.0	40
	トヨタルーフガーデン(株)	屋上緑化の施工・花卉・園芸資材の販売	2001	70.0	0.55	9
エネルギー	(株)トヨタタービンアンドシステム	小型ガスタービンを使ったコージェネシステム・冷熱システムの製造販売	1998	70.0	16.0	77
環境	(株)エコ・リサーチ	環境コンサルティング及び環境情報システムサービス	2001	51.0	1.0	5
生活・シニア	(株)ウエルネス・フロンティア・センター	ウエルネス分野のコンサルティング、イベント、企画	2000	14.2	1.51	14
	(株)グッドライフデザイン	地域医療機関のサポートと健康・シニア生活サービスを提供	2002	51.0	2.6	5
マリン	蒲郡海洋開発(株)	海洋レジャーを主体とした複合レクリエーション施設「ラグーナ蒲郡」の経営	1991	15.8	1.0	135
	長崎サンセットマリーナ(株)	マリーナ事業	1993	76.9	1.4	5
エアロ	エアフライトジャパン(株)	パイロット養成事業	1992	75.0	4.0	42
	朝日航洋(株)	航空機運航、測量・地図情報事業	1955	97.2	31.93	1,139
新素材	(株)アドマテックス	酸化物セラミックス粉(シリカ・アルミナ・複合酸化物粉)の製造、販売	1990	52.9	3.0	52
エンジニアリング	サンリツオートメーション(株)	組込み型ボードコンピュータとITSの開発・製造・販売	1971	30.0	1.32	89
	(株)トヨタマックス	各種計測器から計測・制御システムの開発	1990	57.0	1.0	655
	(株)BPA	車両生産技術に関する設計エンジニアリング	1991	90.0	4.0	86
	(株)MTA	生産設備、システムの開発設計、設備エンジニアリング	1991	94.0	2.5	75
	ラティス・テクノロジー(株)	3Dデータを超軽量化する技術の開発	1997	32.2	4.15	35
起業家による 設立会社 <sup>※1</sup>	(株)カーテックフジ	プレーキ認証試験、車輛・車検整備	1996	33.1	0.2	39
	(株)テラ・コーポレーション	リジェネバーナーの開発・製造・販売	1996	85.0	1.0	10
	(株)クレストホームズ	木造2×4(ツーバイフォー)工法の輸入住宅販売	1996	98.0	4.0	8
	(株)バイク・ラボ	自転車研究・開発	2001	13.3	0.15	1
	(株)メディア・クリック	マスメディア連動のオンデマンド音楽生活情報サービス事業	2001	40.0	1.0	3
社会貢献・ 従業員福利厚生・ コンサルティング	トヨタ瑞浪開発(株)	ゴルフ場の経営	1989	37.6	2.5	61
	(株)名古屋グランパスエイト	プロサッカー試合の興行・運営	1991	22.5	4.0	30
	(株)トヨタアメニティ	ホテル・結婚式場、レストラン及びスポーツ施設の経営・管理・運営	1992	100.0	1.0	85
	(株)オー・ジェイティ・ソリューションズ <sup>※2</sup>	生産現場の診断、改善計画・人材育成プログラムの提案・実施	2002.4	51.0	2.5	47
	トヨタパーソナルサポート(株) <sup>※2</sup>	給与計算代行、福利厚生実施策の企画・運営・管理およびそれに関するコンサルティング	2002.10	100.0	0.6	130

注)※1：社員自らが社長となって設立したベンチャー企業(起業家制度開始1995年～)。 ※2：設立時。他は2002年3月現在。

■主な連結対象子会社及び関連会社(持分法適用会社等)

国/地域	名称	出資比率	投資開始年	業務内容	従業員数	
欧州	ベルギー	トヨタモーターヨーロッパ(株)	トヨタ100%	2002年4月	欧州持株会社	20
	チェコ	チェコトヨタ(有) <sup>※</sup>	トヨタ60%、豊田通商40%	1993年11月	自動車および同部品の販売	60
	デンマーク	デンマークトヨタ(株) <sup>※</sup>	トヨタ100%	1999年7月	自動車および同部品の販売	147
	フランス	フランストヨタ(株) <sup>※</sup>	トヨタ100%	1993年7月	自動車および同部品の販売	136
		トヨタヨーロッパデザインディベロップメント(有)	トヨタ100%	1998年11月	自動車デザインの研究開発	36
	ドイツ	ドイツトヨタ(有) <sup>※</sup>	トヨタ100%	1969年8月	自動車および同部品の販売	479
		トヨタモータースポーツ(有)	トヨタ100%	1993年7月	競技用自動車の開発	650
	ポーランド	ポーランドトヨタ(有) <sup>※</sup>	トヨタ100%	1993年4月	自動車および同部品の販売	93
	イタリア	イタリアトヨタ(株) <sup>※</sup>	トヨタ100%	1990年9月	自動車および同部品の販売	169
	フィンランド	フィンランドトヨタ(株) <sup>※</sup>	トヨタ100%	1995年8月	持株会社	217
	スウェーデン	トヨタスウェーデンホールディング(株) <sup>※</sup>	トヨタ100%	1994年5月	持株会社	115
	イギリス	イギリストヨタ(株) <sup>※</sup>	トヨタ100%	1967年9月	自動車および同部品の販売	488
	ロシア	ロシアトヨタ(有) <sup>※</sup>	トヨタ70%、豊田通商30%	2001年7月	自動車および同部品の販売	44
	ノルウェー	パウダ(株)	トヨタ40%、その他60%	1991年12月	持株会社	142
	ポルトガル	サルバドール・カエターノ自動車工業(株)	トヨタ27%、その他73%	1972年3月	自動車および同部品の組立・販売	3,341
ハンガリー	ハンガリートヨタ(有) <sup>※</sup>	トヨタ50%、豊田通商50%	1991年12月	自動車および同部品の販売	56	
スペイン	スベイントヨタ(有) <sup>※</sup>	トヨタ100%	1992年12月	自動車および同部品の販売	93	
中近東	インド	トヨタキルロスカ自動車(株)	トヨタ99.0%、その他1.0%	1997年12月	自動車および同部品の製造・販売	1,430
		トヨタテクノパークインド(株)	トヨタ70%、豊田通商30%	1998年9月	固定資産のリースおよびその他のサービスの提供	10
		トヨタキルロスカオートパーツ(株)	トヨタ59.7%、その他40.3%	2002年4月	自動車部品の製造・販売	212
	トルコ	トヨタサトヨタ・サバンジマーケティングアンドセールス(株)	トヨタ25%、サバンジ65%、三井物産10%、	2000年10月	自動車および同部品の販売	155

注)2002年9月現在。 ※トヨタの直接の資本傘下にある欧州各国の販売会社12社を欧州の販売統括会社 TMME(トヨタモーターヨーロッパの100%子会社)の子会社および関連会社に再編する予定。

■主な連結対象子会社及び関連会社(持分法適用会社等)

国/地域	名称	出資比率	投資開始年	業務内容	従業員数	
アフリカ	南アフリカ 南アフリカトヨタ(株)	トヨタ74.9%、その他25.1%	1996年11月	自動車および同部品の製造・販売	6,948	
アジア	ベトナム ベトナムトヨタ(有)	トヨタ70%、その他30%	1995年10月	自動車および同部品の製造・販売	362	
	マレーシア	T&K自動車部品(株)	トヨタ60%、光洋精工30%、UMWトヨタ10%	1990年11月	自動車部品の製造・販売	88
		UMWトヨタ自動車(株)	UMWC51%、トヨタ39%、豊田通商10%	1982年11月	自動車部品の製造・販売	2,583
	インドネシア	トヨタ・バイオ・インドネシア	トヨタ90%、三井物産10%	2001年5月	飼料製造	79
		トヨタアストラ自動車(株)	トヨタ49%、現地51%	1971年12月	自動車および同部品の製造・販売	4,780
	フィリピン	フィリピントヨタ自動車部品(株)	トヨタ95%、フィリピントヨタ5%	1990年8月	自動車部品の製造・販売	533
		フィリピントヨタ自動車(株)	トヨタ34%、その他66%	1988年8月	自動車および同部品の製造・販売	1,465
	シンガポール	トヨタモーターアジアパシフィック(株)	トヨタ100%	1990年7月	自動車および同部品の販売	49
	中国	天津豊津汽車伝動部件有限公司	トヨタ90%、その他10%	1996年3月	自動車部品の製造・販売	197
		天津豊田汽車鍛造部件有限公司	トヨタ100%	1997年4月	自動車部品の製造・販売	76
		トヨタ自動車(中国)投資(有)	トヨタ100%	2001年7月	販売などのマーケティング支援	80
		トヨタ自動車技術センター(中国)(有)	トヨタ100%	1998年4月	調査、研究、国産化に関する技術コンサルティングサービス	37
		トヨタモーター(中国)(株)	トヨタ75%、豊田通商25%	1993年6月	自動車および同部品の販売	71
		四川豊田泥炭開発有限公司	トヨタ100%	2002年6月	泥炭の採掘、加工・販売	15
		天津豊田汽車発動機有限公司	トヨタ50%、現地50%	1996年8月	自動車エンジンの製造・販売	1,254
		四川豊田汽車有限公司	トヨタ45%、豊田通商5%、現地50%	2000年1月	自動車の製造	655
		天津豊田汽車有限公司	トヨタ27.5%、現地50% トヨタ自動車(中国)投資22.5%	2000年6月	自動車の製造	229
	韓国	韓国トヨタ自動車(株)	トヨタ100%	2000年3月	自動車および同部品の販売	30
	台湾	國瑞汽車股份有限公司	トヨタ51.7%、日野自動車5%、現地43.3%	1986年6月	自動車および同部品の製造・販売	2,145
タイ	タイトヨタ自動車(株)	トヨタ86.4%、その他13.6%	1962年10月	自動車および同部品の製造・販売	3,038	
	サイアムトヨタマニファクチャリング(株)	トヨタ96%、現地4%	1987年7月	自動車部品の製造・販売	793	

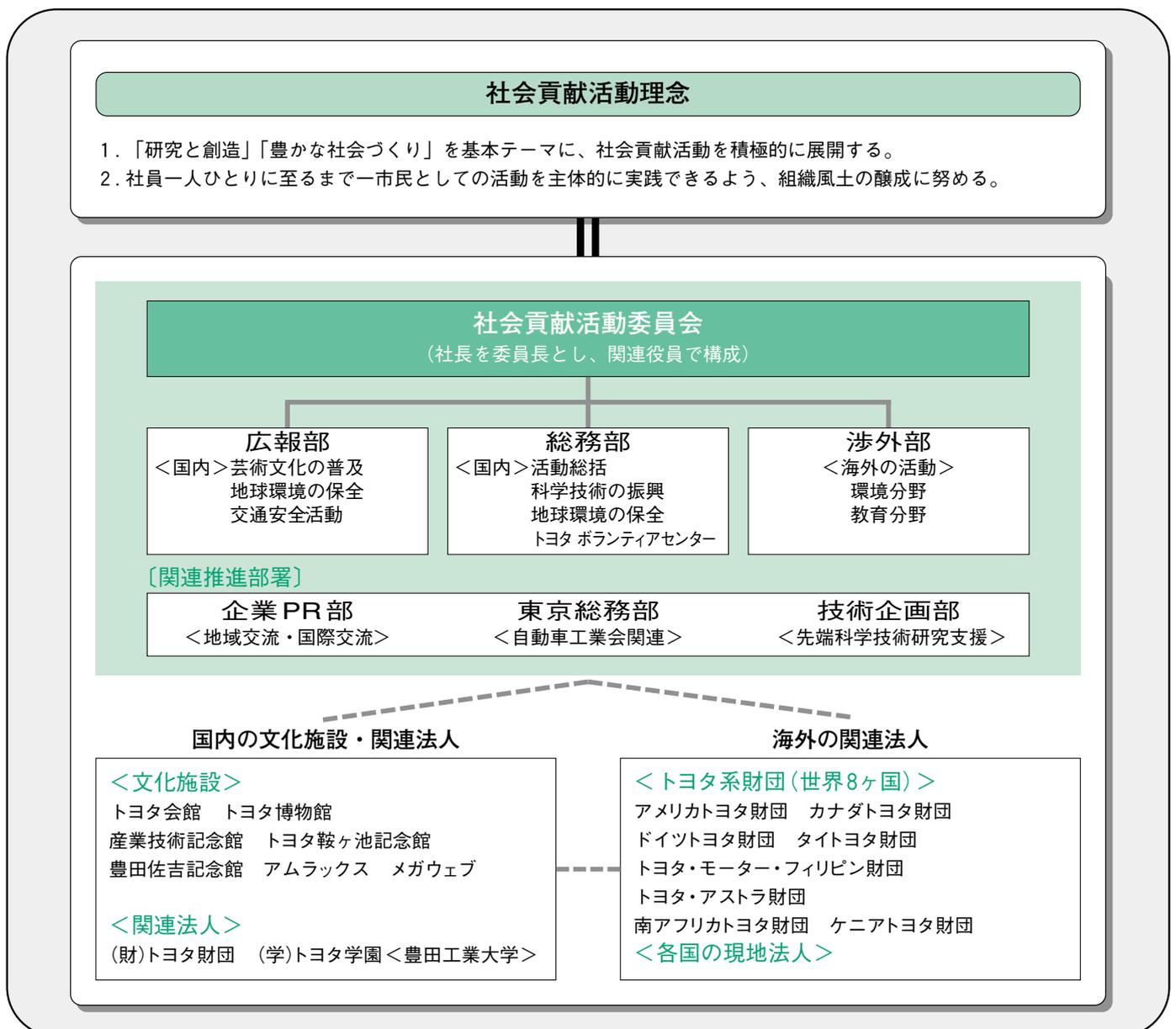
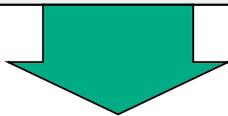
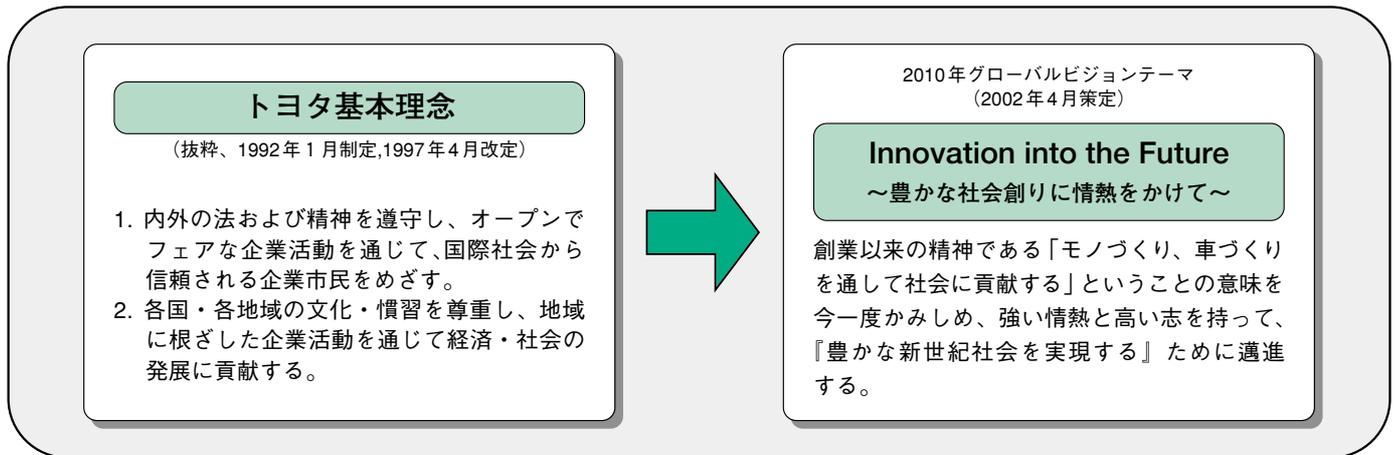
注) 2002年9月現在。

国/地域	名称	出資比率	投資開始年	業務内容	従業員数	
オセアニア	オーストラリア トヨタモーターコーポレーションオーストラリア(株)	トヨタ100%	1971年7月	自動車、部品、産業車両の製造・販売	4,193	
	オーストラリア アフォレステーション(株)	トヨタ90%、三井物産7%、 豪州三井物産3%	1998年8月	製紙用材料の植林事業	—	
	ニュージーランド トヨタニュージーランド(株)	トヨタ100%	1977年2月	自動車および同部品の販売	202	
北米	アメリカ トヨタモーターノースアメリカ(株)	トヨタ100%	1996年9月	持株会社	71	
	トヨタテクニカルセンター U.S.A.(株)	トヨタ80%、 米国トヨタ自動車販売10%、 アイシン精機5%、デンソー5%	1977年6月	自動車技術の研究開発	575	
	キャルティデザインリサーチ(株)	トヨタ80%、 米国トヨタ自動車販売20%	1973年10月	自動車デザインの研究開発	53	
	ニューユナイテッドモーター マニュファクチャリング(株)	トヨタ50%、GM50%	1984年2月	自動車および同部品の製造・販売	5,275	
	カナダ	トヨタモーターマニュファク チャリングカナダ(株)	トヨタ100%	1986年3月	自動車および同部品の製造・販売	3,279
		カナディアンオートパーツト ヨタ(株)	トヨタ100%	1983年4月	自動車部品の製造・販売	219
		カナダトヨタ(株)	トヨタ50%、三井物産50%	1972年1月	自動車、同部品および産業車両の販売	493
中南米	アルゼンチン アルゼンチントヨタ(株)	トヨタ100%	1994年12月	自動車および同部品の製造・販売	880	
	ブラジル ブラジルトヨタ(有)	トヨタ100%	1958年1月	自動車および同部品の製造・販売	1,193	
	ベネズエラ ベネズエラトヨタ(株)	トヨタ90%、現地10%	1989年11月	自動車および同部品の組立・販売	971	
	ペルー ペルルトヨタ(株)	トヨタ49.8%、 三井物産49.8%、現地0.4%	1966年8月	自動車および同部品の販売	130	

注) 2002年9月現在。

トヨタは「国際社会から信頼される企業市民」を目指し、国内はもとより、海外でも、様々な分野において社会貢献活動を展開しています。

■社会貢献活動の基本的な考え方



トヨタ会館

創立40周年記念事業の一環として、設立。国内外の人々との「対話とコミュニケーション」の拠点として、研究開発〜工場での生産を含めた企業活動全般についての理解活動を行っています。



完成	1977年(昭和52年)11月(1998年4月改装)
所在地	豊田市トヨタ町1番地(トヨタ自動車(株)本社地区内)
来場者	約35.5万人(2002年)、累計1,143万人(2002年末時点)
工場公開	本社工場立ち上がりと同時にスタート。車両組立3工場、エンジン工場、環境施設見学を行っています。
展示場	環境・安全・ITSなどトヨタの最新の技術をアトラクティブに紹介、ショールームでは常時約20台のトヨタ新型車を展示。 工場見学、懇談会等を行うトヨタセミナーに招待し、企業の取り組みを紹介。 (対象:愛知県下主要大学の教員・留学生、JICA中部センター研修生、JETプログラム英語教師、名古屋国際学園の生徒・児童)
国際交流活動	フィールドトリップで来日する米ビジネススクール、国際交流機関YFUの留学生等への支援。
地域交流活動	サマースクール(小学5年生対象に車への理解を深めてもらう企画)の開催、セーフティスクール(保育園・幼稚園の園児を対象に交通安全への意識を高めてもらう企画)の開催、聾学校生徒に車や自動車産業に対する理解を深めてもらう活動。

トヨタ博物館

創立50周年記念事業の一環として、自動車の歴史を学び、人と車の豊かな未来を考えるために建設。また、開館10周年には新館を増設し、博物館活動・展示内容の充実を図りました。



完成	1989年(平成元年)4月、1999年(平成11年)4月新館
所在地	愛知県愛知郡長久手町大字長湊字横道41-100
展示内容	“ガソリン自動車100年の発達史”と“[車文化]と[もの文化]の変遷”をテーマに紹介しています。 (本館) ガソリン自動車が生じた19世紀末から約100年間の発達史を実用車を中心に、約120台(2階欧米車約60台、3階日本車約60台)の車両により体系的に紹介するほか、ルネ・ラリックのカーマスコット全29種類32点を展示。 (新館) 日本のモータリゼーションの歩みと生活文化の変遷を、車両約40台と各時代の生活文化資料約2,000点により紹介。また、約8,000冊の蔵書を揃えた図書閲覧室やギャラリーの展示・閲覧スペースも設置。 (その他) 1年を通じて企画展、イベントも開催。
館内施設	(本館) インフォメーションコーナー、ミュージアムレストラン、小ホール2室(各60名) (新館) カフェテリア、ミュージアムショップ、大ホール(最大240名)、ギャラリー、図書閲覧室
来場者	約18.3万人(2002年)、累計305.6万人
開館時間	9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館日	原則月曜日(祝日の場合は翌日)および年末年始

産業技術記念館

トヨタグループの発祥の地である旧豊田紡織本社工場に残されていた大正時代の建物を貴重な産業遺産として生かしながら、同記念館を建設しました。



事業形態	トヨタグループ13社の共同事業
完成	1994年(平成6年)6月11日(豊田喜一郎の生誕百周年記念日)
所在地	名古屋市西区則武新町4丁目1番35号
展示場	「モノづくりの心に出会う、知る、体験する」をテーマに構成し、繊維機械館、自動車館、テクノランド等で繊維機械と自動車を中心に、わが国の産業とそれを支えた技術の変遷を分かりやすく紹介。
来場者	約14.1万人(2002年実績)、累計105.7万人
開館時間	9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館日	原則月曜日(祝日の場合は翌日)および年末年始

豊田工業大学

創造性・人間性豊かな技術者・研究者の育成と、世界から注目される先端的科学技術の研究を推進しています。



開学	1981年(昭和56年)4月
所在地	名古屋市天白区久方二丁目12-1
理事長	豊田 達郎
学長	永澤 満
設置学部	工学部(入学定員80名)
設置大学院	大学院工学研究科 修士課程(入学定員24名)／博士後期課程(入学定員12名)
付置機関	半導体センター、総合情報センター、先端フォトンテクノロジー研究センター、超高効率光起電力変換共同研究センター、宇宙ロボティクス研究センター、未来情報記録材料共同研究推進センター、ナノ格子新技術開発研究センター、TTI at Chicago(大学院大学)
建学の精神等	建学の理念は「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」(豊田佐吉遺訓)。広く産業界から実務を経験した社会人を、1993年(平成5年)からは一般学生も受け入れ、設立当初から徹底した少人数の「藝の大学」として、21世紀社会が求める豊かな人間性と創造性あふれる技術者・開発者の育成を目指す。

文化施設等の建設・一般公開

自動車文化の発展を願って各種文化施設等を建設し、一般公開をしています。

トヨタ記念館	完成 1974年(昭和49年)9月(1999年6月改装) 展示内容 豊田喜一郎とその仲間たちの大いなる夢、情熱の日々を創業期の歩みとともに展示。旧豊田喜一郎邸を移築・修復し、あわせてトヨタのルーツを紹介、また館内のアートサロンでは弊社所蔵の絵画などを中心に企画展を開催。 所在地 豊田市池田町南250番地 来場者 約5.6万人(2002年実績)
豊田佐吉記念館	完成 1988年(昭和63年)10月 展示内容 日本産業の発展を志した佐吉が発明した数々の織機とゆかりの品、佐吉の生家を展示紹介。 所在地 静岡県湖西市山口113番地2号 来場者 約1.8万人(2002年実績)
アマラックス(東京、大阪)	完成 1990年(平成2年)9月(東京)／1993年(平成5年)7月(大阪) 施設 トヨタ車を紹介するショールームとしての機能のほか、トヨタの新技术、環境や安全への取り組みなどを紹介。 所在地 東京都豊島区池袋3-3-5(東京)／大阪市北区小松原町3-3(OSビル内) 来場者 東京:約146万人(2002年実績)／大阪:約85万人(2002年実績)
メガウェブ	完成 1999年(平成11年)3月(東京) 施設 現在・過去・未来の3つのパビリオンと2つのライドコースを通じ、クルマの楽しさを「見て、乗って、感じる」テーマ施設。 所在地 東京都江東区青海1丁目パレットタウン 来場者 約626万人(2002年実績)
トヨタ記念病院	完成 1987年(昭和62年)〈前身のトヨタ病院は昭和17年に開設〉 所在地 愛知県豊田市平和町1-1 特色 「安心して受けられる良い医療」、「主役はお客様」、「地域社会への貢献」を理念とし、地域の人々の疾病予防と治療、健康の増進に貢献。 規模 病床数:513床、外来患者数:日あたり約1,800人 設立 1974年(昭和49年)10月15日
トヨタ財団	所在地 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階 活動内容 国内及び海外諸国における、生活・自然環境・社会福祉・教育文化等に関する研究並びに事業を助成。 基金規模 312億円(会長:豊田達郎、理事長:木村尚三郎)

国内：「文明と環境の調和」と「持続可能な発展」を前提に、各種自主活動を展開

＜重点活動テーマ＞科学技術の振興

トヨタのノウハウを活かして科学技術の振興に寄与

・先端科学技術研究助成プログラム

1996年より2001年まで、国内の先端科学技術者から、萌芽段階にある研究課題を公募し、研究活動を助成。2002年には優秀テーマの成果を要約したCD-ROMを発行。

・青少年創造性啓発活動

青少年の科学技術への啓発を目的に、全国の科学館・科学イベントに、トヨタ技術会より一日先生を派遣し、科学工作教室を1996年より実施。



・ITSによる交通モデル都市づくりへの支援

1996年に愛知県豊田市と連携して「豊田ITS研究会」を発足。関係省庁が指定する「ITSモデル地区実験」都市として選定され、1999年からはEV共同利用実験等、市内での渋滞緩和を狙いとした様々な実験を展開。2002年には産・官・学・民による「豊田市ITS推進会議」（会長：豊田市長）が設置され、まちづくり・交通施策と連携した本格的な地域でのITS推進を支援。

＜重点活動テーマ＞芸術文化の普及

「文化の育成」「裾野の拡大」「地域文化の活性化」を重点に活動を展開

・トヨタ コミュニティコンサート

全国のトヨタ販売会社と共に、各地のアマチュアオーケストラを支援してコンサートを開催。1981年にスタートし、2003年3月までに全国44都道府県で1,006回開催。



・トヨタ アートマネジメント講座

1996年より、アートマネージャーの育成を目的に、音楽・美術・演劇をテーマとした講座を2003年3月までに全国25都道府県にて49回開催。

・トヨタ エイブルアートフォーラム

1996年より、障害のある人たちの芸術の可能性を引き出し、社会的評価や認知度を高めていくための環境づくり・人づくりを目的に、シンポジウムやワークショップを2003年3月までに全国32都道府県にて62回開催。

海外：北米、ヨーロッパ、アジアを重点地域とし、環境・教育を中心に活動を展開、また、様々な国際交流プログラムも展開

北 米

・アメリカ：「PACE－親子教育プログラム」

全米家庭教育センター（NCFL）がアメリカ各地で展開するPACE（Parent and Child Education）プログラムを1991年より支援。このプログラムは「教育を受けられなかった親の子供もまた、十分な教育を与えられずに育つ」という悪循環を断ち切ることを目的とした就学前児童の親子教育プログラム。1998年からは、新たに対象を小学校低学年レベルまで拡大したTFSP（Toyota Families in School Program）を実施。



ヨーロ ッパ

・フランス：「公園緑化整備活動への支援」

フランス各地の都市部での公園緑化整備プログラムを組織するフランス財団を通じて、2001年より当社販売拠点のある地域を中心とした緑化活動を支援。



・中央・東ヨーロッパ：「REC－環境教育プログラム」

2000年より、中央・東ヨーロッパ地域環境センター（REC）が行なう環境教育プログラムを支援。このプログラムは、環境問題が深刻な中・東欧諸国の中学校を対象に、環境保全意識の向上を目指し、教材（Green Pack）の活用によるカリキュラムを実施。



## ＜重点活動テーマ＞地球環境の保全

地球温暖化防止への貢献のため環境緑化プログラムや環境啓発のための教育活動を実施

### ・「トヨタの森」と環境緑化活動

緑による環境改善を目指し、1997年より里山活性化モデル林「トヨタの森」での実践、学童の環境学習への協力、専用学習館での啓発活動などを推進。

### ・「エコのもりセミナー」の開催

「トヨタの森」フォレストヒルズ・モデル林で、(社)日本環境教育フォーラムと連携し、21世紀の森づくりを支える人材育成を狙いとする様々な環境教育プログラムを1998年より展開。



### ・トヨタ環境活動助成プログラムの実施

1999年、国連環境計画「グローバル500賞」受賞を記念し、“持続可能な発展”に貢献する環境改善・保全に関する国内外の活動に対し2000年から助成。

## 福祉・地域社会・ボランティア活動支援

災害救援や福祉団体への援助、全国の事業所周辺での各種行事の支援、社員のボランティア活動支援

### ＜福祉＞

#### ・災害救援活動への支援

2002年にはUNHCRのアフガニスタン難民支援、ドイツ・チェコを中心とする中東欧大洪水に対する義捐金送付など、世界各地で発生した災害に対しての支援活動を実施。

#### ・社会福祉法人への支援

身体障害者の養護や自立支援を目的とする社会福祉法人に対し、施設の運営や施設が開催するチャリティーコンサート、バザーなどのイベントを支援。



### ＜地域社会＞

#### ・トヨタサマースクール

夏休み期間中に豊田市周辺の小学5年生を招待し、車に対する理解を深めてもらう工場見学や勉強会を1969年より実施。

### ＜ボランティア活動支援＞

「トヨタボランティアセンター」を1993年に設置し、社員への理解促進を目的とした啓発活動や、活動メニューの情報提供、コーディネート活動を実施。また、活動の拡大、人材育成を狙いとした、社内各種ボランティアサークル活動を支援。

## アジア

### ・中国：「砂漠化防止のための植林活動」

近年急速に砂漠化が進行している北京近郊の河北省において、地球緑地化センター、中国豊寧県林業局、中国科学院と共同で、2001年より植林活動を開始。耐乾燥性樹種の選抜技術・環境モニタリングなどの技術支援も実施。

### ・韓国：「日本研究者への研究助成」

日韓の相互理解・交流をさらに深めるための一助として、2001年より韓国内の博士課程修了者を含む日本研究を主とした人文科学系大学研究員(年間8名)に対して、研究費用を助成。

### ・カンボジア／タイ：「JAHDS(人道目的の地雷除去支援の会)への支援」

人道目的の地雷除去活動に従事する国際的なNGOに対して、紛争終了後の当該国地域の市民を残存地雷の被害から守るための地雷探知技術および後方支援システムの開発とその成果の継続的な提供を行なう、JAHDS(人道目的の地雷除去支援の会)の活動を1999年より支援。

### ・トヨタクラシックス

1990年より、アジア地域で一流オーケストラによるコンサートツアーを開催し、チケット収益金を各地域の社会事業団体に寄付。

## 国際交流

工場見学や質疑応答、環境プレゼンテーション、エコカー試乗を通じ、トヨタの高品質な車づくりや環境への取り組みに関する理解活動を展開。

- ・海外ビジネススクール学生
- ・愛知県下留学生
- ・JICA(国際協力事業団)研修生 等



# History of TOYOTA

## トヨタの歩み

トヨタ自動車の創業者・豊田喜一郎は1894年(明治27年)に生まれました。自動織機の発明家として歴史に名を残す豊田佐吉の、「研究と創造」の精神を受け継いだ息子の喜一郎は、当時の日本ではまだ未知の分野であった自動車づくりに生涯をかけ、苦心の末、1935年(昭和10年)にA1型試作車を完成…。トヨタ自動車の歴史はこうして始まりました。そして、1999年(平成11年)10月、トヨタは、おかげさまで国内生産累計1億台を達成しました。



豊田佐吉



豊田喜一郎

### 1867

慶応3年～

#### 事業展開/工場・施設展開

- 1867年(慶応3年)
  - 豊田佐吉 誕生
- 1890年(明治23年)
  - 豊田佐吉「豊田式木製人力織機」完成
- 1894年(明治27年)
  - 豊田喜一郎 誕生
- 1924年(大正13年)
  - 豊田佐吉「無停止杼換式豊田自動織機(G型)」完成
- '29年(昭和4年)
  - 豊田喜一郎 自動車事情視察などのため欧米へ出張
  - 自動織機の特許を英国のプラット社に譲渡
- '30年(昭和5年)
  - 豊田喜一郎 小型ガソリンエンジンの研究を開始
- '33年(昭和8年)
  - (株)豊田自動織機製作所に自動車部を設置
- '35年(昭和10年)
  - 日の出モーターズ(株) 営業開始
  - (現・愛知トヨタ(株))
- '36年(昭和11年)
  - トヨタマーク制定
- '37年(昭和12年)
  - トヨタ自動車工業(株) 設立
- '38年(昭和13年)
  - 挙母工場操業開始(現・本社工場)
  - 「ジャストインタイム」方式 本格的スタート



無停止杼換式豊田自動織機(G型)



挙母工場



### 1940

昭和15年～24年

- '40年(昭和15年)
  - 豊田製鋼(株)設立(現・愛知製鋼(株))
  - (財)豊田理化学研究所設立
- '41年(昭和16年)
  - 豊田工業(株) 設立
- '43年(昭和18年)
  - 東海飛行機(株) 創立(現・アイシン精機(株))
- '45年(昭和20年)
  - トヨタ車体工業(株) 設立(現・トヨタ車体(株))
- '46年(昭和21年)
  - 関東電気自動車製造(株) 設立(現・関東自動車工業(株))
- '48年(昭和23年)
  - 日新通商(株) 設立(現・豊田通商(株))
- '49年(昭和24年)
  - 名古屋ゴム(株) 設立(現・豊田合成(株))
  - 日本電装(株) 設立(現・(株)デンソー)

挙母工場生産ライン

#### 新車発表/生産・販売・輸出実績

- '35年(昭和10年)
  - A1型試作乗用車完成
  - G1型トラック完成
- '36年(昭和11年)
  - トヨタAA型乗用車、AB型フェートン、GA型トラック発表
- '38年(昭和13年)
  - GB型トラック生産開始
- '41年(昭和16年)
  - AE型乗用車生産開始
- '42年(昭和17年)
  - KB型トラック生産開始
- '43年(昭和18年)
  - AC型乗用車、KC型トラック生産開始
- '47年(昭和22年)
  - BM型トラック、SB型小型トラック、SA型小型乗用車生産開始
- '49年(昭和24年)
  - SD型小型乗用車生産開始



A1型試作乗用車



G1型トラック



トヨタAA型乗用車



SB型小型トラック



急行列車と競争するSA型小型乗用車

- '36年(昭和11年)
  - トヨタ車(G1型トラック) 初輸出



- '47年(昭和22年)
  - 国内生産累計10万台達成



# 1950

昭和25年～34年

- '50年(昭和25年)
  - 経営危機/労働争議・人員整理
  - トヨタ自動車販売(株)設立
  - 民成紡績(株)設立(現・豊田紡織(株))
- '51年(昭和26年)
  - 創意くふう提案制度発足
- '53年(昭和28年)
  - 東和不動産(株)設立
  - 会社代表標語「よい品よい考」制定
- '54年(昭和29年)
  - 技術本館(テクニカルセンター)完成
- '56年(昭和31年)
  - トヨペット店営業開始
  - 本社テストコース完成
- '57年(昭和32年)
  - 米国トヨタ自動車販売(株)設立
- '58年(昭和33年)
  - トヨタ・ド・ブラジルS.A.社(ブラジルトヨタ)操業開始
- '59年(昭和34年)
  - 元町工場操業開始



標語制定



米国トヨタ自動車販売



元町工場

# 1960

昭和35年～44年

- '60年(昭和35年)
  - 新本館(現・事務本館)完成
  - (株)豊田中央研究所設立
- '61年(昭和36年)
  - パブリカ店営業開始(現・トヨタカラー店)
  - TQCの全社的導入決定
  - 春日工場完成(現・春日センター)
- '62年(昭和37年)
  - 「労使宣言」に調印
  - トヨタ・モーター・タイランド社設立
- '65年(昭和40年)
  - デミング賞実施賞受賞
  - 上郷工場操業開始
- '66年(昭和41年)
  - 高岡工場操業開始
  - 日野自動車工業(株)と業務提携
  - 東富士工場の自動車性能試験場完成
- '67年(昭和42年)
  - トヨタオート店営業開始(現・ネットトヨタ)
  - ダイハツ工業(株)と業務提携
- '68年(昭和43年)
  - 三好工場操業開始



トヨタ本社新本館



労使宣言 調印式



デミング賞実施賞



東富士自動車性能試験場

# 1970

昭和45年～54年

- '70年(昭和45年)
  - 第1回日本品質管理賞受賞
  - 堤工場操業開始
- '73年(昭和48年)
  - 明知工場操業開始
  - キャルティデザインリサーチ設立
- '74年(昭和49年)
  - トヨタ鞍ヶ池記念館完成
  - トヨタ財団設立
  - 日進研修センター完成
- '75年(昭和50年)
  - 下山工場操業開始
  - 住宅事業に参入
- '77年(昭和52年)
  - トヨタテクニカルセンターU.S.A設立
  - トヨタ会館完成
- '78年(昭和53年)
  - 衣浦工場操業開始
- '79年(昭和54年)
  - 田原工場操業開始



日本品質管理賞受賞



日進研修センター



田原工場

- '51年(昭和26年)
  - BX型トラック、BJ型トヨタジープ発表(現・ランドクルーザー)
  - SF型小型乗用車生産開始
- '52年(昭和27年)
  - SG型小型トラック生産開始
- '53年(昭和28年)
  - RH型トヨペット・スーパー、RK型小型トラック発表
- '54年(昭和29年)
  - SKB型小型トラック発表(現・トヨエース)
- '55年(昭和30年)
  - トヨペット・クラウン、トヨペット・マスター、クラウン・デラックス発表
- '56年(昭和31年)
  - RK52型小型トラック発表(現・ダイナ)
- '57年(昭和32年)
  - DA60型ディーゼルトラック、トヨペット・コロナ発表



トヨペット・クラウン

- '61年(昭和36年)
  - パブリカ発表
- '63年(昭和38年)
  - RK170B型ライトバス発表(現・コースター)
- '64年(昭和39年)
  - クラウン・エイト、FA100型・DA100型大型トラック発表
- '65年(昭和40年)
  - トヨタスポーツ800発表
- '66年(昭和41年)
  - カローラ発表
- '67年(昭和42年)
  - トヨタ2000GT、ハイエース、ミニエース発表
- '68年(昭和43年)
  - ハイラックス、カローラスプリンター、コロナマーク2発表



パブリカ



カローラ



トヨタ2000GT スピードトライアル

- '70年(昭和45年)
  - カリーナ、セリカ、ライトエース発表
- '73年(昭和48年)
  - パブリカスターレット発表
- '76年(昭和51年)
  - タウンエース発表
- '77年(昭和52年)
  - チェイサー発表
- '78年(昭和53年)
  - セリカXX発表(現・スープラ)
  - ターセル、コルサ発表



セリカ

- '57年(昭和32年)
  - 国産乗用車対米輸出第1号(クラウン)



- '62年(昭和37年)
  - 国内生産累計100万台達成
- '69年(昭和44年)
  - 輸出累計100万台達成
  - 年間国内販売100万台達成



- '72年(昭和47年)
  - 国内生産累計1,000万台達成
- '75年(昭和50年)
  - 輸出累計500万台達成
- '79年(昭和54年)
  - 輸出累計1,000万台達成



# 1980

昭和55年～64年(平成元年)

# 1990

平成2年～11年

# 2000

平成12年～

## 事業展開／工場・施設展開

- '80年(昭和55年)
  - トヨタビスタ店営業開始
- '81年(昭和56年)
  - 豊田工業大学開学
- '82年(昭和57年)
  - トヨタ自動車工業(株)、トヨタ自動車販売(株)合併  
新社名トヨタ自動車(株)
- '84年(昭和59年)
  - 米国でのトヨタ・GM合併会社(NUMMI)生産開始
  - 士別試験場完成
- '85年(昭和60年)
  - 飛島センター完成
- '86年(昭和61年)
  - 貞宝工場操業開始
- '87年(昭和62年)
  - 春日井事業所操業開始
  - トヨタ記念病院完成
  - 欧州テクニカルセンター設立
- '88年(昭和63年)
  - TMM(現・TMMK)生産開始
- '89年(平成元年)
  - 広瀬工場操業開始
  - 栃木事業所操業開始
  - トヨタ博物館完成
  - 米国レクサス店設立
  - 東京デザインセンター設立



工販合併



NUMMI



TMM工場搬入式



レクサス店

- '90年(平成2年)
  - アムラックス オープン
  - TMME 設立
- '91年(平成3年)
  - 山梨事業所操業開始
- '92年(平成4年)
  - 「トヨタ基本理念」発表
  - 「トヨタ地球環境憲章」制定
  - TMUK 生産開始
- '94年(平成6年)
  - VW・Audi 車販売店舗 DUO オープン
  - トヨタ自動車北海道(株)操業開始
  - トヨタ自動車九州(株)操業開始
- '94年(平成6年)
  - 産業技術記念館オープン
- '96年(平成8年)
  - (株)コンボン研究所設立
- '98年(平成10年)
  - トヨタオート店 社名をネットヨタに変更
  - フランス新工場建設を発表
  - TMMI/TMMWV 操業開始
  - 天津トヨタ自動車エンジン有限会社操業開始
  - トヨタ自動車東北(株)操業開始
- '99年(平成11年)
  - MEGA WEB(メガウェブ)オープン
  - ニューヨーク・ロンドン株式上場
  - トヨタ・キルロスカ・モーター社操業開始



TMUK 全景



天津エンジン工場  
操業開始

- '00年(平成12年)
  - 金融統括会社「トヨタファイナンスサービス株式会社」設立
  - 四川トヨタ自動車有限会社生産開始
- '01年(平成13年)
  - TMMF 生産開始
  - TMMAL 設立
- '02年(平成14年)
  - F1 参戦
  - TPCA 設立
  - TMMP 生産開始
  - 中国第一汽車集団公司と中国での自動車事業で協力関係構築
  - TMMBC 設立
  - TKAP 設立
  - 天津トヨタ自動車有限会社生産開始
  - TMIP 設立
- '03年(平成15年)
  - TMMTX 設立

## 新車発表／生産・販売・輸出実績

- '80年(昭和55年)
  - セリカ・カムリ(現・カムリ)、クレスト発表
- '81年(昭和56年)
  - ソアラ発表
- '82年(昭和57年)
  - ビスタ、カローラⅡ、スプリンターカブリ、マスターエース・サーフ発表
- '84年(昭和59年)
  - ハイラックスサーフ、MR2発表
- '89年(平成元年)
  - デリボーイ、セルシオ発表



ソアラ



セルシオ

- '90年(平成2年)
  - セラ、エスティマ発表
- '91年(平成3年)
  - サイノス、ウィンダム、アリスト発表
- '92年(平成4年)
  - セプター、カルディナ発表
- '94年(平成6年)
  - カレン、RAV4L、RAV4J発表
- '95年(平成7年)
  - アバロン、グランビア、トヨタキャバリエ、クラウン・コンフォート発表
- '96年(平成8年)
  - メガクルーザー、イブサム発表
- '97年(平成9年)
  - ハイエースレジアス(現・レジアス)、ラウム、プリウス、ハリヤー発表
- '98年(平成10年)
  - プログレ、ガイア、ナディア、デュエット、アルテッツァ発表
- '99年(平成11年)
  - ヴィッツ、キャミ、ブラッツ、ファンカーゴ、MR-S発表



プリウス



ヴィッツ

- '00年(平成12年)
  - WiLL Vi、bB、プロナード、オーバ、スパーキー、クルーガーV発表
- '01年(平成13年)
  - アレックス、WILL VS、プレビス、ヴェロッサ、エスティマハイブリッド、ヴェクシー、ノア、プレミオ、アリオン発表
- '02年(平成14年)
  - イスト、アルファード、プロボックス、サクシード、ヴォルツ、WILL サイファ発表
  - 「トヨタFCHV」限定販売
- '03年(平成15年)
  - ウィッシュ発表

- '85年(昭和60年)
  - 輸出累計 2,000万台達成
- '86年(昭和61年)
  - 国内生産累計 5,000万台達成
- '88年(昭和63年)
  - 年間国内販売 200万台達成



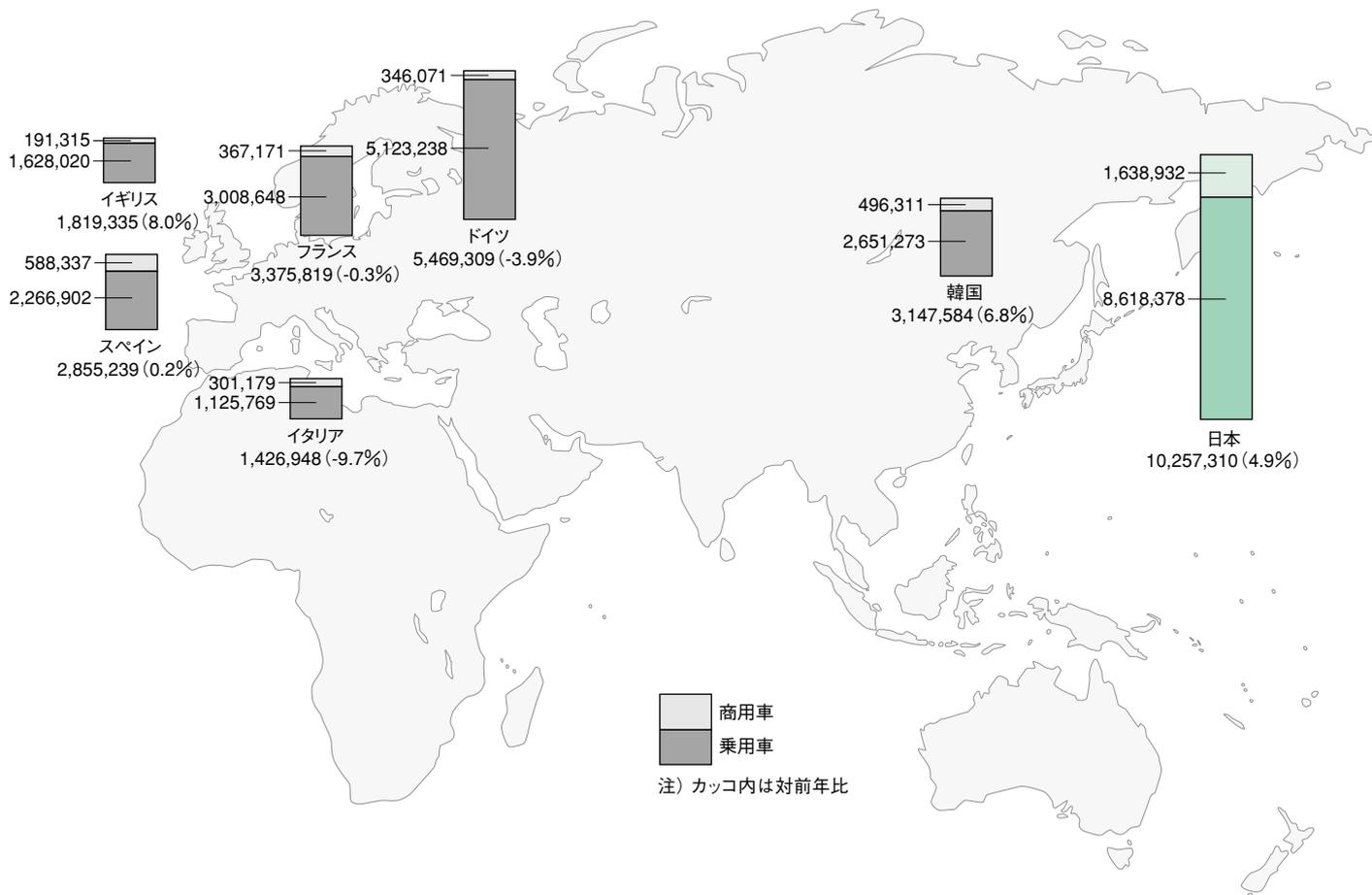
- '94年(平成6年)
  - 年間海外生産 100万台達成
- '99年(平成11年)
  - 国内生産累計 1億台達成
  - 年間海外販売 300万台達成



- '02年(平成14年)
  - 北米生産累計 1,000万台達成
  - プリウス販売累計 10万台突破

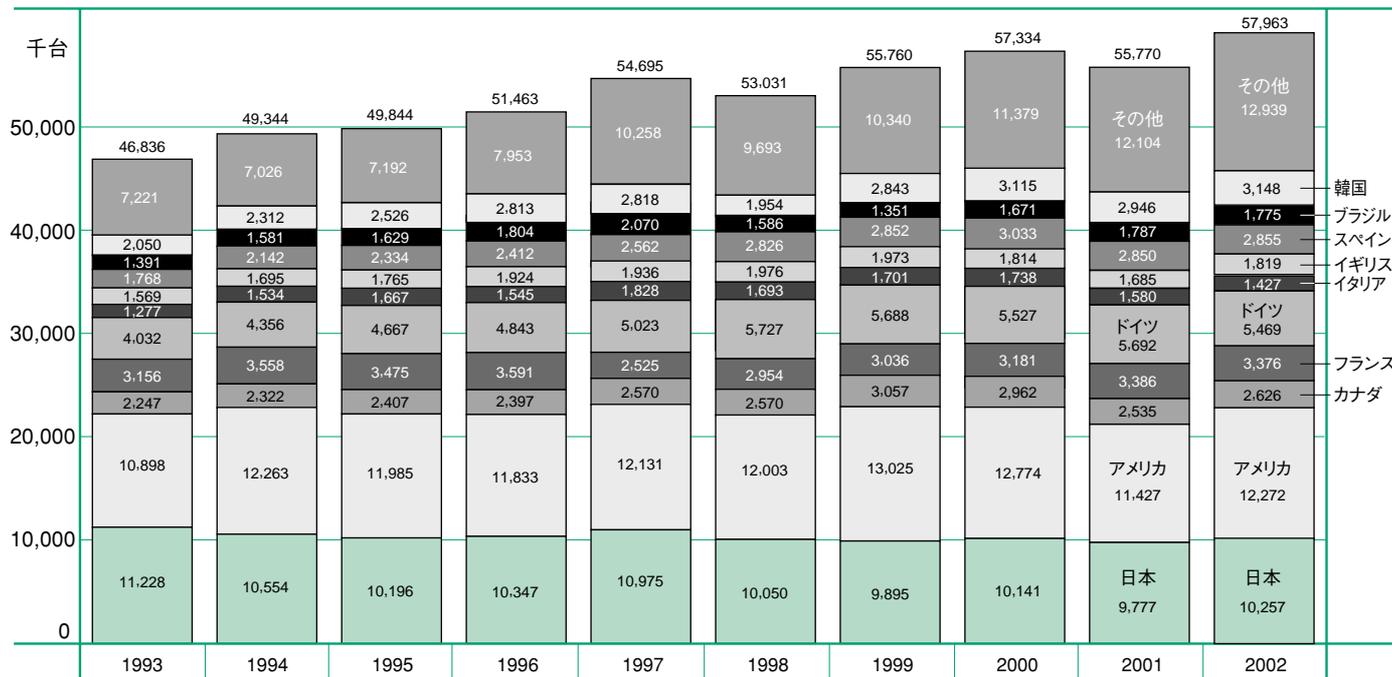
# トヨタの概況 2003・データ編 目次

世界 ●			
自動車生産	台数推移 ●		60
	メーカー別 ●		62
主要市場の自動車販売	国／地域別 ●		63
	乗用車のメーカー別・車名別 ●		64
自動車保有	国／地域別 ●		65
日本 ●			
自動車生産	台数推移・メーカー別 ●		66
自動車登録・届け出台数	台数推移、メーカー別、 車名別登録・届け出台数ベスト10 ●		67
	都道府県別 ●		68
自動車輸出・海外生産	台数推移、メーカー別、国／地域別 ●		69
輸入車登録台数	台数推移、輸入国別 ●		71
自動車保有・運転免許保有 ●			72
交通事故発生状況 ●			74
自動車関係税制 ●			75
自動車税制のグリーン化 ●			76



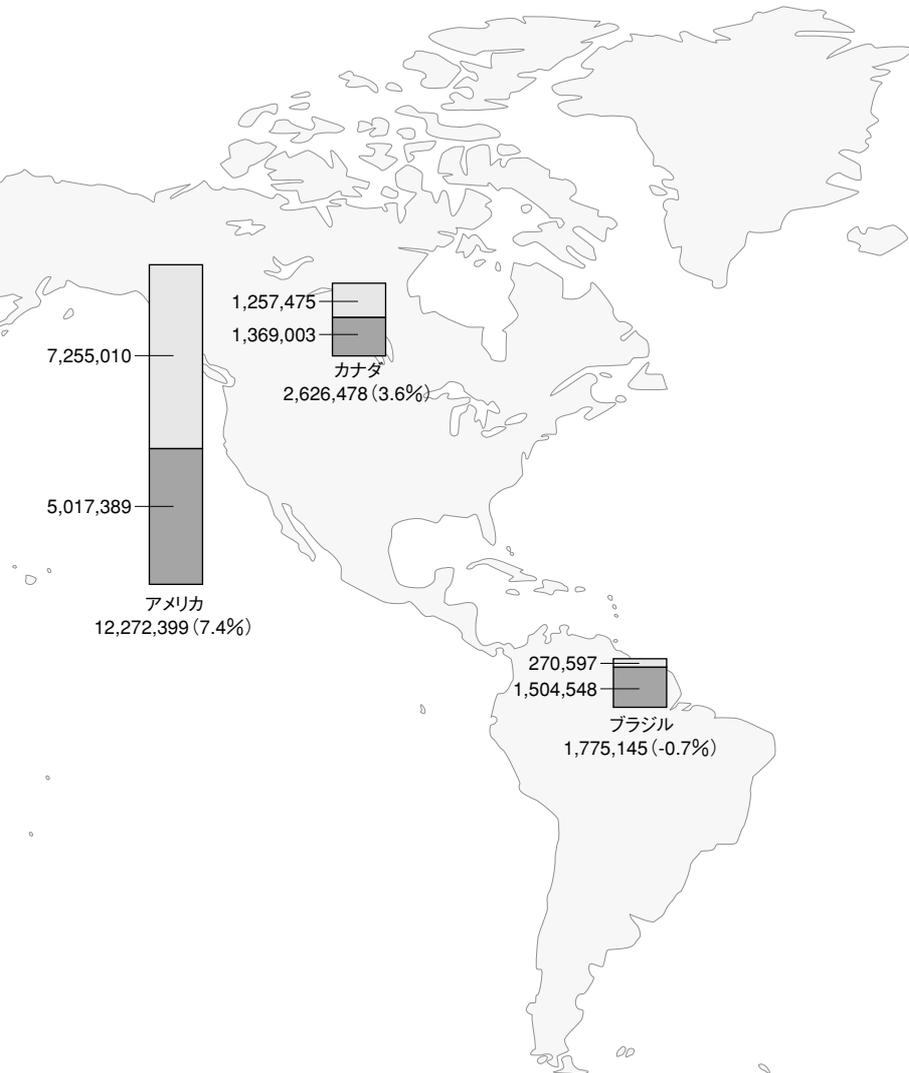
■主要自動車生産国の自動車生産台数

(単位：千台)

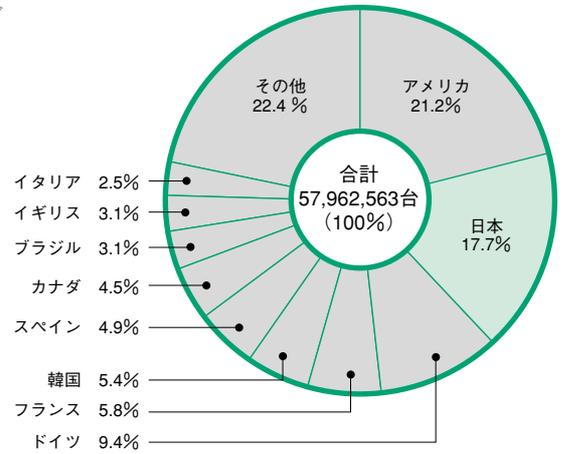


注) フランス自動車工業会は1998年から生産台数の算出方法を変更し1997年までさかのぼって修正。2002年の「その他」は推計。

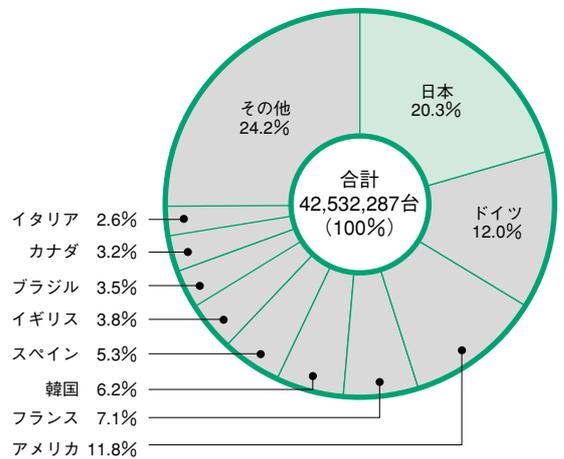
資料：各国自工会



2002年国別自動車生産（シェア）



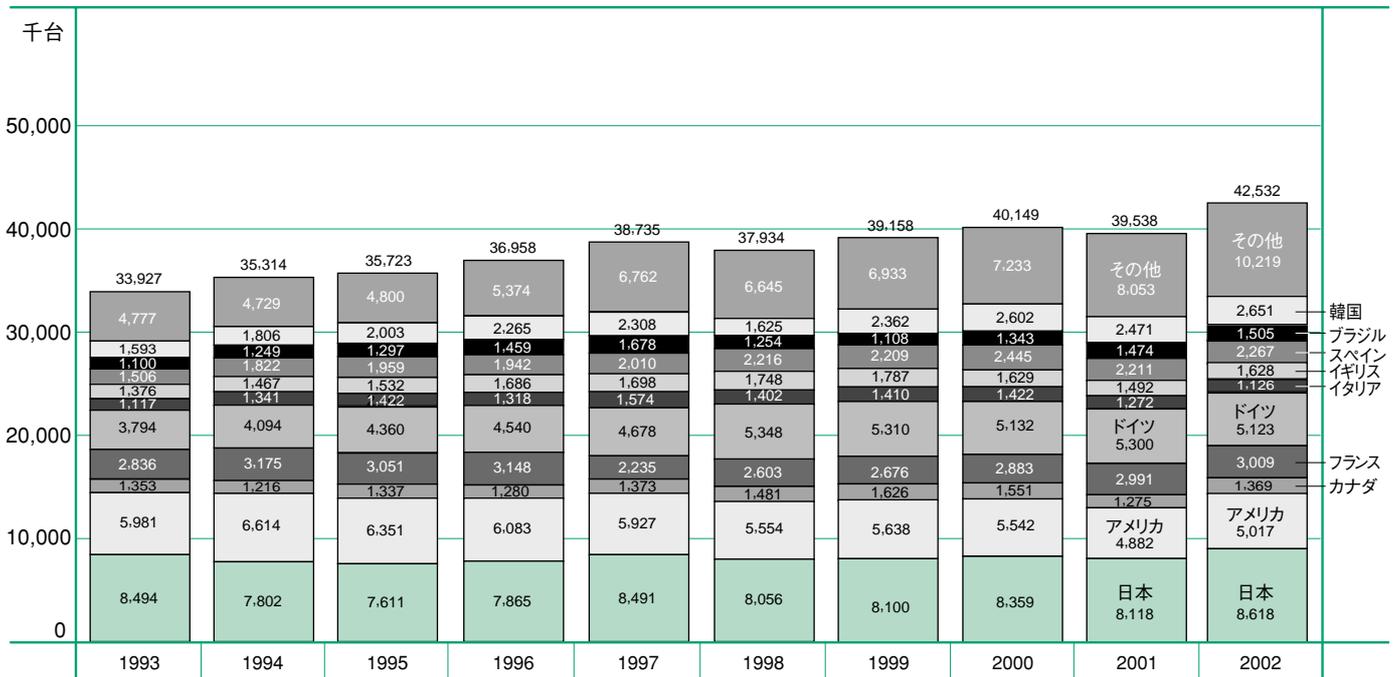
2002年国別乗用車生産（シェア）



資料：各国自工会

■主要自動車生産国の乗用車生産台数

(単位：千台)



注) フランス自動車工業会は1998年から生産台数の算出方法を変更し1997年までさかのぼって修正。  
2002年の「その他」は推計。

資料：各国自工会

■世界の国別メーカー別自動車生産台数(2002年)

国名	会社名	乗用車	商用車	合計	0	100	200	300	400
アメリカ	GM	1,672,658	2,419,872	4,092,530					
	フォード	1,072,389	2,340,547	3,412,936					
	ダイムラー・クライスラー <sup>*1</sup>	420,064	1,419,779	1,839,843					
	トヨタ <sup>*2</sup>	592,166	445,398	1,037,564					
イギリス	トヨタ	211,741	—	211,741					
	MGローバー	147,037	—	147,037					
	ボグゾール	123,522	11,963	135,485					
	フォード <sup>*3</sup>	12,904	54,793	67,697					
ドイツ	VW	1,115,662	94,863	1,210,525					
	ダイムラー・クライスラー <sup>*4</sup>	979,237	194,293	1,173,530					
	オベル	868,752	—	868,752					
	BMW	751,246	—	751,246					
	アウディ	681,865	—	681,865					
フランス	プジョー	1,304,259	66,789	1,371,048					
	ルノー	1,125,355	209,628	1,334,983					
	シトロエン	579,034	44,189	623,223					
	トヨタ	136,972	—	136,972					
イタリア	フィアットグループ <sup>*5</sup>	1,062,706	209,460	1,272,166					
韓国	現代	1,433,897	296,156	1,730,053					
	起亜	701,615	190,439	892,054					
日本	トヨタ <sup>*6</sup>	3,514,490	624,383	4,138,873					
	日産	1,192,770	199,669	1,392,439					
	ホンダ	1,328,640	57,739	1,386,379					
	三菱	685,213	186,091	871,304					

注) ※1 メルセデスベンツを含む。 ※2 NUMMIの台数(含むプリズム)を含む。 ※3 ジャガー、アストンマーチン、ランドローバーを含まない。 ※4 クライスラー部門を含まない。 ※5 アルファロメオ、ランチア、イベコを含む。 ※6 ダイハツ、日野を含む。 資料: Ward's、各国自工会

■世界のメーカー別自動車生産台数(2002年)

メーカー	生産台数	0	200	400	600	800	1,000	
GM	8,278,000							
トヨタ	6,314,008							
VW グループ	5,023,000							
ダイムラー・クライスラー	4,471,859							
PSAプジョー・シトロエン	3,262,100							
ホンダ	2,900,787							
現代	2,791,541							
日産	2,690,295							
ルノー	2,343,954							
三菱	1,822,644							
スズキ	1,798,089							
BMW	1,057,344							
マツダ	943,358							

注) 1. GMはオベル、サーブ、ボグゾール、いすゞを含む。 2. トヨタはダイハツ、日野を含む。 3. VWグループはアウディ、セアト、スコダ、ベントレーを含む。 4. ダイムラー・クライスラーには三菱を含まない。 5. ルノーはダチア、ルノー・サムスン・モーターズを含む。 6. フォードは生産台数未発表。 7. 現代は起亜を含む。 資料: PSAプジョー・シトロエン、ルノーはフランス自工会(CCF)、その他は各社資料

■ 国／地域別新車販売台数(2001年)

国／地域	総数	乗用車	万台			
			0	500	1000	1500
アメリカ	17,472,378	8,442,625				
日本	5,906,469	4,289,682				
ドイツ	3,638,319	3,341,718				
イギリス	2,772,180	2,458,769				
フランス	2,750,995	2,254,732				
イタリア	2,631,978	2,411,808				
中国	2,363,665	721,643				
韓国	1,837,739	1,451,450				
スペイン	1,811,713	1,498,849				
カナダ	1,597,875	868,188				
ブラジル	1,423,007	1,176,579				
ロシア	1,200,000	—				
メキシコ	917,405	674,033				
インド	878,782	729,894				
オーストラリア	772,681	529,452				
オランダ	631,748	530,287				
ベルギー	561,773	488,683				
マレーシア	396,381	343,243				
南アフリカ	366,889	239,066				
ポルトガル	361,465	248,529				
ポーランド	349,648	327,245				
スイス	345,835	314,580				
オーストリア	327,536	293,528				
台湾	284,800	203,956				
スウェーデン	281,847	246,581				

資料：アメリカ、カナダはWard's、その他はSMMT、各国自工会

■主要自動車市場のメーカー別乗用車販売台数(2001年)

国名	会社名	販売台数
アメリカ	GM	2,272,480
	フォード	1,495,239
	トヨタ	955,711
	ホンダ	899,887
	ダイムラー・クライスラー <sup>※1</sup>	558,017
カナダ	GM	245,718
	ホンダ	119,442
	フォード	92,679
	トヨタ	91,216
	ダイムラー・クライスラー <sup>※1</sup>	68,140
ドイツ	VW	633,075
	ダイムラー・クライスラー <sup>※2</sup>	406,000
	オペル	394,586
	フォード	269,550
	BMW	238,397
イギリス	フォード	404,334
	オペル/ボグゾール	310,153
	プジョー	206,116
	ルノー	181,651
	VW	172,848
フランス	ルノー	599,857
	プジョー	466,554
	シトロエン	295,382
	VW	161,607
	オペル	137,831
イタリア	フィアット	627,110
	オペル	211,915
	フォード	186,426
	VW	182,279
	ルノー	169,866
スペイン	ルノー	180,297
	GM/オペル	161,181
	セアト	158,326
	プジョー	156,870
	シトロエン	155,247
日本	トヨタ	1,206,811
	ホンダ	798,478
	日産	493,765
	スズキ	432,042
	ダイハツ	382,997

■主要自動車市場の乗用車車名別販売台数(2001年)

国名	車名	会社名	販売台数
アメリカ	Accord	ホンダ	414,718
	Camry	トヨタ	390,449
	Taurus	フォード	353,560
	Civic	ホンダ	331,780
	Focus	フォード	264,414
カナダ	Civic	ホンダ	66,300
	Cavalier	GM	49,094
	Focus	フォード	41,752
	Sunfire	GM	41,398
	Corolla	トヨタ	39,161
ドイツ	Golf	VW	269,295
	C Class	ダイムラー・クライスラー	156,815
	3 Series	BMW	148,502
	Astra	オペル	144,305
	Passat	VW	143,757
イギリス	Focus	フォード	137,074
	Astra	ボグゾール	98,999
	Fiesta	フォード	98,221
	206	プジョー	97,557
	Corsa	ボグゾール	93,712
フランス	206	プジョー	211,226
	Clio	ルノー	189,472
	Megane	ルノー	175,053
	Xsara	シトロエン	146,585
	Laguna	ルノー	99,247
イタリア	Punto	フィアット	287,053
	Focus	フォード	98,111
	Seicento	フィアット	95,605
	Y	ランチア	91,876
	Panda	フィアット	89,282
スペイン	Xsara	シトロエン	96,870
	Megane	ルノー	93,502
	206	プジョー	72,769
	Ibiza	セアト	70,688
	Focus	フォード	69,075
日本	カローラ	トヨタ	236,507
	ヴィッツ	トヨタ	142,513
	ストリーム	ホンダ	119,877
	エスティマ	トヨタ	118,901
	ステップワゴン	ホンダ	110,014

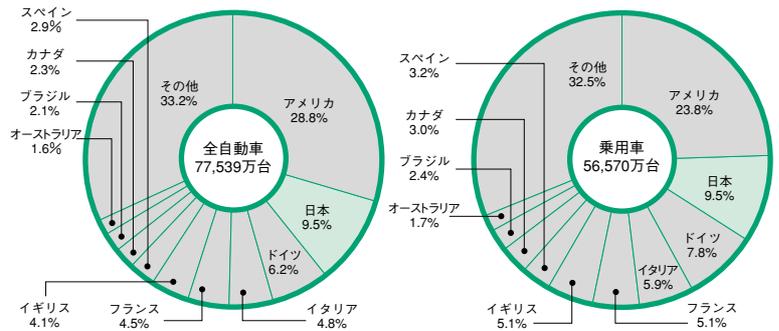
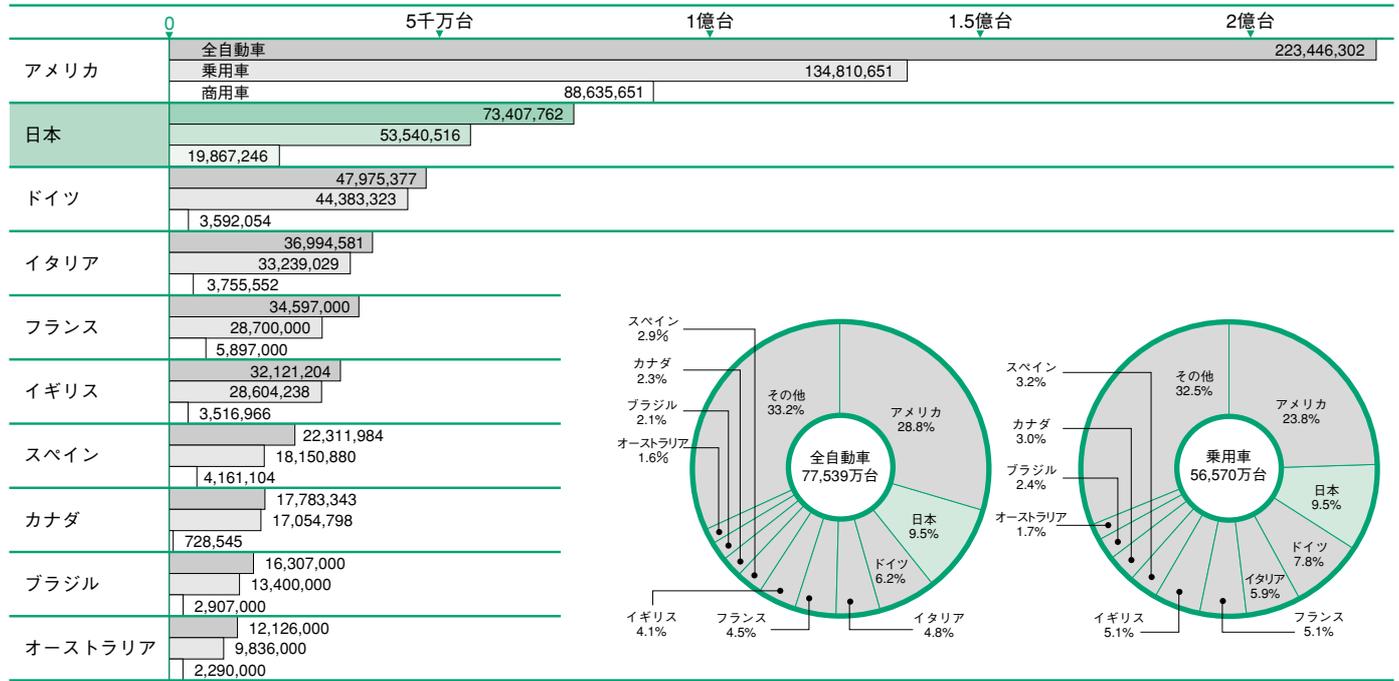
注)日本は輸入車、軽自動車を含む。  
 ※1メルセデスベンツは含まない。  
 ※2クライスラーは含まない。

資料:日本は日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合  
 それ以外はWard's、SMMT

注)日本は軽自動車、輸入車を除く。

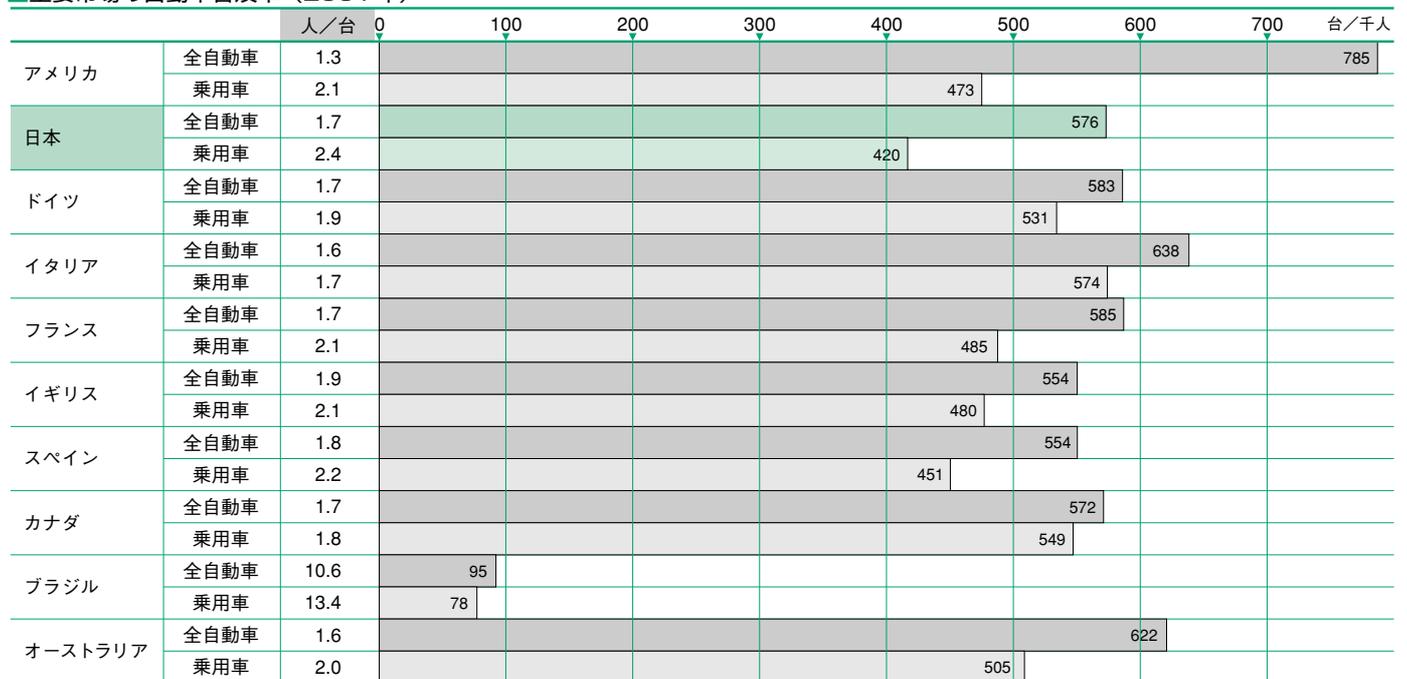
資料: SMMT、Ward's、日本自動車販売協会連合会

■主要市場の自動車保有台数 (2001年)



資料：SMMT

■主要市場の自動車普及率 (2001年)



資料：保有台数はSMMT、人口はIMF

■地域別自動車普及率

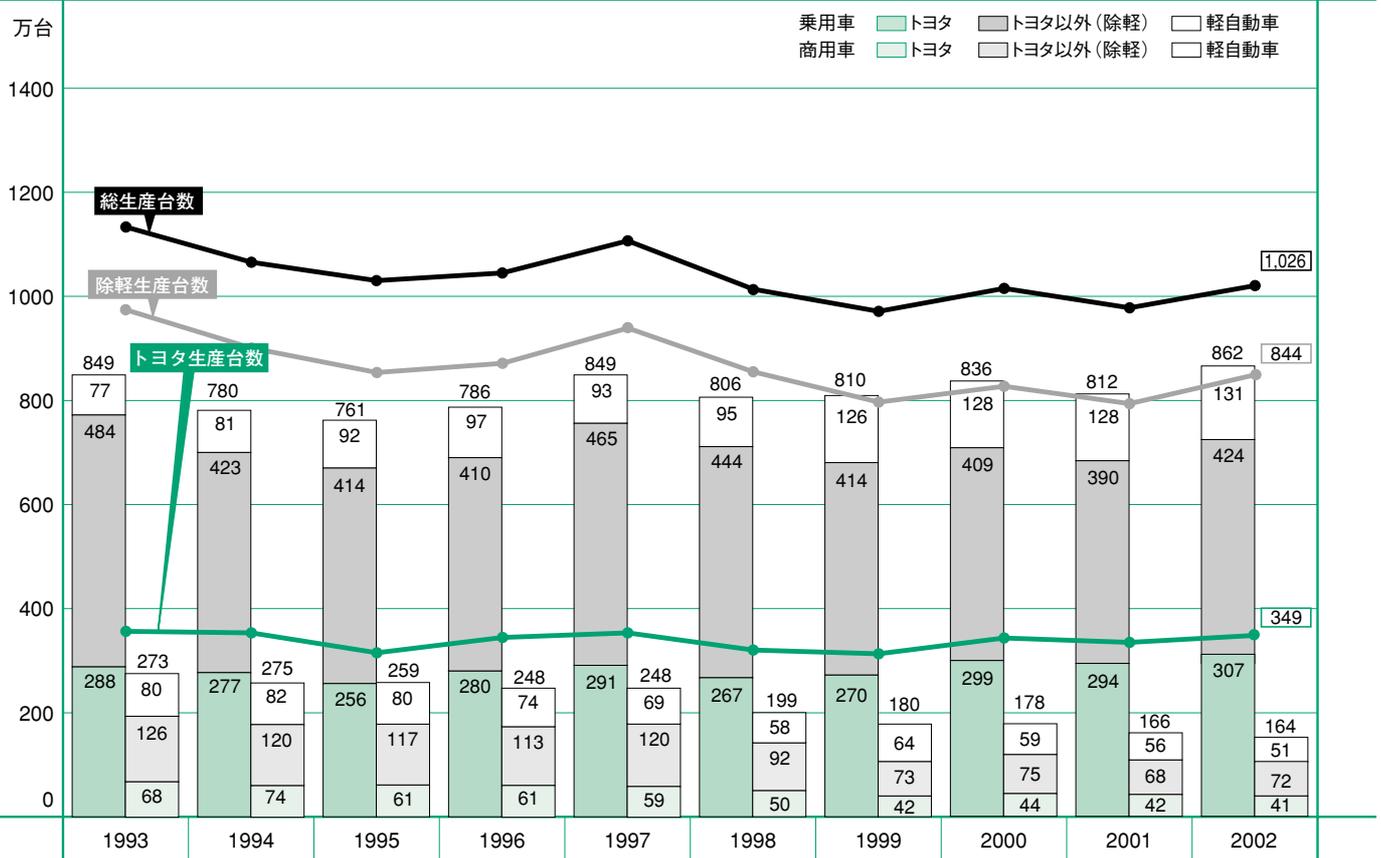
(単位：人/台)

地域	1997		1998		1999		2000		2001	
	全自動車	乗用車								
ヨーロッパ	3.4	3.9	3.3	3.9	3.3	3.8	3.1	3.7	2.7	3.1
うちEU	1.9	2.2	1.9	2.2	1.9	2.1	1.8	2.1	1.8	2.0
南北アメリカ	2.8	4.2	3.0	4.7	3.0	4.6	2.8	4.3	2.7	4.1
アジア	23.5	35.4	24.9	38.3	24.2	37.1	23.5	35.6	21.4	32.3
アフリカ	41.9	63.0	44.6	67.0	44.0	66.7	42.6	64.4	42.0	61.6
オセアニア	2.0	2.5	2.0	2.5	1.9	2.4	1.9	2.3	1.9	2.4
全世界	8.0	10.9	8.5	11.6	8.3	11.4	8.0	11.0	7.6	10.4

注) 中近東は、アジアとヨーロッパに含まれる。

資料：SMMT

国内生産台数の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料: 日本自動車工業会

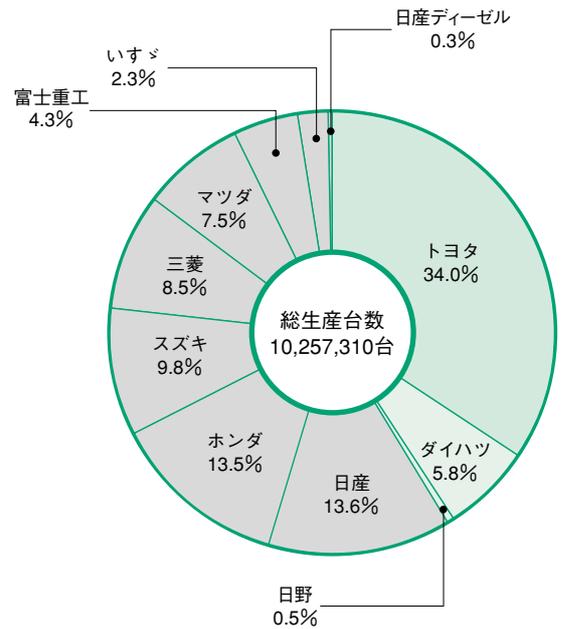
メーカー別自動車生産台数(含軽) (2002年)

(単位: 台、%)

会社名	総生産台数		乗用車	
	生産台数	前年比	生産台数	前年比
<b>トヨタ</b>	<b>3,485,162</b>	<b>103.9</b>	<b>3,070,450</b>	<b>104.5</b>
<b>ダイハツ</b>	<b>599,541</b>	<b>93.8</b>	<b>444,040</b>	<b>92.0</b>
<b>日野</b>	<b>54,170</b>	<b>101.4</b>	—	—
日産	1,392,439	109.6	1,192,770	109.6
ホンダ	1,386,379	107.9	1,328,640	108.9
スズキ	999,880	110.2	817,038	114.7
三菱	871,304	104.4	685,213	108.4
マツダ	773,418	106.1	716,117	109.0
富士重工	436,355	94.3	355,394	95.4
いすゞ	231,053	107.0	8,475	66.1
日産ディーゼル	26,768	110.8	—	—
その他	841	90.5	241	49.0
合計	10,257,310	104.9	8,618,378	106.2

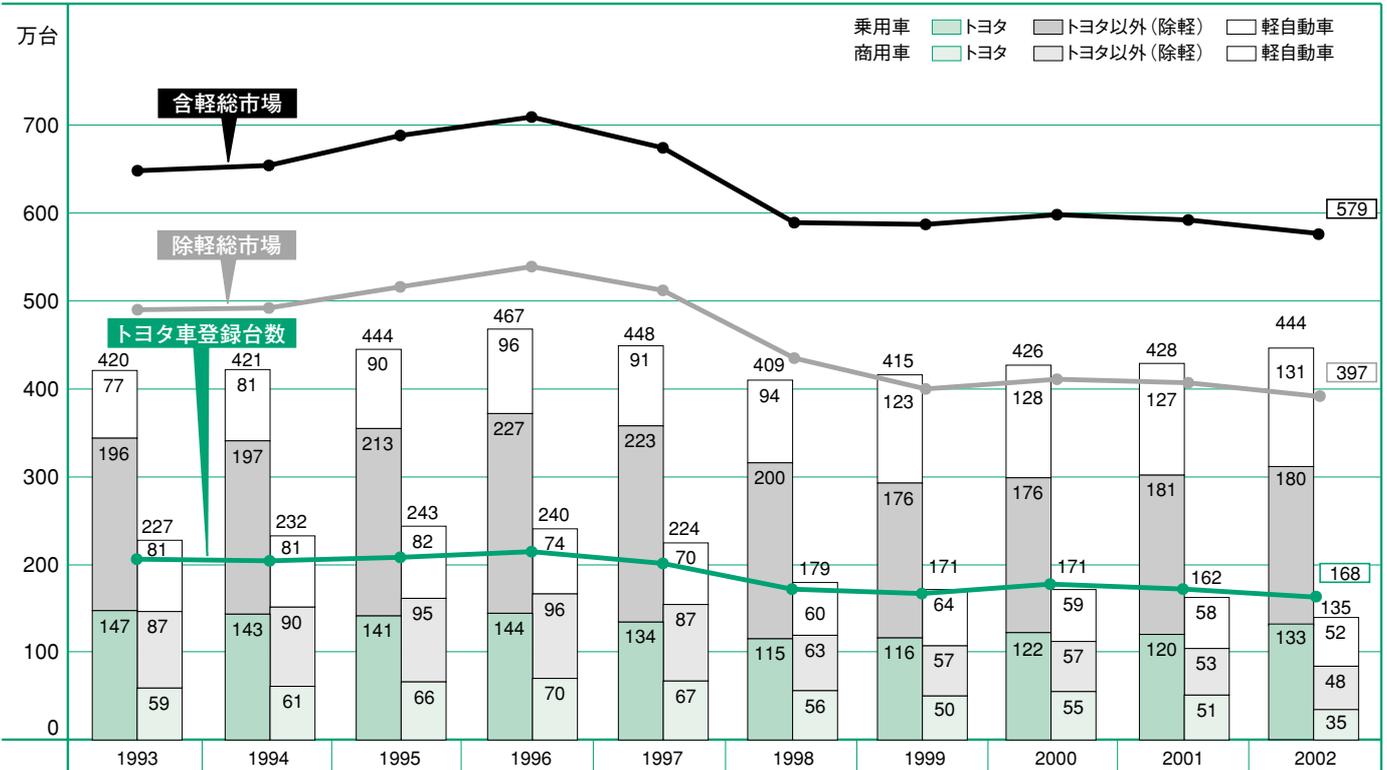
資料: 日本自動車工業会

メーカー別生産シェア(含軽) (2002年)



資料: 日本自動車工業会

国内登録・届け出数の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

メーカー別登録・届け出数(2002年)

(単位: 台、%)

会社名	登録台数(除軽)					登録・届出数(含軽)				
	乗用車	商用車	合計	前年比(%)	シェア(%)	乗用車	商用車	合計	前年比(%)	シェア(%)
トヨタ*	1,330,612	349,893	1,680,505	98.0	42.4	1,330,612	349,893	1,680,505	98.0	29.0
ダイハツ	8,388	6,298	14,686	52.6	0.4	358,093	146,503	504,596	93.1	8.7
日野	-	33,210	33,210	96.7	0.8	-	33,210	33,210	96.7	0.6
日産*	507,179	229,567	736,746	100.7	18.6	544,174	229,567	773,741	105.7	13.4
ホンダ*	609,680	4,332	614,012	107.9	15.5	844,272	58,437	902,709	104.6	15.6
マツダ	181,363	37,613	218,976	90.4	5.5	217,095	45,986	263,081	93.5	4.5
三菱*	89,097	87,406	176,503	76.1	4.5	256,735	159,653	416,388	85.3	7.2
富士重工*	104,675	-	104,675	90.5	2.6	170,305	85,070	255,375	88.2	4.4
いすゞ*	1,403	54,656	56,059	88.9	1.4	1,403	54,656	56,059	88.9	1.0
スズキ	45,272	9,156	54,428	103.0	1.4	458,613	167,999	626,612	100.7	10.8
日産ディーゼル	-	15,694	15,694	96.2	0.4	-	15,694	15,694	96.2	0.3
その他・輸入車	256,528	4,071	260,599	100.7	6.6	260,052	4,071	264,123	99.5	4.6
	(272,994)	(4,071)	(277,065)	(100.6)	(7.0)	(276,519)	(4,071)	(280,590)	(99.5)	(4.8)
合計	3,134,197	831,896	3,966,093	97.7	100.0	4,441,354	1,350,739	5,792,093	98.0	100.0

注) ※海外生産車を含む。「その他・輸入車」の上段は輸入車から日本メーカーブランドとして登録されたものを除いた数字、下段は含む数字。資料: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

国内販売車両の乗用車系車名別登録・届け出数ベスト10(2002年)

順位	車名	会社名	登録台数	前年比(%)
1	フィット	ホンダ	250,790	240.5
2	カローラ	トヨタ	226,222	95.7
3	マーチ	日産	139,332	230.6
4	イスト	トヨタ	103,579	-
5	ヴィッツ	トヨタ	100,801	70.7
6	エスティマ	トヨタ	95,765	80.5
7	ノア	トヨタ	93,744	約8.7倍
8	ヴォクシー	トヨタ	81,299	約8.9倍
9	キューブ	日産	75,215	100.3
10	モビリオ	ホンダ	72,242	約37倍

注) カローラにはカローラバシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。

順位	車名	会社名	登録・届出数	前年比(%)
1	フィット	ホンダ	250,790	240.5
2	カローラ	トヨタ	226,222	95.7
3	ワゴンR	スズキ	159,891	67.1
4	トゥデイ・ライフ	ホンダ	149,704	79.0
5	ムーヴ	ダイハツ	149,213	87.0
6	マーチ	日産	139,332	230.6
7	eKワゴン	三菱	131,449	313.5
8	アルト・アルトラバン	スズキ	111,052	194.7
9	イスト	トヨタ	103,579	-
10	ヴィッツ	トヨタ	100,801	70.7

資料: 日本自動車販売協会連合会、トヨタ自動車

自動車登録・届け出数

(単位:台、%)

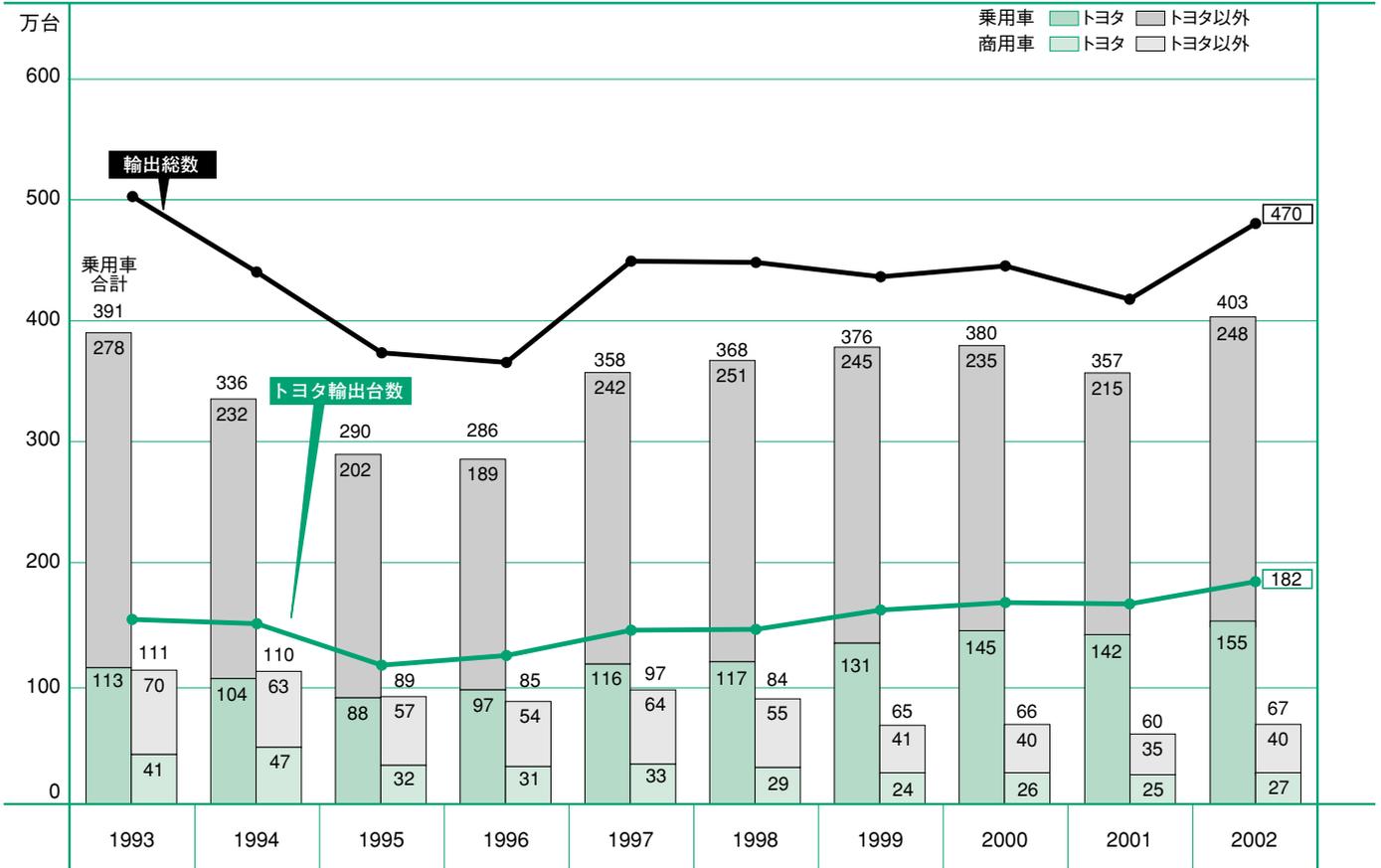
都道府県別の登録台数とメーカー別シェア(除軽、2002年)

	シェア						除軽総市場(前年比)	軽自動車〔シェア〕
	トヨタ(登録台数)	日産	ホンダ	三菱	マツダ	その他		
北海道	44.6 (77,768)	16.9	14.4	7.0	5.4	11.7	174,364 (94.3)	62,277 [26.3]
青森	41.1 (14,871)	18.4	17.9	4.7	2.8	15.1	36,158 (93.6)	27,125 [42.9]
岩手	42.3 (15,249)	17.5	17.8	5.6	4.0	12.8	36,048 (94.2)	24,486 [40.5]
宮城	39.5 (29,200)	19.2	17.6	6.1	4.5	13.1	73,882 (94.2)	37,402 [33.6]
秋田	36.3 (11,987)	25.9	17.2	3.9	5.7	11.0	33,016 (93.8)	22,541 [40.6]
山形	42.4 (16,486)	19.2	16.0	5.3	4.5	12.7	38,908 (93.6)	23,130 [37.3]
福島	38.9 (24,911)	21.9	15.8	5.1	5.8	12.5	64,022 (93.5)	33,576 [34.4]
茨城	40.1 (40,121)	18.2	18.6	4.1	7.1	11.9	100,004 (95.8)	40,536 [28.8]
栃木	40.9 (32,026)	20.7	18.5	3.6	4.3	12.0	78,291 (100.4)	32,124 [29.1]
群馬	38.7 (32,084)	22.8	14.6	3.9	4.6	15.4	82,857 (98.4)	37,182 [31.0]
埼玉	38.7 (88,826)	20.2	17.5	4.7	5.5	13.4	229,542 (100.8)	70,236 [23.4]
千葉	40.9 (75,468)	18.2	17.9	4.3	4.1	14.6	184,522 (98.8)	60,943 [24.8]
東京	38.2 (127,762)	21.3	11.2	3.8	3.9	21.6	334,719 (98.4)	68,296 [16.9]
神奈川	41.1 (114,893)	22.6	12.6	4.1	3.3	16.3	279,316 (99.7)	60,237 [17.7]
新潟	38.6 (28,768)	19.9	18.2	5.0	5.4	12.9	74,474 (97.0)	50,562 [40.4]
山梨	43.1 (12,322)	16.8	16.8	4.6	5.1	13.6	28,603 (95.0)	16,121 [36.0]
富山	43.6 (17,403)	15.3	18.0	4.7	6.7	11.7	39,890 (96.6)	21,070 [34.6]
石川	45.5 (19,567)	16.0	17.0	4.2	5.5	11.8	43,008 (96.5)	20,111 [31.9]
福井	41.9 (12,797)	15.4	17.0	5.5	7.4	12.8	30,506 (96.1)	17,999 [37.1]
長野	39.3 (31,264)	22.3	15.6	3.8	5.7	13.3	79,520 (94.8)	49,438 [38.3]
岐阜	48.3 (39,956)	15.2	14.6	3.8	5.9	12.2	82,789 (97.4)	42,461 [33.9]
静岡	38.4 (55,305)	21.6	16.7	3.9	5.8	13.6	143,850 (97.4)	73,151 [33.7]
愛知	57.0 (193,310)	11.9	11.9	3.8	4.1	11.3	339,081 (100.2)	117,618 [25.8]
三重	42.0 (31,715)	17.7	20.8	2.9	5.4	11.2	75,592 (101.4)	42,558 [36.0]
滋賀	46.4 (20,130)	16.8	14.5	4.0	5.7	12.6	43,340 (96.1)	27,046 [38.4]
京都	42.9 (31,684)	17.8	15.4	5.1	5.3	13.5	73,792 (99.2)	34,620 [31.9]
大阪	41.2 (97,815)	18.7	15.1	4.0	7.6	13.4	237,333 (95.8)	89,044 [27.3]
兵庫	40.4 (61,857)	18.9	14.7	4.5	7.1	14.4	153,134 (96.8)	66,879 [30.4]
奈良	46.5 (18,913)	14.5	16.6	2.9	6.3	13.2	40,635 (94.0)	19,550 [32.5]
和歌山	43.0 (11,368)	17.4	19.5	3.8	3.2	13.1	26,437 (96.5)	21,041 [44.3]
鳥取	39.3 (6,872)	15.6	20.1	6.7	5.7	12.6	17,494 (96.8)	17,777 [50.4]
島根	42.8 (9,981)	19.3	17.0	6.0	4.8	10.1	23,333 (97.2)	21,389 [47.8]
岡山	41.4 (23,747)	14.1	18.8	7.1	5.6	13.0	57,379 (96.9)	43,633 [43.2]
広島	40.2 (34,468)	15.0	14.5	5.1	12.5	12.7	85,785 (100.3)	54,434 [38.8]
山口	43.0 (21,666)	17.6	15.4	5.5	7.1	11.4	50,404 (98.6)	36,668 [42.1]
徳島	43.8 (9,890)	13.1	18.7	3.9	6.0	14.5	22,593 (97.8)	16,853 [42.7]
香川	44.1 (12,511)	12.1	20.6	5.0	4.6	13.6	28,376 (94.8)	23,074 [44.8]
愛媛	43.4 (15,192)	16.9	15.7	4.0	7.4	12.6	35,035 (98.3)	26,507 [43.1]
高知	37.6 (8,026)	23.0	17.8	4.5	6.7	10.4	21,373 (98.7)	17,853 [45.5]
福岡	42.2 (61,984)	20.8	14.3	4.4	6.3	12.0	146,941 (97.5)	72,425 [33.0]
佐賀	41.2 (8,660)	17.4	18.0	5.0	4.0	14.4	21,019 (96.8)	20,317 [49.2]
長崎	36.2 (11,318)	17.9	21.1	6.4	5.5	12.9	31,273 (99.3)	29,692 [48.7]
熊本	40.4 (18,399)	20.1	18.2	3.9	5.8	11.6	45,500 (96.6)	34,388 [43.0]
大分	38.8 (13,133)	21.3	16.9	4.5	5.7	12.8	33,844 (98.3)	24,873 [42.4]
宮崎	41.9 (13,048)	18.1	18.2	3.5	7.4	10.9	31,106 (99.5)	26,301 [45.8]
鹿児島	43.2 (17,580)	17.6	18.5	3.7	5.7	11.3	40,687 (96.4)	32,886 [44.7]
沖縄	46.7 (8,178)	13.4	14.3	6.1	8.0	11.5	17,505 (106.5)	17,571 [50.1]
全国	42.4 (1,680,479)	18.6	15.5	4.4	5.4	13.7	3,967,280 (97.7)	1,826,001 [31.5]

注) 1.〔 〕内は含軽総市場に占める軽自動車のシェア。 2. 海外生産車を含む。

資料: トヨタ自動車

日本の自動車輸出の推移



資料：日本自動車工業会

メーカー別自動車輸出台数 (2002年)

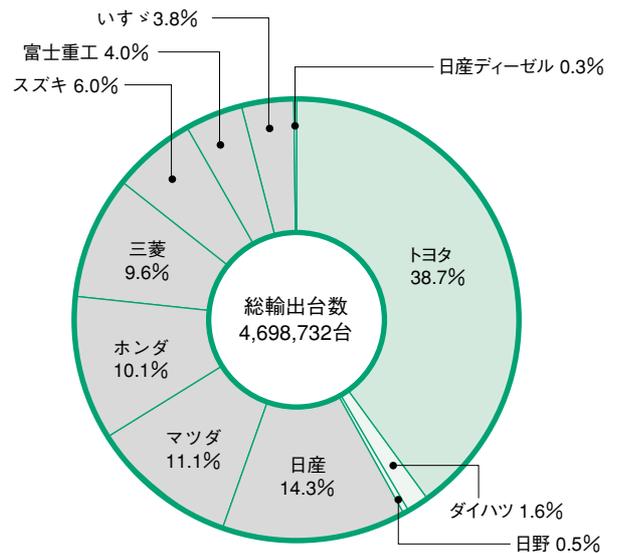
(単位: 台、%)

会社名	総輸出台数		乗用車	
	輸出台数	対前年比	輸出台数	対前年比
<b>トヨタ</b>	<b>1,816,785</b>	<b>109.1</b>	<b>1,550,546</b>	<b>109.5</b>
<b>ダイハツ</b>	<b>76,109</b>	<b>117.8</b>	<b>62,430</b>	<b>116.0</b>
<b>日野</b>	<b>22,925</b>	<b>122.6</b>	—	—
日産	672,671	120.8	551,073	119.0
マツダ	521,272	108.8	513,515	110.8
ホンダ	475,797	114.5	475,797	114.5
三菱	451,478	122.0	400,985	125.2
スズキ	282,449	111.2	266,207	111.6
富士重工	189,102	108.1	189,102	108.1
いすゞ	177,168	112.9	19,339	83.7
日産ディーゼル	12,976	131.3	—	—
合計	4,698,732	112.8	4,028,994	112.9

注) 合計には国際機関向け輸出を含む。

資料：日本自動車工業会

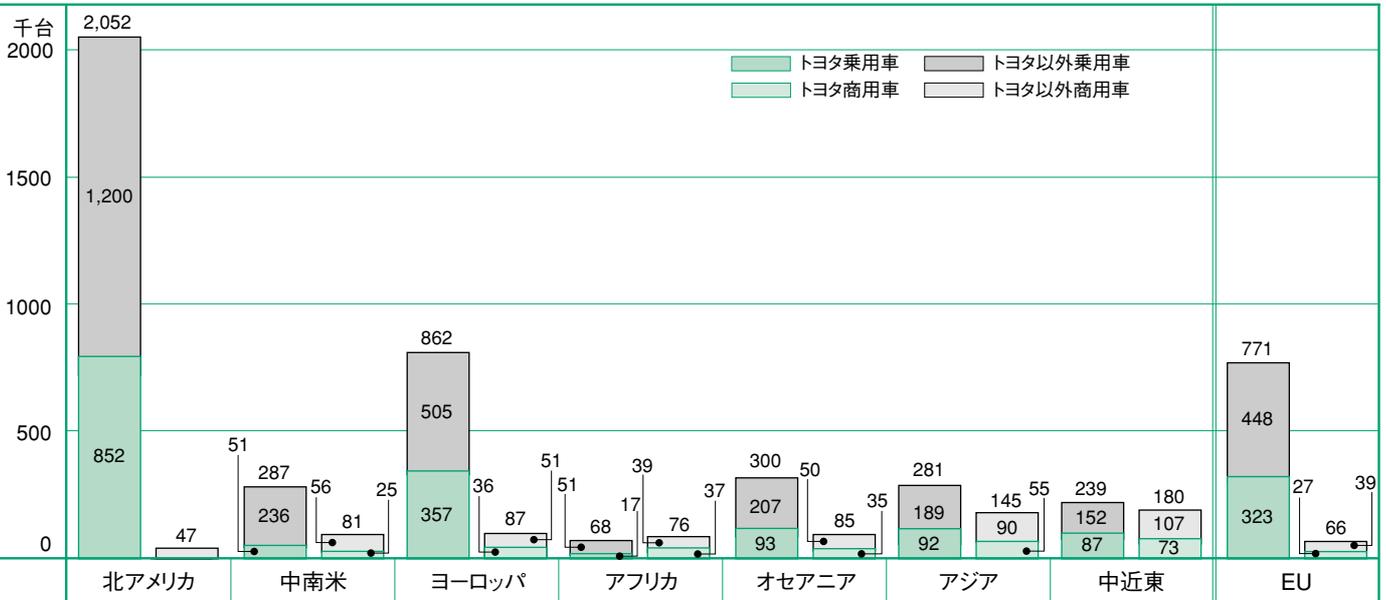
メーカー別輸出シェア (2002年)



注) 合計には国際機関向け輸出を含む。

資料：日本自動車工業会

■日本の自動車輸出 (2002年)



資料：日本自動車工業会、トヨタ自動車

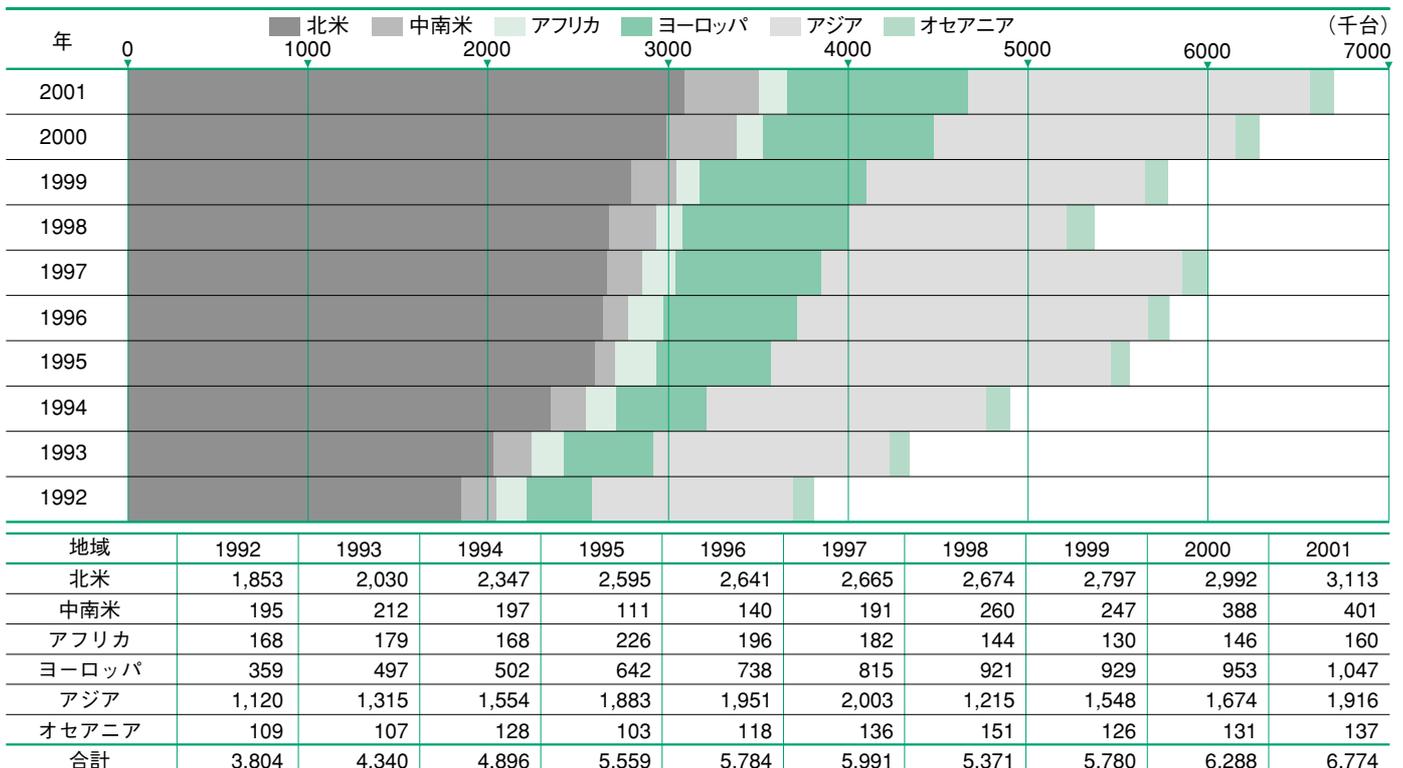
■日本の自動車輸出相手国ベスト10 (2002年)

(単位：台、%)

順位	国名	輸出総数		乗用車		商用車	
		輸出台数	対前年比	輸出台数	対前年比	輸出台数	対前年比
1	アメリカ	1,841,635	114.6	1,818,522	116.3	23,113	111.9
2	オーストラリア	337,999	112.5	268,247	107.6	69,759	136.5
3	カナダ	234,661	124.2	233,633	124.3	1,028	112.1
4	ドイツ	197,536	124.8	192,703	125.3	4,833	109.0
5	サウジアラビア	164,598	112.7	74,832	108.2	89,766	116.7
6	イギリス	162,878	109.0	149,970	109.4	12,908	104.1
7	イタリア	121,157	96.7	116,130	96.2	5,027	110.5
8	中国	96,315	229.4	78,163	226.3	18,152	243.6
9	U.A.E.	77,857	121.8	47,905	119.6	29,952	125.5
10	フランス	75,470	116.1	70,960	116.3	4,510	112.4

資料：日本自動車工業会

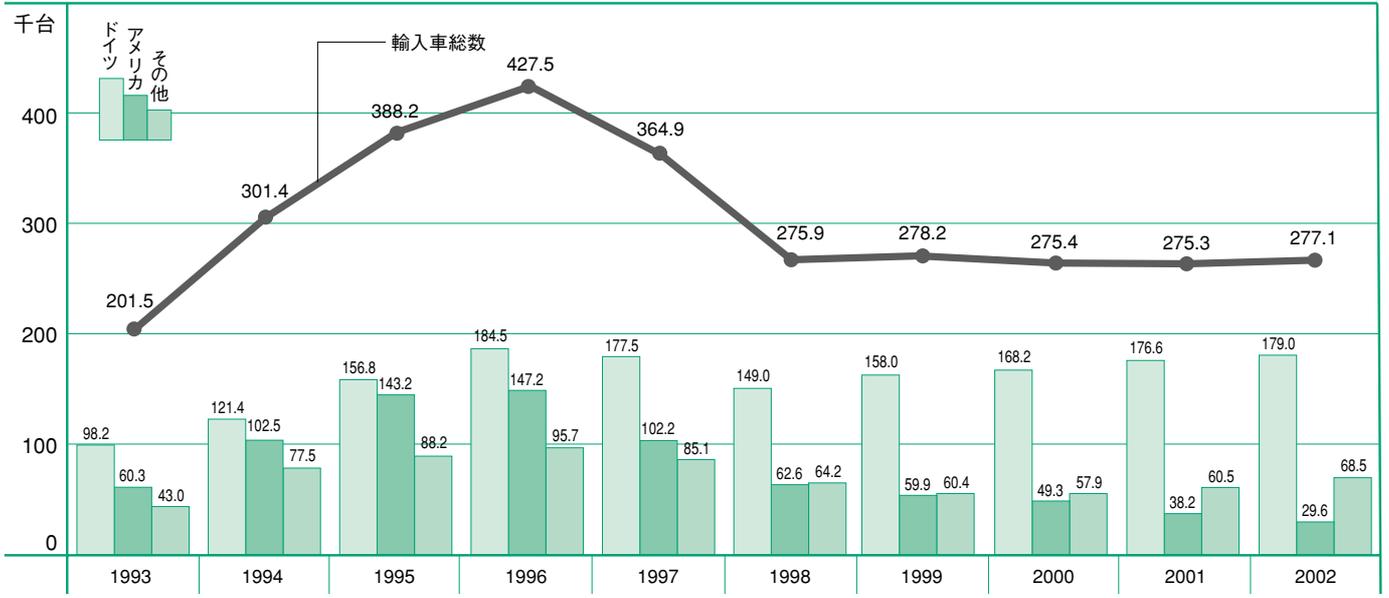
■日本メーカーの海外生産台数の推移



注) 他ブランド分を除く。

資料：日本自動車工業会

■輸入自動車登録台数の推移



資料：日本自動車輸入組合

■輸入車の国別登録台数

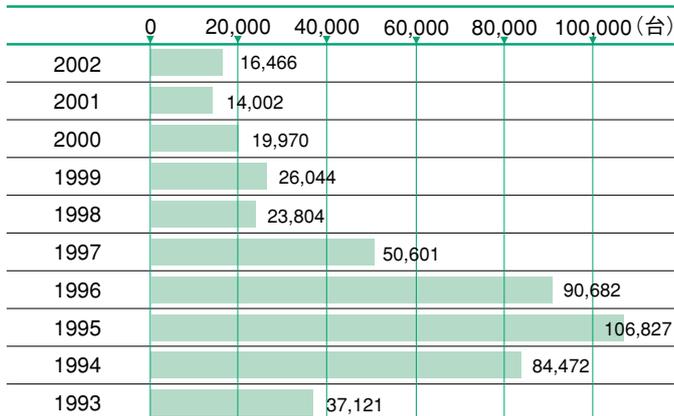
(単位：台)

年次 国名	1997		1998		1999		2000		2001		2002	
	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車
アメリカ 計	83,344	18,882	53,462	9,182	53,636	6,240	42,196	7,169	31,986	6,193	26,438	3,203
うちGM	19,692	16,544	17,596	7,787	16,201	4,875	10,796	5,504	6,438	826	5,895	382
フォード	8,853	1,402	4,426	889	2,689	658	2,536	792	2,300	729	2,671	461
ダイムラー・クライスラー	14,432	934	8,318	505	6,377	706	7,469	873	8,708	1,025	7,279	888
イギリス	31,946	6	19,413	2	17,067	8	9,428	—	8,583	1	10,917	371
ドイツ 計	177,075	435	148,607	388	157,645	322	167,808	391	176,305	336	178,750	287
うちVW	60,130	195	50,397	137	53,608	75	65,453	104	69,248	92	71,581	48
BMW	33,127	—	30,185	—	32,352	—	33,544	—	32,711	—	45,948	—
ダイムラー・クライスラー	41,905	228	39,745	218	48,149	235	46,267	271	55,668	231	48,603	231
オペル	34,397	—	24,223	—	19,433	—	15,318	—	12,626	—	7,846	—
フランス	10,262	—	10,157	—	11,339	—	14,092	—	16,207	—	18,776	—
イタリア	8,075	—	8,052	—	7,369	—	7,258	—	9,193	—	10,362	—
スウェーデン	20,082	68	13,348	86	12,833	101	14,463	123	15,126	189	13,673	210
その他	10,711	3,996	12,809	363	11,547	118	12,522	2	11,160	—	14,078	—
合計	341,495	23,387	265,848	10,021	271,436	6,789	267,767	7,685	268,560	6,719	272,994	4,071

注) 1. アメリカのダイムラー・クライスラーは、2000年よりクライスラーとメルセデスベンツの合計値。  
2. ドイツのダイムラー・クライスラーは、2000年よりメルセデスベンツとスマートの合計値。

資料：現代文化研究所

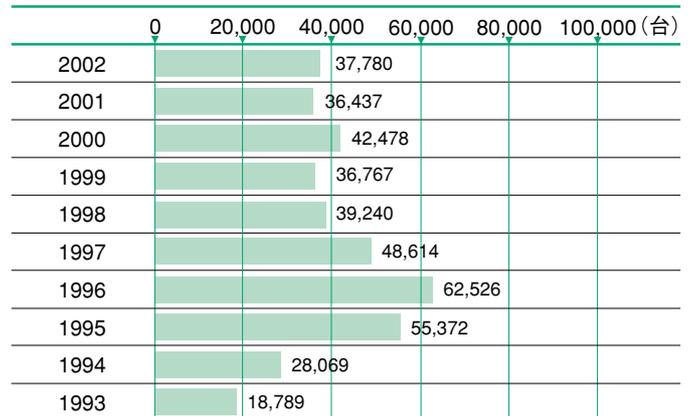
■日本メーカーの海外生産車輸入台数の推移



注) 対象メーカーはトヨタ、日産、ホンダ、三菱、いすゞ。

資料：日本自動車輸入組合

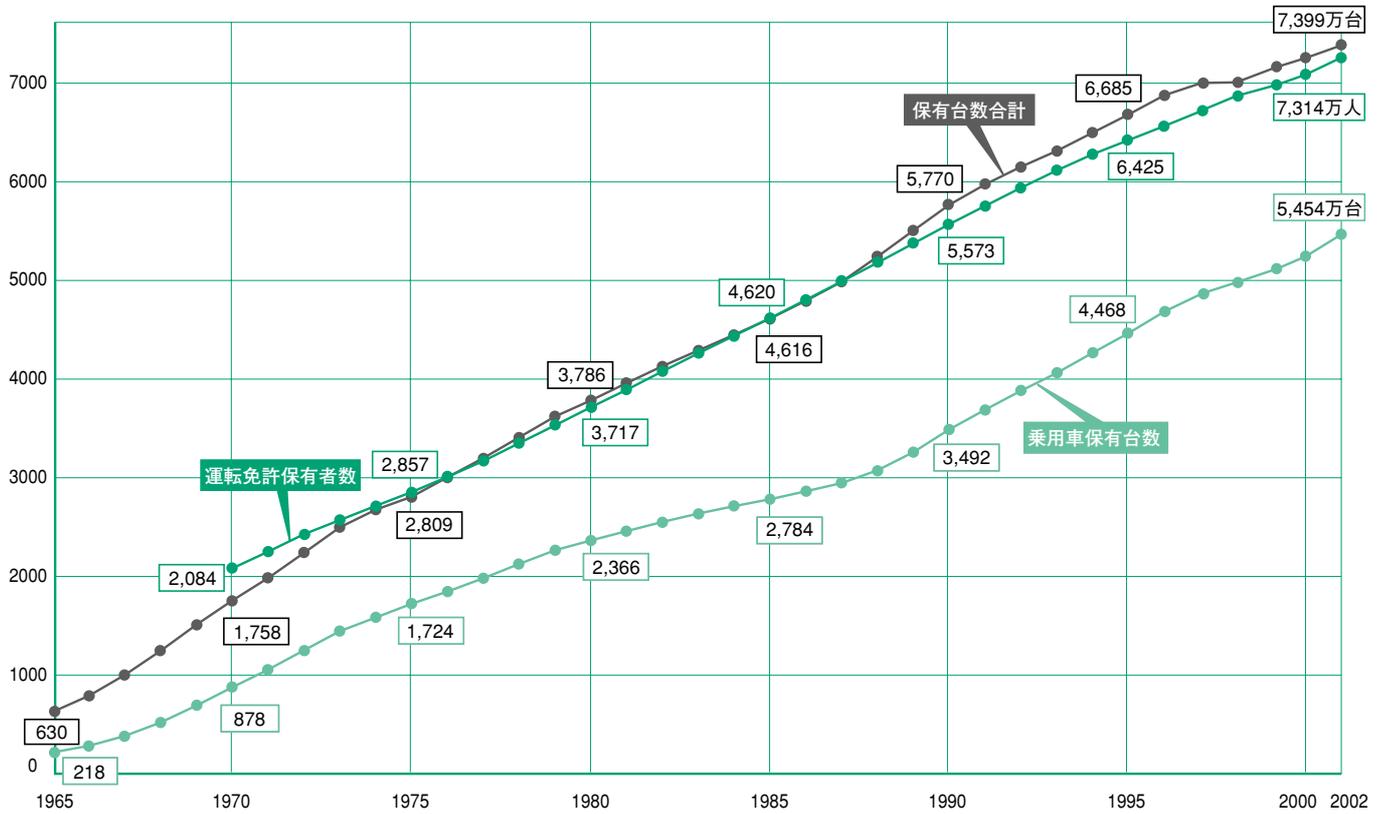
■トヨタ取り扱い輸入車登録台数の推移



注) 2002年の対象車種はVW、プロナード、ヴォルツ。  
(対象車種は年度により変動あり)

資料：トヨタ自動車

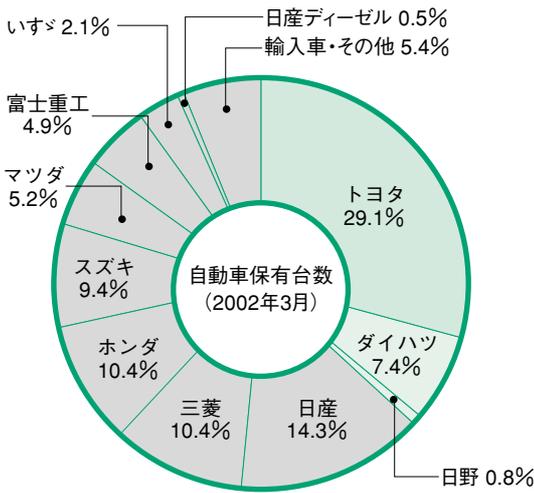
自動車保有台数と運転免許保有者数の推移



注) 各年12月末。軽自動車を含む。二輪、三輪、被けん引車を除く。  
1969年以前の運転免許保有者数は不明。運転免許は大型特殊、大型特殊二種、小型特殊、けん引二種、原付、自動二輪免許を除く。

資料: 日本自動車工業会、警察庁

メーカー別保有台数シェア(2002年)



注) 軽自動車、特種(殊)用途車を含む。

資料: 自動車検査登録協会  
全国軽自動車協会連合会

運転免許保有率(2002年)

(単位: 万人)

年齢層	人口	免許保有者数	0	20	40	60	80	%
18~19	302	110		36.4				
20~24	801	633				79.0		
25~29	943	853					90.5	
30~34	949	887					93.5	
35~39	826	767					92.9	
40~44	779	705					90.5	
45~49	815	694					85.2	
50~54	1,061	836					78.8	
55~59	866	627					72.4	
60~64	810	481				59.4		
65~69	737	349			47.4			
70~74	621	227		36.6				
75歳以上	1,004	144	14.3					
全体	10,516	7,314					69.6	
内男性	5,083	4,300					84.6	
内女性	5,433	3,014					55.5	

注) 第一種の大型・普通、第二種の大型・普通の合計。

資料: 人口は国立社会保障・人口問題研究所、運転免許保有者数は警察庁

■都道府県別世帯当たり自動車保有台数(2002年) (単位:台)

順位	都道府県名	乗用車	バス・トラック	合計
1	福井	1.727	0.606	2.334
2	長野	1.595	0.677	2.272
3	群馬	1.698	0.569	2.267
4	富山	1.720	0.538	2.258
5	山形	1.617	0.637	2.254
6	岐阜	1.681	0.533	2.215
7	茨城	1.619	0.550	2.169
8	栃木	1.638	0.516	2.153
9	山梨	1.537	0.606	2.143
10	新潟	1.512	0.565	2.077
11	福島	1.495	0.562	2.057
12	佐賀	1.446	0.609	2.055
13	鳥取	1.403	0.620	2.022
14	三重	1.489	0.530	2.019
15	石川	1.521	0.455	1.976
16	滋賀	1.471	0.489	1.960
17	島根	1.346	0.597	1.943
18	静岡	1.461	0.481	1.942
19	徳島	1.341	0.582	1.923
20	秋田	1.357	0.565	1.921
21	岩手	1.344	0.568	1.913
22	岡山	1.380	0.520	1.900
23	香川	1.310	0.516	1.826
24	宮崎	1.224	0.573	1.797
25	愛知	1.394	0.376	1.770
26	熊本	1.257	0.511	1.769
27	沖縄	1.292	0.440	1.732
28	大分	1.241	0.488	1.729
29	宮城	1.304	0.420	1.724
30	青森	1.210	0.512	1.722
31	和歌山	1.178	0.532	1.710
32	山口	1.200	0.425	1.625
33	鹿児島	1.082	0.532	1.614
34	高知	1.051	0.524	1.575
35	愛媛	1.088	0.483	1.571
36	奈良	1.158	0.340	1.498
37	広島	1.117	0.364	1.481
38	福岡	1.111	0.354	1.465
39	長崎	1.035	0.416	1.451
40	北海道	1.065	0.319	1.384
41	埼玉	1.105	0.273	1.378
42	千葉	1.082	0.294	1.376
43	兵庫	0.981	0.286	1.267
44	京都	0.935	0.291	1.226
45	神奈川	0.844	0.182	1.027
46	大阪	0.747	0.234	0.981
47	東京	0.572	0.156	0.727
	合計	1.121	0.367	1.488

注) 保有は二輪・三輪けん引・特種(殊)車を除く。  
 全世界帯数は 48,637,789 世帯

資料: 保有台数は自動車検査登録協会、世帯数は総務省

■世帯当たり自動車保有率 (単位:%)

	乗用車			トラック・バンのみ
	乗用車のみ	トラック・バンと併用		
1991年	69.7	52.3	17.4	8.1
1993年	72.0	56.4	15.6	5.7
1995年	75.0	60.5	14.5	4.7
1997年	76.9	64.1	12.8	4.1
1999年	78.6	63.2	15.4	3.5
2001年	79.0	64.6	14.4	3.7

注) 1. 日本自動車工業会アンケート調査による。  
 2. 例えば、2001年は79.0%の世帯が乗用車を保有(複数保有を含む)していることと示す。

資料: 日本自動車工業会

■乗用車の平均車齢と平均使用年数 (単位:年)

	1998	1999	2000	2001	2002
平均車齢	5.33	5.60	5.84	6.04	6.23
平均使用年数	9.44	9.60	10.00	10.40	10.55

注) 平均車齢は新車新規登録時から各年3月末までの年数。  
 平均使用年数は、新車新規登録から廃車までの期間の平均年数。  
 軽自動車を除く。

資料: 自動車検査登録協会

■乗用車の燃料別保有台数 (単位:台)

	1998	1999	2000	2001	2002
ガソリン	35,997,589	36,697,638	37,182,918	37,794,496	38,292,828
軽油	5,004,105	4,808,621	4,564,078	4,253,971	3,895,537
LPG	280,667	275,695	270,380	265,233	263,486
併用	275	368	399	208	339
電気	149	156	169	402	447
その他	208	398	37,761	50,759	75,095
合計	41,282,993	41,782,876	42,055,705	42,365,069	42,527,732

注) 軽自動車を除く。各年3月末、併用はガソリン・LPGとガソリン・灯油等の併用車。  
 その他は天然ガス、灯油と燃料不明等。  
 但し、ハイブリッド車は2000年からその他に分類、それ以前はガソリン車に含まれる。

資料: 自動車検査登録協会

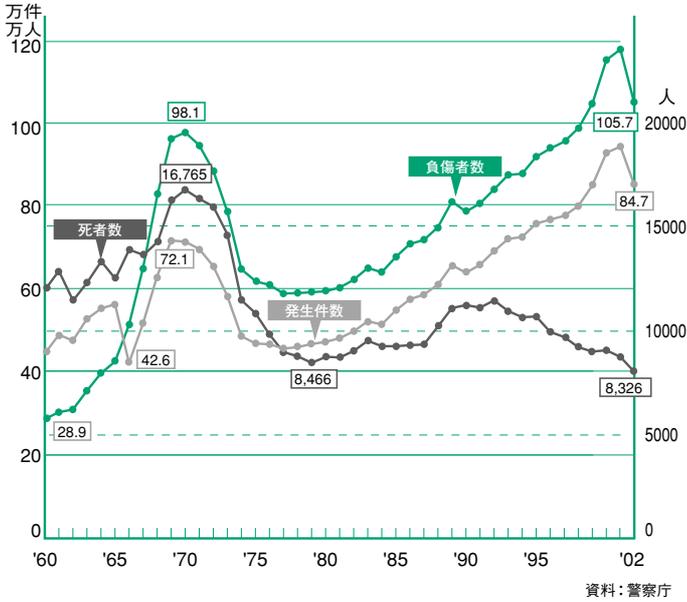
■乗用車の塗色別保有台数 (単位:台、%)

塗色	2002年3月		1992年3月	
	保有台数	構成比	保有台数	構成比
白	20,580,676	48.39	20,414,155	65.57
灰	9,650,436	22.69	3,781,668	12.15
青	3,729,769	8.77	1,832,456	5.89
黒	3,179,860	7.48	1,436,211	4.61
緑	2,417,650	5.68	719,591	2.31
赤	1,702,921	4.00	1,668,932	5.36
茶	730,843	1.72	911,036	2.93
黄	266,133	0.63	185,510	0.60
紫	188,445	0.44	96,941	0.31
橙	76,915	0.18	81,762	0.26
その他	4,084	0.01	5,570	0.02
合計	42,527,732	100.00	31,133,832	100.00

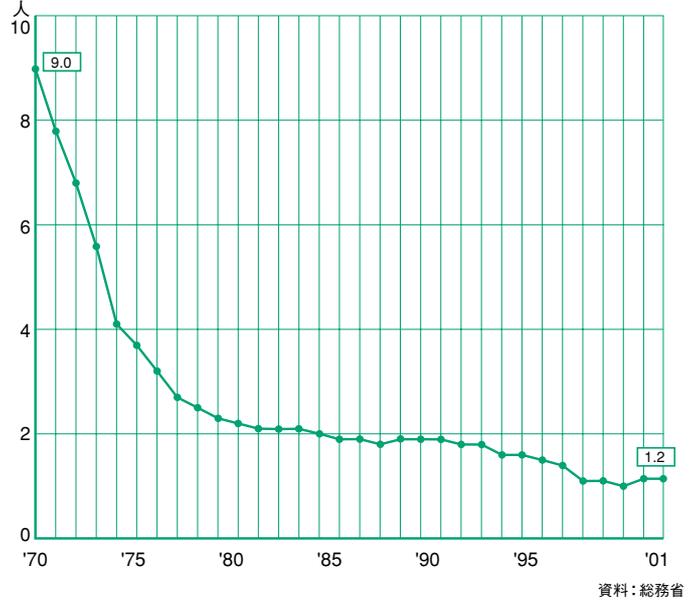
注) 軽自動車を除く。

資料: 自動車検査登録協会

■交通事故発生状況の推移

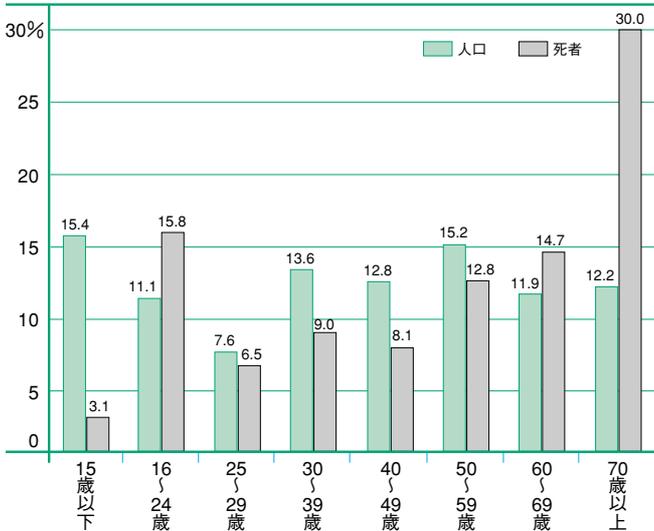


■自動車1万台当たりの交通事故死者数



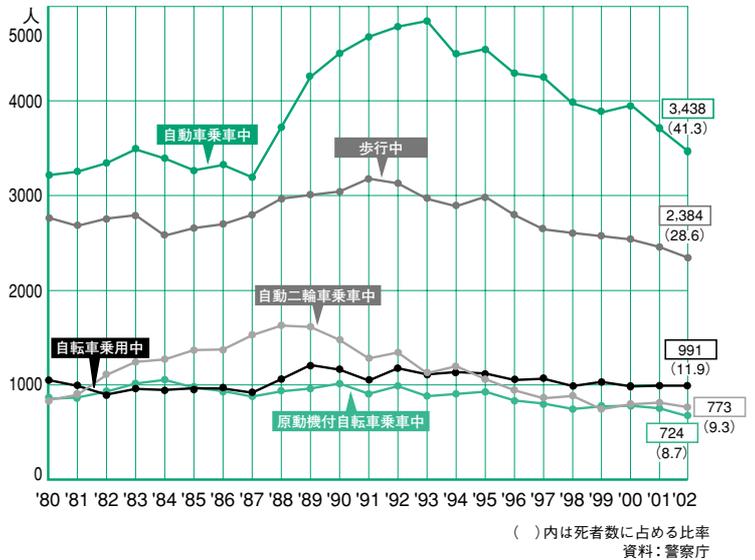
■交通事故死者および人口の年齢層別構成率

(単位：%)



注) 死者数は2002年。人口は総務省統計局資料「平成13年10月1日現在の推計人口」による。  
資料：警察庁

■状態別交通事故死者数



■シートベルトの効果

	死者	負傷者	合計
着用(人)	1,377	635,957	637,334
構成比 (%)	0.2	99.8	100
非着用(人)	2,167	89,522	91,689
構成比 (%)	2.4	97.6	100

注) 2001年データ。資料：(財)交通事故総合分析センター

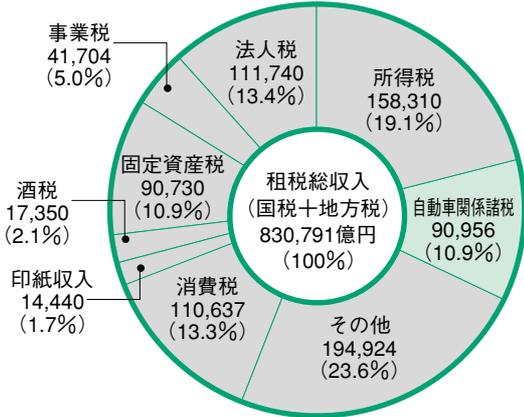
■自動車乗車中死傷者(6歳未満)のチャイルドシート着用状況

	被害者数(人)			被害率(%)	
	死者数	重傷者数	軽傷者数	死亡率	死亡重傷率
着用	9	85	7,628	0.12	1.22
非着用	25	94	4,897	0.50	2.37

注) 2002年データ。資料：警察庁  
 ※大破事故による被害および着用・非着用不明の事故による被害を除く。  
 ※死亡率=死者数/全死傷者数×100 (%)  
 ※死亡重傷率=(死者数+重傷者数)/全死傷者数×100 (%)

自動車関係諸税は、1954年の道路特定財源制度導入以降、道路整備の財源として大きな役割を果たしてきました。しかし、これまで増税、新税創設が繰り返された結果、日本の自動車ユーザーは多種多様で国際的にみても重い税額を負担しています。

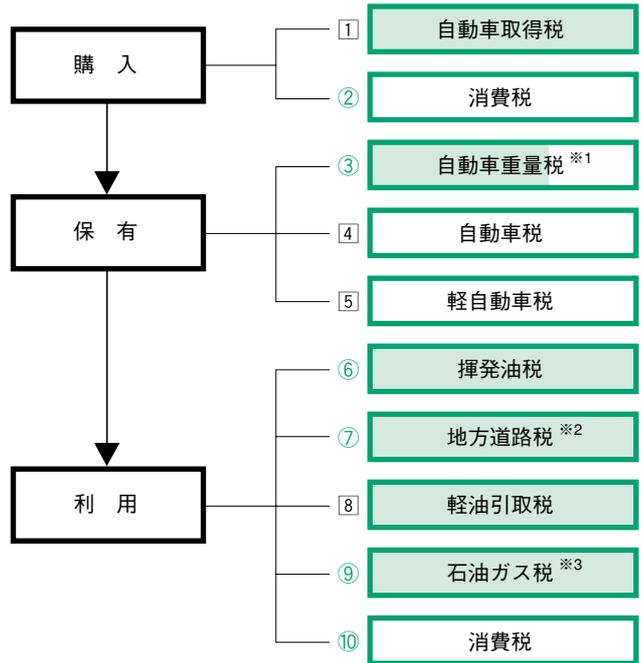
2002年度租税総収入の税目別内訳並びに自動車関係諸税の税収額（当初見積り額）



注) 1. 自動車関係諸税の消費税収は自工会推定。  
2. 租税総収入内訳の消費税収は自動車関係諸税に含まれる消費税を除く。  
3. 消費税収には地方消費税収を含む。

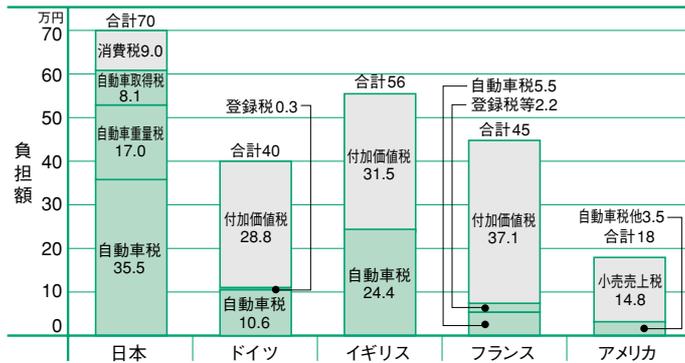
資料：財務省、総務省、日本自動車工業会

自動車をめぐる税制



日本  
自動車関係税制

自動車関係諸税の国際比較



前提条件：(1) 排気量1800cc (2) 車両重量1,100kg (3) 車体価格180万円 (4) 9年間使用(平均寿命) (5) 為替レートは2001年4月～2002年2月の平均

資料：日本自動車工業会

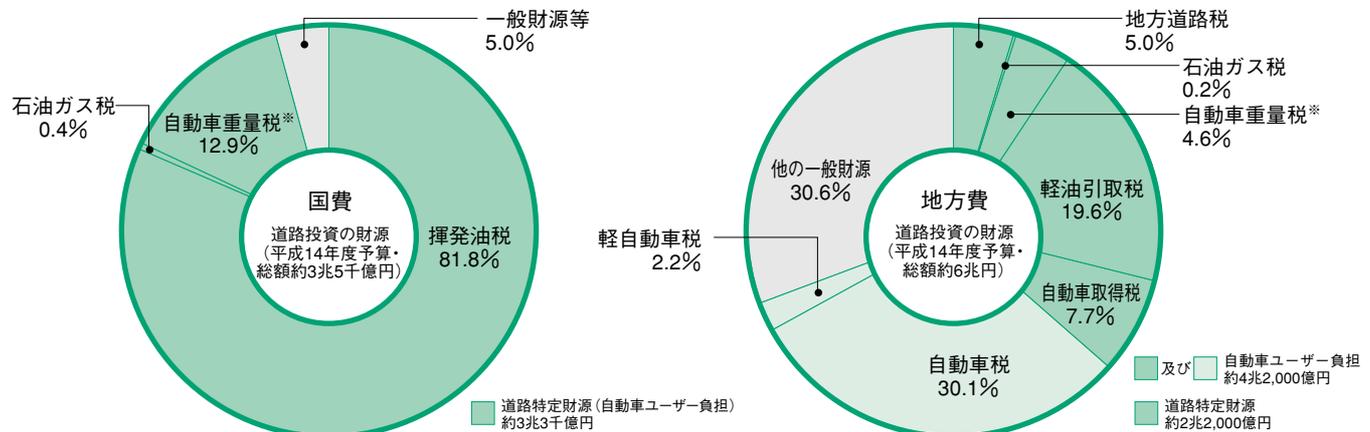
○ 国税  
□ 地方税  
■ 目的税(道路整備特定財源)  
□ 普通税(使途が限定されない)

※1. 「自動車重量税」は国税・普通税であるが、税収の1/3(平成15年度から)は地方へ譲与され「自動車重量譲与税」(道路整備特定財源)となり、残りの約8割は道路整備に充当される。  
※2. 「地方道路税」は国税であるが、税収の全額が地方へ譲与され「地方道路譲与税」となる。  
※3. 「石油ガス税」は国税であるが、税収の1/2は地方へ譲与され「石油ガス譲与税」となる。

資料：日本自動車工業会

道路特定財源制度

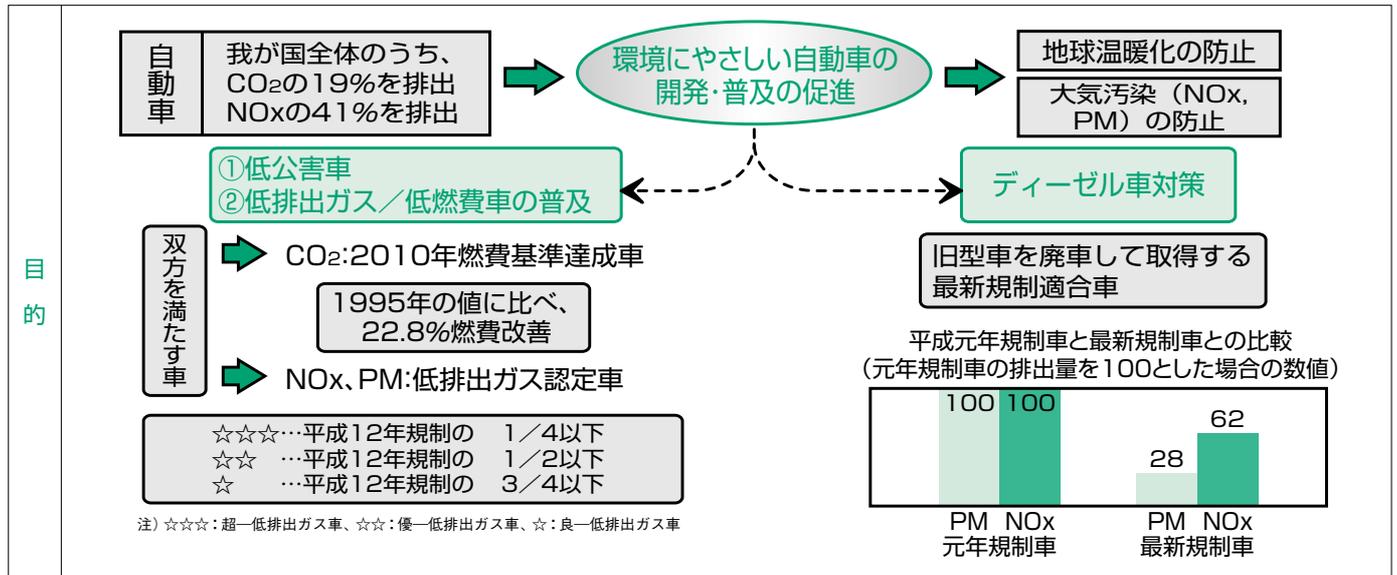
道路特定財源制度は、受益者負担の考え方を根拠として、自動車ユーザーに対して、道路整備という特定の目的を使い道とすることを前提に、特別の負担を求めている制度のことです。



※自動車重量税の3/4は国の一般財源(ただし8割は国の道路特定財源)、1/4は地方の道路特定財源。

資料：国土交通省、日本自動車工業会

環境にやさしい自動車の普及を目的に、平成13年4月から環境負荷の小さい車に対し、自動車税・自動車取得税の軽減措置がスタートしました。



資料:国土交通省(平成13年4月)

■自動車税の重軽課

- ・環境自動車(環境負荷の小さい自動車)を購入した場合は軽課、環境負荷の大きい古い型式の自動車に対しては重課。
- ・自動車税の重軽課は、軽課と重課とがバランスする税収中立で設定。

軽課	対象車	重課	対象車
50%軽減(1年間)	・低公害車のうち電気自動車、燃料電池車、 圧縮天然ガス車、メタノール車 ・☆☆☆かつ低燃費車	10%	車齢11年超のディーゼル車 車齢13年超のガソリン車

注)平成15年4月1日～平成16年3月31日に新車新規登録を受けた場合に平成16年度分の自動車税が軽減。  
低燃費車:改正省エネ法に基づく2010年新燃費基準達成車。  
☆☆☆は、排出ガスが最新規制値の1/4以下の自動車

注)平成14年3月31日までに車齢11年あるいは13年を超えた場合は平成14年度以降重課。  
平成15年3月31日までに車齢11年あるいは13年を超えた場合は平成15年度以降重課。  
一般乗合用バス、低公害車は除く。  
車齢とは、新車新規登録を受けてからの経過年数。

■自動車取得税の軽減

(1)ディーゼル車の廃車代替

軽課 旧型ディーゼル車を廃車して取得する最新規制適合車 (NO<sub>x</sub>・PM法対策地域内)  
・NO<sub>x</sub>・PM法に基づく廃車代替

軽減	代替期間
1.9%	平成15年4月1日～平成17年3月31日
1.5%	平成17年4月1日～平成19年3月31日
1.2%	平成19年4月1日～平成21年3月31日

(5)低公害車特例

軽課 電気自動車等低公害車の取得(現行のまま2年延長)

軽減	対象車	取得期間
2.7%	電気自動車、燃料電池車、 圧縮天然ガス車、メタノール車、 ハイブリッド車(バス、トラック)	平成15年4月1日 平成17年3月31日
2.2%	ハイブリッド車(乗用車)	

(2)低PM認定トラック・バス特例

軽課 低PM認定車の取得

軽減	取得期間
1.5%	平成15年4月1日～平成17年3月31日

(6)最新排出ガス規制適合車の早期取得特例

軽課 平成15年排出ガス規制適合車の取得 (ディーゼル中量車・重量車(車両総重量1.7t超12t以下))

軽減	取得期間
1.0%	平成14年4月1日～平成15年9月30日
0.1%	平成15年10月1日～平成16年2月29日

平成16年排出ガス規制適合車の取得 (ディーゼル重量車(車両総重量12t超))

軽減	取得期間
1.0%	平成15年4月1日～平成16年9月30日

(3)LPG車特例

軽課 低燃費かつ☆☆☆であるLPG車の取得 (☆☆☆は、排出ガスが最新規制値の1/4の自動車)

軽減	課税標準:取得価格から30万円を控除 (平成15年4月1日～平成16年3月31日までの取得)
----	--

(4)低燃費車特例

軽課 低燃費車かつ☆☆☆の取得 (☆☆☆は、排出ガスが最新規制値の1/4以下の自動車)

軽減	課税標準:取得価格から30万円を控除 (平成15年4月1日～平成16年3月31日までの取得)
----	--

資料:国土交通省



スピードはひかえめに。  
シートベルトやチャイルドシートを忘れずに。

# TOYOTA

**トヨタ自動車株式会社**  
**www.toyota.co.jp**

発行:トヨタ自動車株式会社 広報部 発行年月:2003年4月  
お問い合わせは 東京本社/広報部 Tel(03)3817-7111(代)



森林資源保護のため再生紙を使用いたしました。  
Printed In Japan (420753)